

## 令和元年度

障 害 者 支 援 施 設      め ぶ き 園  
ラ イ フ サ ポ ー ト セ ン タ ー      な ご み 園  
大 分 県 発 達 障 が い 者 支 援 セ ン タ ー      E C O A L  
ホ ー ム ヘ ル プ サ ー ビ ス セ ン タ ー      ら す か る  
共 同 生 活 援 助 グ ル ー プ ホ ー ム      か わ し ま  
障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業 所      ど ん こ の 里 い ん か い  
放 課 後 等 デ イ サ ー ビ ス      戸 次 な ご み 園  
相 談 支 援 事 業 所      プ ラ ス  
い ん か い こ ど も 園  
こ ど も 発 達 ・ 子 育 て 支 援 セ ン タ ー      な か よ し ひ ろ ば  
こ ど も 発 達 支 援 セ ン タ ー      大 分 な ご み 園  
こ      ざ      い      こ      ど      も      園

事業報告書

社会福祉法人 萌葱の郷

# 目 次

法人本部事業経過	1
----------	---

## 障害者支援施設めぶき園 事業報告

第1章 療育活動	3
第2章 給食	25
第3章 医療・保健衛生	27
第4章 防災関係	30
第5章 家庭との連携	31
第6章 利用者の状況	32
第7章 職員研修実施状況	34
第8章 日中一時・ショートステイ利用状況	35

## ライフサポートセンターなごみ園 事業報告

第1章 療育活動	36
第2章 利用者の来園状況	40
第3章 職員の体制	41
第4章 地域・施設交流実施状況	42
第5章 総括	47

## 大分県発達障がい者支援センターECOAL 事業報告

第1章 相談支援・発達支援	49
第2章 就労支援	52
第3章 普及啓発・研修	56
第4章 職員の体制	57
第5章 職員への研修	57
第6章 総括	57

## ホームヘルプサービスセンターらすかる 事業報告

第1章 基本概念	58
第2章 利用者の利用状況	59
第3章 総括	59

#### 共同生活援助グループホームかわしま 事業報告

目的・支援内容	6 1
総括	6 4

#### 障害福祉サービス事業所どんこの里いぬかい 事業報告

第1章 運営理念	6 6
第2章 施設の概要	6 6
第3章 事業概要	6 6
第4章 利用者の利用状況	7 1
第5章 社会適応訓練	7 1
第6章 職員研修実施状況	7 2

#### 放課後デイサービス戸次なごみ園 事業報告

第1章 療育活動	7 4
第2章 利用者の来園状況	7 9
第3章 職員の体制	8 0
第4章 職員の研修	8 0
第5章 総括	8 2

#### 相談支援事業所プラス 事業報告

第1章 計画作成状況	8 3
第2章 職員研修実施状況	8 3
第3章 職員の体制	8 4
第4章 総括	8 4

#### いぬかいこども園 事業報告

第1章 施設運営	8 5
第2章 施設管理	9 5
第3章 諸機関との連携	9 6
第4章 総括	9 9

こども発達・子育て支援センターなかよしひろば 事業報告

第1章	療育活動	101
第2章	利用者の来園状況	106
第3章	職員の体制	107
第4章	地域・施設交流実施状況	107
第5章	総括	111

こども発達支援センター大分なごみ園 事業報告

第1章	療育活動	112
第2章	利用者の来園状況	117
第3章	職員の体制	118
第4章	地域・施設交流・研修等実施状況	118
第5章	総括	125

こざいこども園 事業報告

第1章	施設運営	126
第2章	施設管理	134
第3章	諸機関との連携	135
第4章	総括	136

## 法人本部事業経過

平成31年

4月8日 平成31年度第1回理事会（いぬかいこども園 なかよしホール）  
議案

- 第1号議案 へつぎ保育園新築工事の設計監理業者の契約締結について
- 第2号議案 社会福祉法人萌葱の郷職員就業規則の改定について
- 第3号議案 その他

令和元年

5月31日 令和元年度第2回理事会（めぶき園 多目的ハウス）  
議案

- 第1号議案 平成30年度社会福祉法人萌葱の郷事業報告について
- 第2号議案 平成30年度社会福祉法人萌葱の郷決算報告について
- 第3号議案 社会福祉法人萌葱の郷定款変更について
- 第4号議案 公益財団法人車両競技公益資金記念財団の助成金交付決定  
について
- 第5号議案 その他

6月22日 令和元年度定時評議員会（大分センチュリーホテル）  
議案

- 第1号議案 平成30年度社会福祉法人萌葱の郷決算の承認について
- 第2号議案 社会福祉法人萌葱の郷定款変更（基本財産の追加）について
- 第3号議案 社会福祉法人萌葱の郷新役員の選任について
- 第4号議案 社会福祉法人萌葱の郷事務所移転の承認について
- 第5号議案 社会福祉法人萌葱の郷定款変更（所在地の変更）について
- 第6号議案 その他

6月22日 令和元年度第3回理事会（大分センチュリーホテル）  
議案

- 第1号議案 社会福祉法人萌葱の郷理事長及び業務執行役員の選任につ  
いて
- 第2号議案 その他

7月27日 令和元年度第4回理事会（いぬかいこども園 なかよしホール）  
議案

- 第1号議案 へつぎ保育園新築工事及び法人本部新築工事の指名入札業

者の選定について

第2号議案 社会福祉法人萌葱の郷育児・介護休業等に関する規則の改定について

第3号議案 社会福祉法人萌葱の郷給与規則の改定について

第4号議案 令和2年度社会福祉施設等の整備に係る補助事業（児童発達支援センター）の申請について

第5号議案 その他

9月26日 令和元年度第5回理事会（いぬかいこども園 なかよしホール）

議案

第1号議案 こざいこども園園則及びこざいこども園早朝・延長・預かり保育実施要綱の改定について

第2号議案 いぬかいこども園園則の改定について

第3号議案 その他

報告事項

(1)へつぎ保育園新築工事入札結果の報告について

(2)萌葱の郷本部棟新築工事入札結果の報告について

令和2年

3月26日 へつぎ保育園新築工事・萌葱の郷本部棟新築工事竣工式

3月27日 令和元年度第6回理事会（萌葱の郷 法人本部）

議案

第1号議案 令和元年度社会福祉法人萌葱の郷最終補正予算について

第2号議案 令和2年度社会福祉法人萌葱の郷事業計画について

第3号議案 令和2年度社会福祉法人萌葱の郷当初予算について

第4号議案 令和2年度社会福祉法人萌葱の郷事業所管理者について

第5号議案 社会福祉法人萌葱の郷主たる事務所の移転について

第6号議案 社会福祉法人萌葱の郷職員就業規則の改定について

第7号議案 社会福祉法人萌葱の郷経理規程の改定について

第8号議案 へつぎ保育園運営規程の制定について

第9号議案 こざいこども園園則の改定について

第10号議案 めぶき園運営規程・グループホームかわしま運営規程の改定について

第11号議案 その他

報告事項

(1)へつぎ保育園新築工事請負契約について

(2)萌葱の郷本部棟新築工事請負契約について

# めぶき園事業報告

## 第1章 療育活動

### 1. 日 課

時 間	日 課
7:00	起床（更衣、洗面、布団あげ、検温）
8:00	朝食（与薬、歯磨き、食堂清掃） 清掃（全体及び居室） 洗面、歯磨、髭剃、（火曜日は爪切、隔週の金曜日でリネン交換）
10:00	午前生産活動開始（各課毎にミーティング） （全体行事の時は全体ミーティング）
11:50	午前生産活動終了
12:00	昼食（与薬、歯磨き、食堂清掃）、自由時間 （毎月第3週の1週間、昼食後にコーヒータイム実施）
13:30	午後生産活動開始 （火曜日はグループ別療育活動、水曜日はウォーキング、 木曜日はクラブ活動）
15:30	午後生産活動終了（夏期は草取り）
15:45	お茶の時間
16:00	入浴 自由時間
18:00	夕食（与薬、歯磨き、食堂清掃）
18:30	余暇活動（カラオケ、ビデオ、音楽鑑賞） 自由時間（火曜日・おやつ 金曜日・コーヒータイム）
20:30	与薬、学習（日記、小遣い帳記入）
21:00	就寝準備
22:00	就寝

## 2. 生 活

### (1) 食 事

#### <目 標>

正しい食事マナーを身につけ、健康・衛生に留意し、好き嫌いをなく楽しく食べる。

#### <総 括>

食事の時間前になると、食堂に來ている利用者も多く、着席して落ち着いて待つことが出来ている。食前のウェルパス消毒は身に付きつつあり、自ら消毒にくる利用者が増えた。

配膳時はアレルギーや食事量など、制限がある利用者のお膳には名札を付け、取り違えないように声かけ等の支援をすることで、自分のお膳を間違わずに取ることが出来ている。また、1人ずつ名前を呼んでお膳を取る事で利用者同士が接触してトラブルに至ることは減少しているが、勢いよくお膳をもっていきや激しくお膳を置いて汁物をこぼす事は依然としてみられる為、今後も継続して支援していく。

食事中は、正しい姿勢で着席し、食事を摂ってもらう事で食べこぼしが減少している。お茶を多量に注ぎ、コップから溢れることや食べにくい状態になると手を使用して食べることがある為、声かけ等の支援を行う。また、状態が不安定になると皿やお膳を投げることがある為、職員が傍に付き、見守りなどの支援をしていく。食事量は、体重等を考慮しながら調整し、白米を1杯目の量を減らして配膳するなどの調整をすることで、過食や嫌いな物に手を付けないなどの偏食も改善されている。苦手な物は、職員が見守り等の支援を行いながら少量ずつ食べることで完食することが増えた。

反芻のある利用者には、食後も職員が見守る事で吐き出す事は減少しているが、職員が離れるとゴミ箱や洗面所等に吐きだしてしまうこともある為、今後も支援を継続していく。かき込むように口いっぱい頬張り、嘔まずに飲み込んでしまう利用者もいる為、今後も注意して見守りや声かけをしていく。また、嘔まずに飲み込んでしまう利用者には刻み食にして、小皿に移して少量ずつ食べるよう対応をしている。

冬季には温かいお茶を提供することで好んで飲む利用者も増えており、今後も継続していく。

下膳時、「いただきます」「ごちそうさま」や「おいしかったです」など挨拶をする利用者も増えている。お膳をカウンターに置く際に、他利用者を押しつけて置くことやカウンターの隅に置いて落としそうになることもあり、残菜などを捨てる際は声かけや援助が必要な利用者もいる為、今後も継続して支援していく。

### (2) 排 泄

#### <目 標>

失禁、夜尿、放尿を改善し、排泄後の処理を身につける。

#### <総 括>

ドアの開閉を強く行うことや、必要以上に開閉を繰り返すことで蝶番の部分が破損することや、ペーパーホルダーを外して壊してしまう事がある為、都度見守り、声かけ等の支援を行った。また、電気のスイッチを強く押すことや叩くことで壊してしまうことがあった為、可能な限り一緒に修理に取り組んだ。

トイレのスリッパを履き替えないことや、履いている室内スリッパの上から履く利用者もいる為、今後も声かけ等の支援していく必要がある。居室やトイレに入る前の廊下、トイレ内の個室入り口でズボンを脱衣することや、トイレの床に脱いで



汚してしまう利用者には都度声かけ等の支援を行っているが、依然として見られる為、今後も継続して支援をしていく。

トイレットペーパーは、強いこだわりで多量に巻き取ることや少なくなると芯から無理に外そうとする利用者もいる為、支援を継続し、トイレットペーパーが無くならないよう定期的に補充を行う。トイレットペーパーを全て巻き取り使い切る利用者もいることから、トイレ内に必要以上置かないようにした。また、補充の記録をつけ、今後もトイレットペーパー使用の状況をチェックする。

トイレ使用後の手洗いは、定期的に声かけ等の支援を行った結果、身につきつつあるが、液体石鹸を使用せずに洗うことや、指先等の部分的にしか洗わないことがあるため、見守りや声かけを継続し、定着していくよう支援していく。

トイレ誘導は日中、夜間に関わらず定期的に行っているが、居室内や中庭等のトイレ以外の場所で排尿・排便することは依然として見られており、トイレに行くが間に合わないことがある為、今後も継続して支援を行っている。

使用したい便器にこだわり、空くまで我慢して失禁してしまう利用者や、他者が使用しているところに割り込むことも見られたため、今後も定期的に観察し、支援を行う。

### (3) 身だしなみ

#### <目 標>

衣服の乱れに留意し、爪切り、整髪、髭剃などの身だしなみを身につける。

#### <総 括>

衣服の乱れがないかを観察し、声かけ等の支援をしていき、身だしなみを整えてもらった。上着の前後表裏が反対になっていることや、ボタンを掛け違えていることもある為、声かけ等の支援を今後も継続していく。また、ズボンのチャックの上げ忘れもある為、着替えの後やトイレに行った際などは特に注意して観察し、声かけ等をする。衣服の取り扱いや交換が難しい利用者には、職員が衣服を管理することで適切で清潔な衣類を保つことが出来た。着衣して洗濯の必要がある衣類をタンスに戻してしまう利用者には定期的にタンスの確認を行い、洗濯に出してもらっている。

気候などを見ながら季節に応じて、タンスの衣類を調整する等することや、声かけ等の支援を続けた結果、季節に合った服装をすることが定着してきている。寒暖差がある際は上着を着て調整する等している。また、運動中や運動後は衣服の調節を行う必要があるため特に注意、観察し支援を行う。同じ衣類を繰り返し着衣したり、また、特定の衣類を身につけなかったり等のこだわりがある利用者に対して職員と一緒に更衣を行うことや一緒に洗濯に持って行くなど声かけ等の支援を行った。破れやほつれ、肌への感覚を気にして衣類を意図的に破ってしまい破棄することがあったため、補習や交換などの素早い対応を今後も心掛ける。

髭剃りは利用者個別のものを使用し、同じ場所を剃ることでの剃り残しや力の加減が出来ずに出血することもあった。鏡を見て剃ってもらうことや、剃る場所を職員が声かけ、指差しなどで提示することで髭剃りの技術が身につきつつある為、今後も継続していく。

爪切りも利用者個別のものを使用し、毎週水曜日に取り組んだ。水曜日に行事等で取り組めない時は必ず木曜日に行い爪の清潔さを保っている。切り終えた後は、かき傷にならないようヤスリで磨いている。しかし、爪を気にして触る、爪や皮をはがす、逆剥けを触るなどすることで出血する利用者もいた為、今後も継続して支援していく。

#### (4) 入浴

##### <目標>

洗身、洗髪、拭き取りなどの入浴技術を身につける。

##### ① 男性

##### <総括>

入浴前、排泄の拭き残しがある人には、声かけ等の支援を継続して行った。入浴前にトイレ誘導を行うことで、浴室や浴槽内で排尿することは減少している。入浴までは自らタオルや衣類などを準備し食堂や居室で過ごすことが出来ているが、時間が待てずに状態が落ち着かなくこともあった。また、入浴時間になると、走って浴場に向かうことや他者を押しつけて入ろうとするは依然として見られる為、継続して支援をしていく。入浴準備の際、衣類等の過不足や気候に合わせた衣類の選択になっていないこともある為、声かけや職員と一緒に準備する等の支援が今後必要である。皮膚が過敏な利用者には個別のシャンプーや石鹸、洗顔等を準備した。

スリッパを揃えて入浴に向かう利用者も増えているが、他利用者のスリッパを押しつけること等がある為、今後も声かけ等の支援を継続していく。

石鹸やリンスインシャンプー等を多量に使用することや石鹸等にこだわることは減少しており、浴槽に飛び込むことや浴槽や蛇口の水を飲むことも見られなくなってきた。洗身洗髪の際、同じ箇所のみ洗い、手が届きにくい所などが不十分である利用者もいる為、声かけ等の支援を行いながら自分で洗うよう促し、職員が仕上げを行った。

長時間、浴槽につかり、遊んでいる利用者には時間を区切る等をしたことで、スムーズに浴槽からでてもらうことが出来てきている。

夏季には、衣類を着衣しない状態で館内に出て行くことやトイレに行くこと、髪を乾かさずに出ることもある為、今後も声かけ等を行っていく。

入浴時の観察により、皮膚の異常や怪我の早期発見・処置を行うことができた。

##### ② 女性

##### <総括>

入浴準備の際、衣類等の過不足や気候に合わせた衣類の選択になっていないことは依然として見られる為、今後も確認して声かけ等の支援をしていく。

皮膚が過敏な利用者には個別にシャンプー等を準備している。

リンスインシャンプーを多量に使用していることもある為、今後も声かけなどを継続する。洗身洗髪は、丁寧に取り組めるようになってはいるが、本人の見えにくい所や手が届きにくい所は不十分であり、洗い残しや泡が残っていることもある為、声かけ等の支援を行った。拭く行為も特に背中など拭き残しがある為、今後も声かけ等の支援を継続していきながら足りない部分は職員が仕上げを行う。

下着の紐等がねじれていたり、正しく着衣できていないことがあった為、声かけ等の支援で利用者自身に取り組んでもらい、手の届きにくい所は職員が行った。

道具の取り扱いについては、丁寧に取り組むよう声かけを続けたことでドライヤーのコードの片付けなど身に付いてきており、破損することは減少している。

乾燥肌の利用者には、入浴後のクリーム塗布や化粧水使用を今後も継続していく。入浴時の観察により、皮膚の異常や怪我の早期発見・処置を行うことができた。

#### (5) 洗面・歯磨き

##### <目標>

洗顔、手洗い、うがいや正しい歯磨きの習慣を身につける。

### <総括>

歯磨きや洗面は、丁寧に磨くことや洗うことが身につくにつがあるが、部分的になってしまうことがある為、今後も声かけ等の支援を継続していく。

歯磨き粉は、多量に使用することや他利用者の物を使用することがあった。チューブに直接口をつけて歯磨き粉を食べることは減少傾向にあるが、今後も注意して管理していく必要がある。職員が毎日、仕上げ磨き用の歯ブラシを使用して仕上げ磨き、歯ブラシでの歯茎のマッサージを行った結果、歯肉の腫れや歯周病の予防ができ、清潔な口腔が保たれた。また、口腔内の状態観察により虫歯や腫れなどの異常を早期に発見することができ、早目に歯科受診をすることで治療を行うことが出来た。仕上げ磨き後の唾液を飲み込むことは依然として見られる為、今後も支援を継続していく。

本人用のコップと歯ブラシは毎週末に洗浄し、毛先の状態などを見ながら歯ブラシを定期的に交換した。また、毛先の破損が激しい人は個別に購入し、その都度交換を行った。力を入れ過ぎて磨く利用者には個別に毛先の柔らかい歯ブラシを準備するなど個別の対応を行った。うがいも洗浄液を利用するなど、より口腔内が清潔に保たれるよう対応を行っている。義歯の利用者には、毎食後や歯磨き指導時に手入れを行い、使用していない時間には洗浄液に浸け、清潔さを保った。

手洗い・うがいの励行を行い、特に活動等で外から戻ってきた際は声かけ等の支援を行ったが、指先のみ洗う等で汚れが落ちていないこともある為、不十分なところは声かけや手を添えて一緒に洗う等などの支援を今後も継続していく必要がある。手洗い後は、拭き残しや衣類で拭くことある為、ペーパータオルやタオルで拭きとるよう声かけ等の支援を継続していく。また、ペーパータオルを多量に使用することがある為、適量使用するよう声かけ等の支援を行う。手洗い後はウェルパス消毒を行い感染症などの予防に努めた結果、インフルエンザの流行は見られなかった。今後も正しい手洗い・うがいの手順を声かけ等の支援を継続していく。また、手洗いの際は液体石鹸を過度に使用する、故意に流す、身体を洗う等、用途以外に使わないよう注意していく。

## (6) 整理・整頓

### <目標>

衣類や本、私物を区別して所定の位置に片付け、居室内を清潔に保つ。

### <総括>

タンスから衣類や布団を出した状態にしていることは依然として見られている。乱雑に収納する、タンスに無理やり入れる、上着やズボンなどを分けずに入れていることがある為、声かけをしていくとともに職員と一緒に収納する等して支援していく。また、定期的にタンス内を確認する必要がある。

季節ごとに衣替えを行い、季節に合わない衣服は天袋等に収納するなど声かけ等の支援を行った。また、気温が変わりやすい時期は細かく段階的に衣替えを行い、すぐに上着を着るなどして調節できるようにした。

玄関の靴の放置や泥のついた靴で玄関付近が汚れることは、繰り返し声かけをしたことで減少してはいるが、今後も継続して支援を行っていく。

着衣した衣類や汚れた衣類、濡れたタオル等をタンスに入れる利用者には定期的にタンスを確認するとともに専用のカゴに入れるよう、支援していく。また、汚れていない衣類を洗濯に出す利用者もいるため、洗濯物を定期的に確認し必要であれば本人に返す。

リネン交換は隔週金曜日に行い、天候の良い日は布団を干し、布団の清潔さを保

つことに取り組んだ。また、月1回畳のハイター拭きも行い、毎週土曜日には机やテレビ等の雑巾がけに取り組んだ。定期的に居室ゴミ箱のゴミを捨て、チラシ等を居室にためている利用者には本人に確認しながらため込まないようにした。

掃除機などを使用した際、乱雑に出し入れすることある為、丁寧に取り扱うよう声かけ等の支援を行いながら職員と一緒に使用し、片付けてもらう等して支援を行った。

#### (7) 生 理

##### <目 標>

生理用品の使用方法や後始末と管理を身につける。

##### <総 括>

生理用品の交換・後始末が不適切な利用者にはその都度指導し、職員が生理用品を管理した。時間を決めて定期的に交換して記録に残すことで、衣類の汚れは減少しているが、生理中でもナプキンを使用していないことや終了しても付けていることがあった為、入浴時等の確認を今後も継続していく。また、ナプキンを取りに来る時間が曖昧になることは依然として見られている為、今後も確認しながら声かけ等していく。

療育日誌に生理日を記入し、生理用ノートに交換の回数や時間、日数を記録し、チェック表を作成することで、職員間での引き継ぎを行い、医療機関受診の際にも資料として使用できた。

#### (8) 洗 濯

##### <目 標>

洗濯、乾燥、取り込み等の方法を身につける。

##### <総 括>

洗濯の手順は身に付いているが、洗剤を多量に使用することが依然として見られる為、職員と一緒に取り組むことで量を調節してもらった。道具の使用については、丁寧に取り扱うことが出来ている。洗濯物を過剰に詰め込むことや少量で回すこと、汚れがひどい衣類を手洗いせずに入れてしまうことがある為、洗濯物を確認しながら一緒に取り組む支援を今後も継続していく。洗濯物同士の間隔をあげずに干すことで洗濯物が重なっていることもある為、声かけ支援していく必要がある。また、乾いていない衣類を取り込むことが見られる為、今後も声かけ等の支援していく。取り込んだ後はしわを伸ばして綺麗にたたむように声かけ等の支援を継続する。

### 3. 生産活動

#### (1) 陶芸課

＜利用者＞ 8名

＜職員＞ 4名、アドバイザー1名

＜活動方針＞ 陶芸作業や販売を通して、各利用者の個性や能力を伸ばし、豊かな人生の自己実現を図り、社会参加を目指して生きがいを得る。

＜活動内容＞ ・手びねり～花器、器、皿、コーヒーカップ等  
・タタラ成型～マグカップ、ピアカップ、フリーカップ、角皿、丸皿  
豆皿等

・機械ろくろ～丸皿、大皿、湯のみ、小鉢、どんぶり等

・型抜き～箸置き

・土砕き～陶土再生の為、乾燥した陶土を粉状に潰す作業

・撥水剤塗り～作品の底に撥水剤を塗る作業

・施釉～素焼きに釉薬をつける作業

・素焼きや本焼きの窯入れ・出し作業

・販売準備（底削り、値段シール貼り、梱包）

・立体作品等の造形表現

＜成果＞ ・道具の修理や窯庫の整備など、昨年より取り組む機会が少なかったものの、エアコンフィルターの掃除は継続して行っている。

・自閉症啓発デーや各イベント等で展示、販売する事で多くの人に陶器を手にとってもらえる機会を設けることが出来た。

・今年度も不定期ではあるが、陶芸家の先生に来てもらうことができなかったが、新たにアーティストの方に来ていただき、利用者と一緒に活動に取り組んだ。利用者も積極的に取り組む姿があり、陶芸用品の使い方や新しい素材や道具についてアドバイスをもらえる良い機会になった。

・日頃の頑張りや成果を認め、月1回程度ではあるが、カラオケやファストフード店に出掛け、利用者の好きな飲み物やおやつを食べる等した。

＜総括＞ ・活動開始前のミーティングで、利用者一人ひとりに作業内容と1日の流れを伝えるようにすることで、1日の見通しを持つことができた。見通しを持つことで落ち着いた雰囲気の中、作業に取り組むことができています。

・作業に取り組みやすいようにと、道具の修理や棚の整理整頓に努めたが、前年度より取り組む機会が少なかった。道具の老朽化もあり、破損してしまうこともあったが、修理や新しいものの購入までに時間を要してしまうことがあった。片付けの声かけ、活動終了後の掃除を一緒に取り組むことで活動棟内を清潔に保つことができた。

・窯の使い方や釉薬など専門的な作業について職員間の引継ぎを行ってい

き、利用者がよりスムーズに作業に取り組めるようにする。

- ・陶芸の作業以外にも、活動棟外の草取りを行うことで、環境整備に努める事や天気の良い日は活動終了時間を早め、近所を散策するなど健康増進に努めた。
- ・今年は陶芸だけの展示を行った。その他、各イベントの参加や、造形作品の展示を行ったことで多くの方に陶芸課の活動を知ってもらうことができた。今後も、展示やイベント等に出展していき、多くの方に陶器を手にとっていただける機会を増やし、販売場所の拡大と陶器の種類や色など売れ筋の把握に努めて販売の向上につなげていきたい。
- ・月1回程度、日頃の頑張りや成果を認め、カラオケやファストフードに行った。利用者の好きな飲み物やおやつなど希望に応え外出することで短い時間ではあったが、楽しむ姿が見られた。また、定期的に外出することで活動への意欲や励みになった。

## (2) 手工芸課

＜利用者＞ 8名

＜職員＞ 4名

＜活動方針＞ 各利用者の個性や能力を生かして、機織りの作業などの活動や販売を通して利用者との信頼関係を深め、安定した日常生活を確立し、自己実現を図る。

＜活動内容＞ 機織り機での織物製作、布切り、加工及び販売を行う。

＜成果＞

- ・機織りの作業では、適度な力加減で丁寧に織ることができる利用者が増えた。また、以前シール等で作業工程を分かりやすくしたことで集中して作業に取り組んでいる。
- ・昨年度同様、様々な色や素材の糸を用意したことで利用者の選択肢も増え、個性的で色鮮やかな作品が増えた。
- ・機織りだけでなく、糸巻きや糸結び、布切りの作業を取り入れた。
- ・作業中に糸が絡まった際や、巻取りが必要な際などに職員に伝えることが昨年に引き続きできている。
- ・法人内外のイベントで展示・販売することで、利用者の作品を知ってもらう機会を設けることができた。

＜総括＞

- ・作業前にミーティングを行い、本人の名前を呼んで点呼することで意識付けをし、1日の流れを伝えることで見通しを持って作業に取り組むことができている。
- ・縦糸の取り付け等、専門的な作業について職員間の引継ぎを行っていき、利用者がよりスムーズに作業に取り組めるよう引き続き努めていく。

- ・今後も様々な色や素材の糸を用意することで利用者の選択肢を増やし、色鮮やかで個性的な作品を作っていくとともに加工にも力を入れ、作品の質の向上や種類を増やしていく。
- ・機織りや糸巻き、糸結び、布切りの作業以外にも利用者が意欲的に取り組めるような活動を検討していきたい。
- ・利用者が落ち着いて作業に取り組めるような環境設定に今後も努めていきたい。
- ・今後も展示会やイベントに参加し、多くの人に作品に触れてもらえる機会を増やしていくとともに販売場所を拡大し、各イベントでの売れ筋商品の把握に努め、売り上げの向上につなげていきたい。
- ・月1回程度のレクリエーションでは、利用者の希望に応え外出することで、楽しむ姿が見られている。今後も定期的に計画するとともに、活動への意欲や励みにつなげていきたい。

### (3) アート課

- 〈利用者〉 9名
- 〈職員〉 4名とアドバイザー1名
- 〈活動方針〉 絵画・造形を通して、感受性と表現の幅を広げながら利用者主体の自由な発想を大事にし、個性豊かな表現による作品作りを目指す。また、作品の販売や展示会、個展の開催を目指しながら、メンバー一人一人の創作意欲に繋げていく。
- 〈活動内容〉 絵画の他、モザイクタイルや紙粘土などを使用した創作活動
- 〈成果〉
  - ・メンバーそれぞれの興味関心を考慮しながら新たな素材を提案して作品制作の幅を広げることができた。
  - ・新たなメンバーが加わったが、席の配置、素材の提案など最適な制作環境を考慮することですぐに慣れることができています。
  - ・作品展の開催、美術館への出展などにより、多くの人々に作品を鑑賞してもらおう機会をつくることができた。
  - ・作品をモチーフにしたグッズ開発に取り組み、イベント等で販売することでアーティストとしての収益と評価を得ることができた。
  - ・県内企業に、メンバーとのコラボレーション企画を提案し、グッズ開発を実現することができた。
  - ・SNS（インスタグラム）を活用し、世界中に作品をPRすることができた。海外のギャラリーから展示依頼がくるなど成果をあげている。
- 〈総括〉
  - ・年間を通して落ち着いた環境の中で作品制作に取り組むことができた。今後も制作意欲の向上に繋がるような素材の提案や工夫を行っていく。

- ・展覧会やグッズ開発・販売を通じて多くの人々に作品を鑑賞してもらい、身近に感じてもらう機会を作ることができた。今後、さらに多くの人々に知ってもらうため情報の発信も積極的に行っていきたい。

#### (4) ECO 課

- ＜利用者＞ 9名
- ＜職員＞ 5名
- ＜活動方針＞ 主にアルミ缶リサイクルの活動に取り組む中で、能力を伸ばし、一日の生活の充実を図る。また環境にやさしく、地域にも貢献できるような作業内容を検討し取り組むことで、地域の人との関係を深めていく。
- ＜活動内容＞ アルミ缶リサイクル活動、地域貢献活動、古紙回収活動
- ＜成果＞
  - ・年間を通して計画的にアルミ缶リサイクルに取り組み、定期的に出荷する事ができた。
  - ・利用者個々の状態や特性に合わせて、作業回数やアルミ缶の量を調整した。
  - ・気候や季節に合わせて冷暖房を使い、作業場所や休憩場所の環境に配慮する事ができた。
    - ・本人の特性に合わせて作業道具を変えるなど、より良い環境提供を行うことができた。
    - ・リサイクル活動の一環としてアルミ缶保管場所の整理を定期的を実施し、古いアルミ缶から使用した。その結果、汚れた缶や破損した缶を事前に排除でき、安全性の向上に繋がった。
    - ・作業の準備（道具、カゴ、軍手など）片付けをする事が継続的に出来ていた。
    - ・利用者にとって、心地よく作業が行える作業場にする為に、活動終了後に道具の洗浄を行い、衛生面の改善を行った。
- ＜総括＞
  - ・年間を通して利用者は落ち着いて作業に取り組む事ができた。今後も継続して落ち着いて作業ができる環境作りをしていきたい。
  - ・今後もアルミ缶の数を確保する為、法人内にもさらなる呼びかけを行い、より多くの方々と協力体制を強化しながら、確保・増加に繋げていきたい。
  - ・休憩棟で穏やかに過ごせる様、個々に応じた休憩の取り方を配慮し、休憩時の課題行動の減少に繋がった。
  - ・夏季は、気温が高い日も多い為休憩棟窓に遮熱シートを張ったり、水分をこまめにとったりする等の対応をとった。また、継続して環境を整えていきたい。



#### 4、グループ別療育活動

##### (1) ジャイアンツグループ

- <利用者> 15名  
<職員> 9名  
<活動日時> 毎週火曜日13:30~15:30  
<活動場所> 犬飼グラウンド、昭和電工ドーム、犬飼リバーパーク、大野町運動公園  
社会福社会館（夏季プール）  
<活動方針> 活動を楽しく行うことにより、利用者とのやりとりを通して信頼関係を深め、ソフトボールの技術向上を目指す。  
<活動内容> 準備体操、ランニング、キャッチボール、バッティング・守備練習、グラウンド整備、整理体操、水泳（夏季）

##### <総括>

- ・ランニングでは、決められた時間や周数を自分のペースでしっかりと走ることができている。今後も継続していけるよう、声かけや一緒に走る等の支援を行っていく。
- ・キャッチボールでは、相手を見ないで投げることもある為、今後もしっかりとキャッチボールができるよう声かけ等の支援を行っていく。
- ・キャッチボールや守備練習では、グローブを使えるようになってきているので、今後は守備練習での捕球が上達するよう声かけ等の支援を行っていく。
- ・今後はバッティング練習にも力を入れていき、バッティングの技術向上にも努めていきたい。
- ・今後も、各々の特性や能力、年齢、環境を考慮した上で技術指導をしていくとともに、基礎体力の維持向上や心身のリフレッシュに取り組む。
- ・道具の準備・片付けでは、利用者各々が動けるようになってきつつある。今後もグラウンド整備が定着し、より丁寧に行えるように支援していく。
- ・夏季は、天候や気温などの環境に考慮した活動場所にて活動を行うことができた。
- ・夏季（8月）はタイガースと交互に社会福社会館のプールに行った。

##### (2) タイガースグループ

- <利用者> 18名  
<職員> 10名  
<活動日時> 毎週火曜日13:30~15:30  
<活動場所> 犬飼体育館、社会福社会館（夏季プール）、なかよしホール  
<活動方針> ストレッチ、動作法、水泳などを通して、運動機能の向上、健康増進及び自閉症状の改善を図り、信頼関係を構築する。  
<活動内容> 準備体操、ランニング、ウォーキング、ストレッチ及び動作訓練（スーパ

ーバイザーによる指導)、水泳(夏季)

<総括>

- ・自分のペースで最後まで走ることができる利用者がほとんどであるが、その日の状態により、伴走を必要とする利用者もいた。また、ランニング時とウォーキング時のBGMを別曲にすることで職員の声掛けが無くても、利用者自らペースを調整し切り替えることができた。
- ・活動終了後、体育館の清掃(モップがけ)に十分に時間を割くことができずにいたが、時間配分を工夫することで清掃にも丁寧に取り組むことができた。
- ・今年度も、阿部京子先生の指導のもと、動作法の活動を実施した。個別のファイルを作成し、課題と目標を設定することで進捗状況を図れるようにした。今後も利用者個別の関わり方を継続していく。
- ・夏季(8月)は、ジャイアンツと交互に社会福祉会館のプールに行き、楽しく活動に取り組んだ。トイレ誘導も定期的に行い、失禁などのトラブルもなかった。
- ・夏季(7月~9月)は、その日の暑気に応じ、ランニングの時間を短縮し、休憩時間を長めにする、活動内容をドライブに変更するなど体調面に配慮した。
- ・体育館改修により一時期、なかよしホールを使用。狭く不便な環境ではあるが、プログラムの一部を簡略化するなどし、トラブルなく取り組むことができた。
- ・利用者の体力や年齢に応じた活動内容を今後も検討・提案していく。

## 5. ウォーキング活動

### グループ1

利用者 9名

職員 5名

<活動方針> 四季折々の景色を楽しみながらウォーキングに取り組み、個々の健康増進と情緒の安定を図る。

<活動日時> 毎週水曜日13:30~15:30

<活動場所> 犬飼リバーパーク、昭和電工ドーム、大野町総合運動公園、  
臼杵総合運動公園、めぶき園近郊

<総括> ・晴天時にはめぶき園近郊を歩くことで長距離のウォーキングに取り組み、利用者の体力の維持向上に繋げることができた。  
・雨天時は昭和電工ドームの外周を歩くことで、天候に左右されずに活動に取り組むことができた。  
・夏季時は活動場所を日陰や涼しい場所で行い、水分や塩分補給にも配慮するなど熱中症対策にも努めた。今後も利用者の体調を十分に把握しながら継続していきたい。  
・今後も年齢や利用者一人ひとりの体力を考慮し、休憩時間の確保や各利用者のペース配分を行っていきながら、健康増進と心身のリフレッシュに努めていく。

### グループ2

利用者 11名

職員 6名 職員1名(令和2年1月末、退職)

<活動方針> 四季折々の景色を楽しみながらウォーキングに取り組み、個々の健康増進と情緒の安定を図る。

<活動日時> 毎週水曜日13:30~15:30

<活動場所> 犬飼リバーパーク、臼杵総合運動公園、高尾山自然公園、師田原ダム、  
大野町運動公園、昭和電工ドーム、大辻公園、朝地ドライブイン、市美術館  
めぶき園周辺

<総括> ・季節や天候を見て行き場所を変えることで、四季折々の景色を楽しみながら活動参加することができた。  
・夏季は歩く距離を短くしドライブに切り替えたり、塩飴・お茶を多めに用意し体調面に配慮したりと、熱中症対策を十分に行って活動に取り組む

ことができた。雨天時でも昭和電工ドームを歩くことで健康増進に努めることができた。

- ・配車の都合で別グループと合同になることが多くあったが、トラブルなく過ごすことができた。
- ・利用者の様子や体力を考慮しながらペース配分を考えて歩く等、落ち着いて活動参加できるよう努めていきたい。
- ・出発時にトイレ誘導を行うことで、移動中に急遽トイレを探すことなく、目的地まで移動することができた。また、移動先のトイレが使用できず急遽目的地を変更することもあったが、問題なく活動に取り組むことができた。今後も継続して移動前のトイレ誘導を徹底して行っていきたい。
- ・今後も体力作りや健康増進に努める為、安全かつ安定して歩くことができる場所を増やし、ウォーキングを行っていく。

### グループ3

利用者 13名

職員 7名

<活動方針> 四季折々の景色を楽しみながらウォーキングに取り組み、個々の健康増進と情緒の安定を図る。

<活動日時> 毎週水曜日 13:30～15:30

<活動場所> 犬飼リバーパーク、昭和電工ドーム、臼杵総合運動公園、高尾山自然公園、大野町運動公園、大辻公園

<総括> ・利用者個々のペース配分を考えて歩くことで落ち着いて参加でき、体力の増進や健康維持に繋がった。  
・活動場所を一定の場所にすることで、見通しをもち安心して取り組むことができた。  
・季節を感じられる場所に行くことにより、歩くだけでなく四季の移ろいを楽しむことができた。  
・自然と触れ合うことで心身ともにリフレッシュすることができた。  
・夏季は体調面に配慮してドライブに切り替える等、臨機応変に対応した。  
・配車の都合で別グループと合同になることがあったが、トラブルなく過ごすことができた。利用者の様子や体力を考慮しながらペース配分を考えて歩く等、落ち着いて活動参加できるように努めた。  
・今年度、利用者が1名増えたが、他利用者と共に落ち着いてウォーキングに取り組むことができた。

## 6. クラブ活動

### (1) スポーツクラブ

<利用者> 9名

<職員> 5名

<活動方針> ランニングや登山を中心に楽しく活動に取り組むことにより、心身を鍛え、健康増進と体力の向上を目指すとともに、豊かな生活、自己実現を図る。

<活動日時> 毎週木曜日13:30~15:30

<活動場所> 犬飼リバーパーク、昭和電工ドーム、大野総合運動公園

<活動内容> マラソンコース、グラウンドでのランニング(タイム測定)、ウォーキング、登山

- <総括>
- ・大野町運動公園、昭和電工ドームのランニングコースを中心とする長距離のランニングに重点をおいて取り組んだ結果、持久力の維持向上に繋げることができた。
  - ・活動場所や内容を考えながら取り組んだことで、意欲的に取り組むことができた。
  - ・今年度はマラソン大会に参加することができ、日ごろの成果を発揮する場を設けることができた。来年度以降も大会への参加を目標に活動に取り組んでいく。
  - ・今後もランニングだけでなく、様々な運動を取り入れていき、体力の維持向上に繋げていきたい。
  - ・活動へ意欲的に参加し、最後まで走り切れるようになってきているので、今後も積極的に取り組むことができるように支援していきたい。
  - ・今後も陸上記録会強化選手に選出される利用者を増やしていけるように、日頃の活動に取り組んでいきたい。
  - ・夏季は体調等に考慮し、活動内容や場所など臨機応変に対応した。
  - ・風船バレー大会にも参加し、他施設とも交流をすることができた。

### (2) 美術クラブ

<利用者> 11名

<職員> 4名

<活動方針> 絵画制作や工作等を楽しむことを通して、感受性と表現の幅を広げる。

<活動日時> 毎週木曜日13:30~15:30

<活動場所> めぶき園食堂内

<活動内容> モザイコタイル貼り、絵画(ペン画、クレヨン画)、ちぎり絵、

<総括> ・利用者一人一人が、モザイコ、絵画、ちぎり絵などで意欲的に制作に

- 取り組むことができた。また、一人一人の制作状況、興味・関心を窺いながら新たな素材を提案することで、作品制作の幅を広げられた。
- ・活動中は過度な声掛けを控え、利用者自らのタイミングや自身の中から生まれる気持ちを優先し、落ち着いた環境の中での作品制作が行えるように努めた。
  - ・作品が完成した際は、職員と利用者で喜びと達成感を共感し合い、次の意欲へと繋がるよう努めた。今後も利用者一人一人に合った作品制作の場となるよう努めていきたい。
  - ・展覧会の開催や美術館への出展など多くの人々に作品を鑑賞してもらい機会をつくることができた。今後もより多くの人々に楽しんでもらうよう展覧会等企画していきたい。

### (3) ウォーキングクラブ

〈利用者〉 12名

〈職員〉 7名

〈活動方針〉 ウォーキングを通して、健康増進と情緒の安定を図る。

〈活動日時〉 毎週木曜日 13:30~15:30

〈活動場所〉 犬飼リバーパーク、昭和電工ドーム、師田原ダム、白杵総合運動公園  
大野町総合運動公園、高尾山自然公園、原尻の滝

〈活動内容〉 ウォーキング

〈総括〉 今年度は白杵総合運動公園や、大野総合運動公園を中心にウォーキングに取り組んだ。広い運動公園を歩くことで、長い距離を歩くことができた。雨天時は昭和電工ドームの外周を歩き、雨天時でも活動を行うことができた。また、夏季の暑さが厳しいときは、木陰の多いリバーパーク犬飼等で活動を行い、水分補給や塩分補給を積極的に行った。

## 7. 余暇活動

### (1) 基本方針

様々な余暇活動を経験することにより楽しみを見つけ、自由時間を1人または皆で有意義に過ごす。

#### <学 習>

活動方針 実際の生活に役立つ金銭の計算の習得と計算機の基本的な使い方の習得。

また1日の出来事を日記帳に記す。

メンバー 学習：1名

日記：4名

担当者

活動内容 夕食後や余暇活動終了後の空いた時間を利用し、各自専用の計算機と小遣い帳を使い、用意したレシートを用いて支出計算を行う。また1日の出来事を日記帳に記入する。漢字練習に取り組む。

総 活 職員と共に一日の出来事を確認しながら振り返り、各自毎日取り組む事ができた。また、レシート品目の転記と電卓を使っての収支計算は正確にできており、違算は殆ど見られなかった。声掛けを行うことで丁寧に取り組むことが出来ているが、時折、書き方が雑になることもあった為、継続して職員が指導しながら取り組みを行った。

#### <カラオケ>

活動方針 カラオケを通して気分転換を図り、歌うだけでなく踊ることや聴くことで楽しい余暇の時間を過ごす。

メンバー 希望利用者全員

担当者

活動内容 夕食後にカラオケ機材を用いて希望があれば随時行う。

総 活 今年度も利用者からの希望が多く、随時実施することができた。普段の余暇活動に参加しない利用者も自ら参加する姿がみられたり、カラオケは参加しないが他利用者の歌う姿を見て体を揺らしたり手拍子をするなど、楽しむ姿が見られた。カラオケ機械の更新がうまくできない事もあり、歌いたい曲が検索できない事もあったため、今後も定期的に更新をし利用者の歌いたい曲が歌えるようにしていく。

## 8. 行事

### <花見> (平成31年4月10日)

- ・目的 利用者、職員で花見をしながら食事をし、親睦を深める。
- ・参加者 利用者33名、職員32名
- ・場所 めぶき園
- ・費用 材料費 ￥ 98, 108  
消耗品・おやつ代 ￥ 21, 084  
総額 ￥119, 192

### <めぶき園大運動会> (令和元年5月18日)

- ・目的 集団行動、自主的な態度を身につける場を体験する。利用者・保護者・職員と一緒に運動会を通して親睦を深める。
- ・参加者 利用者45名、職員36名、保護者・ボランティア 計81名
- ・場所 豊後大野市営犬飼体育館
- ・費用 競技道具・材料代等 ￥18, 011  
ジュース・お菓子代 ￥18, 669  
その他 ￥14, 040  
はがき・切手代 ￥ 434  
総額 ￥51, 154

### <第38回ゆうあいスポーツ大会> (令和元年6月8日)

- ・目的 県下の知的障がい児者とスポーツを通して交流する。日頃の練習の成果を発揮するとともに、ルールやマナーを守る。
- ・参加者 利用者42名、職員30名
- ・場所 大分銀行ドーム
- ・費用 ジュース代等 ￥11, 061  
総額 ￥11, 061

### <スポーツクラブレクリエーション> (令和元年8月28日)

- ・目的 マナーを守って行動し、日頃の鍛錬の成果を発揮すると共に、心身のリフレッシュを図る。
- ・参加者 利用者9名、職員4名
- ・場所 OBS ボウル・カラオケ
- ・費用 昼食・おやつ代 ￥20, 770



ボウリング代	¥ 9, 540
カラオケ代	¥ 8, 840
総 額	¥39, 150

<散歩クラブレクリエーション> (令和元年8月28日)

- ・目 的 日頃の労をねぎらい心身のリフレッシュを図る。
- ・参加者 利用者13名、職員13名
- ・場 所 稲積水中鍾乳洞
- ・費 用 昼食・おやつ代 ¥46, 136
- 入場料 ¥15, 600
- 総 額 ¥61, 736

<美術クラブレクリエーション> (令和元年8月28日)

- ・目 的 美術作品に触れ、今後の作品づくりに生かす。マナーを守って行動し、心身のリフレッシュを図る。
- ・参加者 利用者11名、職員9名
- ・場 所 大分市美術館・カラオケ
- ・費 用 昼食代 ¥29, 800
- カラオケ代 ¥17, 280
- 総 額 ¥47, 080

<めぶき園全体一泊旅行> (令和元年9月18日～19日)

- ・目 的 集団行動でマナーを守り、親睦を深める。旅行を楽しみ、心身のリフレッシュを図る。
- ・参加者 利用者32名、職員22名
- ・場 所 熊本県(熊本市動植物園・イルカウォッチング等)
- ・費 用 貸切バス代～2台 ¥ 410, 400
- 運転手宿泊代 ¥ 15, 420
- 1日目昼食代 ¥ 101, 750
- 2日目昼食代 ¥ 89, 100
- 宿泊代 ¥ 721, 050
- 高速代 ¥ 5, 860
- 職員日当 ¥ 79, 800
- 大分交通手数料 ¥ 27, 500
- お土産代 ¥ 27, 434
- おやつ代 ¥ 21, 680

イルカウォッチング貸切船	¥	172,600
雑費	¥	39,876
総額		¥1,712,470

<ハイキングレクリエーション①> (令和元年10月23日)

- ・目的 日頃の労をねぎらい、心身のリフレッシュを図る。
- ・参加者 利用者9名、職員4名
- ・場所 鎮南山・薬師の湯
- ・費用

弁当代	¥	5,070
おやつ代	¥	4,160
入浴代	¥	2,000
非常食代	¥	1,707
総額		¥12,937

<ハイキングレクリエーション②> (令和元年10月23日)

- ・目的 マナーを守って行動し、心身のリフレッシュを図る。
- ・参加者 利用者11名、職員7名
- ・場所 くじゅう花公園
- ・費用

昼食代	¥	10,332
入園料	¥	4,400
おやつ代	¥	3,990
総額		¥18,722

<ハイキングレクリエーション③> (令和元年10月23日)

- ・目的 マナーを守って行動し、心身のリフレッシュを図る。
- ・参加者 利用者13名、職員12名
- ・場所 長者原自然研究路
- ・費用

昼食代	¥	26,851
高速代	¥	1,670
おやつ代	¥	4,118
総額		¥32,639

<ジャイアンツレクリエーション> (令和元年11月20日)

- ・目的 団体行動のマナーを守って行動し、心身のリフレッシュを図る。日頃の練習の成果を試す。

- ・参加者 利用者14名、職員9名
- ・場 所 滝尾橋バッティングセンター・すたみな太郎・カラオケ
- ・費 用
 

バッティング代	¥ 6, 000
昼食代	¥30, 030
おやつ代	¥ 1, 092
カラオケ代	¥ 8, 970
総 額	¥46, 092

<タイガースレクレーション> (令和元年11月20日)

- ・目 的 マナーを守って行動し、心身のリフレッシュを図る。
- ・参加者 利用者19名、職員15名
- ・場 所 阿蘇ファームランド・チャレンジ館
- ・費 用
 

昼食代	¥57, 800
おやつ代	¥ 2, 410
アスレティック入場料	¥54, 400
総 額	¥114, 610

<クリスマス・忘年会> (令和元年12月12日)

- ・目 的 季節の行事を感じ、一年の労をねぎらい、振り返る。
- ・参加者 利用者34名、職員23名
- ・場 所 焼肉ダイニングJ U J U・めぶき園食堂
- ・費 用
 

昼食代	¥136, 006
アイス・お菓子代	¥ 13, 138
総 額	¥149, 144

<新年会> (令和元年1月18日)

- ・目 的 新年を迎えるにあたり、一年の健康等を祈願し、慶びを分かち合う。
- ・参加者 利用者43名、職員24名、保護者34名 合計101名
- ・場 所 春日神社、レンブラントホテル大分 (食事会～バイキング)
- ・費 用
 

祈願料	¥ 10, 000
おやつ代	¥ 23, 000
食事代	¥175, 478
総 額	¥208, 478

<アート課・ECO課1日レクレーション> (令和2年2月19日)

- ・目的 日頃の労をねぎらい心身のリフレッシュを図る。
- ・参加者 利用者18名、職員12名
- ・場所 津久見イルカ島、昼食(浜茶屋)、道の駅やよい
- ・費用 

入園料	¥	9,000
昼食代	¥	47,190
<u>おやつ代</u>	¥	<u>5,680</u>
総額	¥	61,870

<陶芸課・手工芸課1日レクレーション> (令和2年2月19日)

- ・目的 日頃の労をねぎらい心身のリフレッシュを図る。
- ・参加者 利用者15名、職員10名
- ・場所 アフリカンサファリ、マクドナルド戸次店
- ・費用 

入園料	¥	38,400
昼食代	¥	35,870
おやつ代	¥	8,220
バスガイドDVD料	¥	1,200
<u>高速代</u>	¥	<u>2,140</u>
総額	¥	85,830

<合同レクレーション> (令和2年3月11日)

- ・目的 日頃の労をねぎらい、心身のリフレッシュを図る。
- ・参加者 利用者33名、職員24名
- ・場所 めぶき園(カラオケ)
- ・費用 

昼食代	¥	57,000
<u>おやつ代</u>	¥	<u>4,934</u>
総額	¥	61,934

※コロナウイルスの影響のため園内で実施する。

## 第2章 給食

### 1. 総括

献立作成は、栄養基準量や食品構成に基づき実施した。肉、魚、卵をバランスよく取り入れた献立作成をし、味つけや切り方など工夫し調理を行った。その結果、今年度も残菜はほとんど見られなかった。揚げ物を揚げ焼きにするなど、脂質摂取量を抑える調理の工夫もしている。今年度アレルギー対応者2名、刻み対応者5名。

行事食は、誕生会（毎月）・バイキング（行事のない月）、クリスマス会、新年会も実施。おやつは、月・火、木、金曜日は牛乳と菓子類、水曜日はヨーグルトと麦茶。土・日曜日はジュースで実施した。夜のおやつタイムは、火曜日は菓子類、金曜日はコーヒータイムで実施した。また毎月1週のみ（月から金曜日）は昼食後にコーヒータイムを実施している。火曜日には、毎週交代で、各課どんこレストランに行き、自分の好きなものを注文して食事をおこなっている。

配食サービスについては、平日及び祝日におこないます。1月より希望者はゼロのため、配食サービスは実施していません。

### 2. 資料

#### (1) 令和元年度カロリー・主要栄養素目標及び実績平均値（1日量）

	1人1日 cal	蛋白 g	脂肪 g	カルシウム mg	鉄 mg	ビタミンA レチノール	ビタミンB1 mg	ビタミンB2 mg	ビタミンC mg
目標	2,100	70.0	48.0	600	10.4	598	1.19	1.34	92
実績	1,973	79.6	68.5	495	8.7	580	1.17	1.28	91

#### 〈バイキング〉

日付	内容
4月10日	園遊会 おにぎり 焼き肉 ジュース
5月23日	たけのこご飯 味噌カツ アスパラベーコン ウィンナーソーセージ 厚焼き卵 イカ焼売 白和え 柏餅
6月27日	わかめご飯 蒸しあわび カツオたたき 合鴨のメンチカツ ローストビーフ とり汁 水まんじゅう
7月25日	ミニうな丼 揚げ焼売の甘酢がけ スペアリーブの甘辛醤油漬け ミニフランクフルト 焼きトウモロコシ ナス味噌春巻き ポテトサラダ そうめん 白玉フルーツポンチ
8月29日	タコ飯 エビフライ ピリ辛チキン 蒸し焼売 うなぎ白焼き 鱈の素揚げ シーフードカルパッチョ 野菜サラダ 白玉クリームぜんざい
9月18日 19日	全体旅行
10月24日	栗ごはん フランクフルト とりたたき サンマ竜田揚げ エビボール ふぐ天ぷら だし巻き卵 ポテトサラダ かしわ汁 おはぎ
11月14日	マツタケご飯 鳥つくね カニ焼売 ラム肉ラックロースト 砂ずりのピン チョス 鯖の燻製サラダ 吸い物 ケーキ
12月1日	クリスマス忘年会（焼き肉J U J Uにて）

1月18日	新年会 (レンブラントホテルにて)
2月20日	福豆ごはん エビフライ ハンバーグ イカ焼売 串カツ ブロッコリーカリフラワーサラダ うどん汁 オレンジせとか いちご入り桜餅
3月19日	枝豆ご飯 特大海鮮焼売 ピーマンと肉の手まり揚げ 筍松葉寿司 コロコロマグロのサラダ スペアリブ ミニステーキ すまし汁春の香り ケーキ盛り合わせ

### 〈誕生会〉

日付	内容
4月18日	ご飯 ハンバーグ エビフライ マカロニサラダ コーンポタージュ ゼリー ジュース
5月16日	ご飯 ステーキ 野菜サラダ コンソメスープ ストロベリーケーキ ジュース
6月13日	ご飯 豚ロースステーキ タコの酢の物 味噌汁 ショートケーキ ジュース
7月18日	ご飯 豚ロースステーキ シーフードマリネ コーンポタージュ ショートケーキ ジュース
8月22日	ご飯 ステーキ 野菜サラダ コーンポタージュ 果物ゼリー ジュース
9月26日	ご飯 ハンバーグ สปาゲティサラダ コンソメスープ ショートケーキ ジュース
10月17日	ご飯 ポークソテーマスタードソースかけ タコの酢の物 味噌汁 ショートケーキ ジュース
11月21日	ご飯 ハンバーグフォアグラソース สปาゲティサラダ 味噌汁 プリン ジュース
12月19日	ご飯 ステーキ 野菜サラダ コンソメスープ ゼリー ジュース
1月30日	ご飯 トンカツ タコの酢の物 味噌汁 ショートケーキ ジュース
2月27日	ご飯 鳥から揚げ ポテトサラダ 味噌汁 プリン ジュース
3月26日	ご飯 トンカツ สปาゲティサラダ コンソメスープ ショートケーキ ジュース

### 第3章 医療・保健衛生

#### 1. 定期検診及び検査

##### 《 内科検診 》年2回実施

(内容) 一般診察・検尿・血圧測定

(対象) 利用者全員

日付	実施医療機関	利用者
令和元年8月19日	博愛診療所 長尾 医師	32名
令和2年2月10日		32名

##### 《 血液検査 》

(内容) 血液一般、生化学

(対象) 利用者全員

日付	実施医療機関	利用者
令和元年10月10日	地域保健支援センター	32名

\* 特記事項・・・ 保護者の承認を得て利用者全員に肝炎ウィルス検査を実施結果、32名全員異常なし

##### 《 胸部レントゲン検査 》

(対象) 利用者全員、35歳以下職員

日付	実施医療機関	利用者
令和元年10月10日	地域保健支援センター	32名

##### 《 婦人科検診 》

日付	実施医療機関	利用者	検査内容
令和元年11月	安産産婦人科	女性利用者4名	子宮(下腹部)エコー
令和2年1月	みえ病院		乳腺エコー

##### 《 上部消化管内視鏡検査(胃カメラ) 》

日付	実施医療機関	利用者
令和元年4月 ～令和2年3月	大久保内科外科(内視鏡) クリニック	36歳以上で保護者の 同意が得られた利用者

《 貯水槽清掃及び上水水質検査 》

令和元年 8 月 21 日貯水槽清掃、令和元年 12 月 17 日上水水質検査実施 異常なし  
簡易水質検査毎日実施 異常なし

《 厨房職員便細菌検査 》

日	付	職 員
2019	4月 8日	6名
	5月13日	6名
	6月10日	6名
	7月 8日	6名
	8月 5日	6名
	9月 9日	6名
	10月 7日	6名
	11月11日	6名
	12月 9日	6名
2020	1月14日	6名
	2月10日	6名
	3月 9日	6名

全員異常なし

## 2、健康管理

《 歯科検診及び治療 》

月に 2 回、高橋歯科医院（大分市都町 院長 南部貴志）をどんこの里と合同で受診している。また、今年度よりめぶき園利用者のみで受診する日を定期的に設けた。利用者の個別性に応じて大分市王子町にある大分県口腔保健センターも利用しつつ、全員が年 1 回以上歯科受診できるよう努めている。

《 検 温 》

毎朝、朝食前に全員検温を実施している。有熱者は、職員ミーティングで報告・経過観察し、必要に応じ受診した。

《 体重測定 》

毎月 1 回、測定・記録し、必要に応じて食事量の調整等を行っている。

## 3、衛生管理

《 居室や施設内の清掃・消毒 》

毎朝園内清掃時、居室ドアノブ棟消毒している。毎月第 3 土曜日は居室内のハイター拭きを行い、その他適宜廊下を消毒拭きするなど衛生的な環境整備に努めている。

《 寝具の日光消毒 》



天気のいい日は出来るだけ実施し、1人で行えない利用者の場合職員が介助した。

#### 4、看護記録

##### 《 看護日誌 》

体調の悪い利用者の健康状態を記録することで、経過的に状態を把握し適切に対応できるように努めた。

##### 《 服薬 》

お薬の説明書は5年保存を基準に個別にファイリングしている。薬品名・量・時間・病院など変更時は、その都度療育日誌に記録したり職員ミーティングで報告したりすることで服薬間違いがないよう努めた。

##### 《 女性利用者の生理 》

療育日誌の生理の欄に、氏名と経過日を記録し状況を把握することで女性特有の健康トラブルの早期発見に努めた。

##### 《 健康診断 》

健診結果は5年保存を基準に個別に保存している。二次健診の対象になった利用者は早期に再検査し、その結果も併せて分かるようファイリングしている。

#### 5、総括

令和2年5月現在、利用者（入所32名）の平均年齢は39.4歳となった。多くの利用者が壮年期を迎え、今後ますます高齢化に伴う課題は増えていくものと思われる。自身の不調を訴えることが難しい利用者に対し、健康診断・内視鏡検査・歯科受診・女性利用者の婦人科受診などのシステムの整備及び実施を適切に行い異常の早期発見に努めていきたい。一方で10-20歳代の利用者に対しては、虫歯予防や体重のコントロールなどを通して健康的に年を重ねていけるよう配慮したいと考える。

令和2年に入ってから新型コロナウイルスの影響により週末の帰宅帰園や園外レクの自粛を余儀なくされている。不慣れた生活は利用者にとってストレス・疲労の原因となっているが、感染症に振り回させることなく環境に適応していけるよう職員一丸となって安心・安全を第一とした環境整備に取り組みたいと考えている。

利用者のライフステージの多様化や世の中の情勢の変化によって医療・衛生の課題が尽きることはないが、利用者が心身ともに健やかであるよう臨機応変に対応したい。

第4章 防災関係（めぶき園）

年	月 日	訓練種別・避難タイム	備 考
令和元年	4 / 20	防火管理委員会	次回避難訓練の予告
	4 / 25	避難訓練（3分54秒）	避難訓練反省
	5 / 18	防火管理委員会	次回避難訓練の予告
	5 / 29	避難訓練（3分10秒）	避難訓練反省
	6 / 15	防火管理委員会	次回避難訓練の予告
	6 / 28	避難訓練	雨天のため中止
	7 / 20	防火管理委員会	次回避難訓練の予告
	7 / 23	避難訓練（3分37秒）	避難訓練反省
	8 / 17	防火管理委員会	次回避難訓練の予告
	8 / 27	避難訓練	雨天のため中止
	9 / 21	防火管理委員会	次回避難訓練の予告
	9 / 27	避難訓練	雨天のため中止
	10 / 19	防火管理委員会	次回避難訓練の予告
	10 / 21	避難訓練（3分14秒）	避難訓練反省
	11 / 16	防火管理委員会	次回避難訓練の予告
	11 / 18	避難訓練（3分25秒）	避難訓練反省
	12 / 7	防火管理委員会	次回避難訓練の予告
	12 / 26	避難訓練	雨天のため中止
令和2年	1 / 18	防火管理委員会	次回夜間避難訓練の予告
	1 / 21	夜間避難訓練（3分56秒）	夜間避難訓練反省
	2 / 8	防火管理委員会	次回避難訓練の予告
	2 / 20	避難訓練（2分33秒）	避難訓練反省
	3 / 14	防火管理委員会	次回総合避難訓練の予告
	3 / 17	総合避難訓練（3分59秒）	総合避難訓練の反省

※ 避難訓練では、「避難場所に素早く集合」を目標にし、出火場所に合わせて避難場所を食堂の外（第1避難場所）とグラウンド（第2避難場所）に変更し行なっている。

ほとんどの利用者は大きな混乱もなく、スムーズに避難出来るようになってきたが、こだわりで動けなくなる利用者の避難が遅れる事もあった為、職員の対応を徹底していきたい。また、指定された避難場所へ集まり座って点呼を待つことが出来るようになって来たので引き続き取り組んでいきたい。

## 第5章 家庭との連携

### 1、週末帰宅状況

4月6日	9名在園
13日	11名在園
20日	13名在園
27日	11名在園
28日	16名在園
5月3日	20名在園
4日	8名在園
5日	17名在園
11日	15名在園
18日	7名在園
25日	12名在園
6月1日	12名在園
8日	8名在園
15日	6名在園
22日	12名在園
29日	6名在園
7月6日	11名在園
13日	11名在園
14日	16名在園
20日	12名在園
27日	10名在園
8月3日	12名在園
10日	14名在園
11日	18名在園

17日	13名在園
24日	11名在園
31日	11名在園
9月7日	8名在園
14日	15名在園
15日	19名在園
21日	8名在園
22日	15名在園
28日	12名在園
10月5日	11名在園
12日	15名在園
13日	16名在園
19日	11名在園
26日	13名在園
11月2日	10名在園
3日	16名在園
9日	12名在園
16日	12名在園
22日	29名在園
23日	13名在園
30日	13名在園
12月7日	10名在園
14日	13名在園
21日	11名在園

28日	16名在園
29日	22名在園
30日	19名在園
31日	2名在園
1月1日	6名在園
2日	9名在園
3日	19名在園
4日	15名在園
11日	13名在園
12日	17名在園
18日	8名在園
25日	11名在園
2月1日	9名在園
8日	12名在園
15日	9名在園
22日	16名在園
23日	18名在園
29日	12名在園
3月7日	12名在園
14日	12名在園
20日	26名在園
21日	16名在園
28日	12名在園

### 2、家族連絡会実施状況

令和元年5月25日

個別面談については、個々の保護者の希望に応じて実施した。  
連絡事項については、保護者会及び保護者参加の場やプリントを配布を通して行った。

## 第6章 利用者の状況

### 1、年齢別利用者の状況（R2，3，31）

年齢	18	20	21	31	33	35	36	37	38	39	42
男性	1	1	1	3	2	2		1	2	1	1
女性							1				
合計	1	1	1	3	2	2	1	1	2	1	1

年齢	43	44	45	46	47	48	51		合計	平均年齢
男性	1	1	3	3	3	1	1		28	38, 6
女性	1	1			1				4	42, 5
合計	2	2	3	3	4	1	1		32	39, 1

### 2、市町村別利用者の状況（R2，3，31）

	大分市	別府市	日田市	津久見市	臼杵市	杵築市	豊後大野市	由布市	佐伯市		合計
男性	18	1	1	1	3	1	1	1	1		28
女性	4										4
合計	22	1	1	1	3	1	1	1	1		32

### 3、判定別利用者の状況

＜療育手帳＞

	A1	A2	B1	B2	合計
男性	10	16	1	1	28
女性	2		2		4
合計	12	16	3	1	32

<障害支援区分>

	6	5	4	3	合計
男性	25	3			28
女性	3	1			4
合計	28	4			32

4、入園前の状況

	支援学校高	支援学校中	通所授産	作業所	在宅	合計
男性	7	6	4	2	9	28
女性	2	1	1			4
合計	9	7	5	2	9	32

第7章 職員研修実施状況

期 日	研 修 名	場 所	参 加 者
4,24~26	強度行動障害支援者養成研修	なかよしホール	高山・山並
5,30~31	社会福祉施設等中堅職員研修会	県介護研修センター	田口
6,5	接遇マナー研修	県介護研修センター	後藤優
6,18	社会福祉施設等給食担当職員研修会	県介護研修センター	伊達
7,9~10	社会福祉施設等指導監督職員研修会	県介護研修センター	神野
7,16	社会福祉法人理事研修会	県介護研修センター	野上
7,17 8,21	社会福祉施設事務担当職員研修会	県介護研修センター	工藤友・熊谷
7,21~23	全自者協総会 全国知的障害関係施設長等会議	横浜市	野上
7,25 8,7,21	防災士養成研修	県総合社会福祉会館	小野淳
7,26	日本ACLS協会 BLSプロバイダーコース	福岡市	甲斐
9,4	ハラスメント防止研修	県総合社会福祉会館	神野
9,17	社会福祉施設等看護担当職員研修会	県介護研修センター	甲斐
9,26~27	県知障協職員研修会	住吉浜リゾートパーク	堀
10,16	チームワーク向上研修会	県総合社会福祉会館	井上詩
10,26	精神科の専門技術メンタル	県立看護科学大学	甲斐
11,5	福祉避難所実務者研修会	県総合社会福祉会館	野上
11,6~8	全日本自閉症支援者協会 埼玉大会	埼玉県川越市	野上
11,13	メンタルヘルス研修	県総合社会福祉会館	竹永
12,4	プロ意識醸成研修	県総合社会福祉会館	田口
12,5~6	九州・山口・四国自閉症施設協議会職員研修会	山口県防府市	野上、矢野
1,15	アンガーマネジメント研修	県総合社会福祉会館	小野淳
1,29	サービス管理責任者更新研修会	県総合社会福祉会館	野上
1,30~31	障がい児者施設等職員研修会	県介護研修センター	後藤優
2,12	効果的な部下・新人育成研修	県総合社会福祉会館	田口
2,15	県知的障害施設協議会職員研修会	県総合社会福祉会館	能一
3,4~5	防火管理者講習会	別府豊泉荘	朝久野

## 第8章 日中一時・ショートステイ利用状況

### 1. ) 日中一時

(1) 利用人数	2名
(2) 利用回数	11回
(3) 利用延べ日数	11日
(4) 利用者居住地域	大分市1名、豊後大野市1名
(5) 利用者性別	男性2名、女性0名
(6) 利用者年齢区分	児童(18歳未満) 2名 成人(18歳以上) 0名

### 2. ) ショートステイ

(7) 利用人数	14名
(8) 利用回数	110回
(9) 利用延べ日数	451日
(10) 利用者居住地域	大分市11名、豊後大野市2名、佐賀市1名
(11) 利用者性別	男性12名、女性2名
(12) 利用者年齢区分	児童(18歳未満) 4名 成人(18歳以上) 10名

# 令和元年度

## ライフサポートセンターなごみ園事業報告

### 第1章 療育活動

#### 「放課後等デイサービス事業」

##### 1. 療育方針

- ① 発達支援 人との関係を軸にしなが、遊びや課題を通して一人一人のお子さんの発達段階に応じた支援を行います。
  - ・人とのコミュニケーションの中で自己表現方法の獲得や自立心を促していくとともに、社会的なスキルの向上をねらいとした遊びや課題内容を提示していくことによって子どもの発達を促し、行動の改善を行った。
- ② 才能援助 様々なことを経験する機会を通して、一人一人の可能性を引き出し、自己表現力や有用感を高めます。
  - ・既存の枠組みにとらわれず、利用児童の興味や関心をもとにして、文字や計算などの学習課題や、社会的なスキルの習得を目指した活動を展開した。
- ③ 家庭援助 子育てについての相談や学習会を通して、お子さんへの理解を深めながらこどもの育ちと暮らしを支援します。
  - ・子育ての相談を受けるだけでなく、なごみの会において保護者同士でお子さんの近況報告を行ったり、発達支援計画を通したりしながら親御さんと一緒に子どもの発達理解を深めた。
- ④ 地域援助 ボランティアの要請や研修会を開催し、保育園や学校などの関係諸機関との連携を密にしなが、地域でのお子さんの暮らしを支えます。
  - ・定期的に学生ボランティアを要請したり、行事を通して地域ボランティアを要請したりすることで、いろいろな人との交流を深めた。
- ⑤ 心のケア 「癒し」をテーマとしたメンタルケアを行うことで、心身の発達を促進します。
  - ・こどもの状態や周囲の生活状況などに合わせて、集団活動や課題内容を変更したり、自分の好きな事をじっくりと取り組める活動をメインにした状況をつくるなどの配慮を行った。

##### 2. 日 課

- |          |               |
|----------|---------------|
| ①平日午後コース | 15時00分～17時00分 |
| ②土曜日午前   | 9時30分～11時30分  |
| ③土曜日午後   | 14時00分～16時00分 |



時 間	内 容	具 体 的 な 活 動 内 容
① 15:00 ② 9:30 ③ 14:00	登園 自由遊び 個別学習	ブランコやトランポリン、ボールプール等の大型遊具や三輪車、プラレール、積み木などの玩具を共有して遊びながら集団のルールや動作技能の習得を目指します。
① 16:15 ② 10:45 ③ 15:00	集団活動 ・芸術活動 ・制作活動・調理実習 ・課外活動・専門活動 ・リラクゼーション	工作や調理等といった技能的な課題状況や、SSTプログラムを通して社会的な適応力を育てます。
① 16:45 ② 11:15 ③ 15:30	おやつ 準備・片付け	自己表出支援とともに、集団のルールに依拠することや、片付け、準備などの整理意識を育てます。
① 13:30 ② 11:30 ③ 16:00	帰りのお集まり 降園	今日の活動内容や次回の活動内容の確認をすることで、自己意識や先の見通しを得る力を育みます。

#### 内容

◎集団活動：自ら集団活動へ入っていくことで、自己意識や集団への適応意識を高め、社会適応力を身につけていく（行進、体操など）

- ・強制をしなくても、回数を重ねていく中で子ども自身が流れや内容を理解し、自ら意識的に活動に入れていた。

◎学習活動：認知発達を促すことで、日常生活の質の向上を目指す（型はめ、パズル、マッチング、文字カード、数字カードなど）

- ・子どもの興味に合わせた教材を用意し、各々の発達段階をふまえながら依拠することを求めることで、日常生活のスキル向上を促すことができた。

◎制作活動：行事用の制作活動を通しながら、季節感や創作意欲を獲得していく（かかしコンテスト、クリスマス用靴下、鬼の面、ひなかざりなど）

- ・すべてのグループにおいて、同じ内容の作業に取り組んだり、リレー作業を行ったりしたことで、「なごみ園」という集団に対する帰属意識を育てることができた。

◎調理実習：生理的な欲求を自分の力で満たす経験や、準備から片づけまでの経験を得ていくことで、自立心を育てる（ホットケーキ、やきそば、お好み焼きなど）

- ・お友達と一緒に調理したことで、今まで苦手だった物も食べられるようになったり、道具を揃える準備から調理、皿洗いなどのお片づけも回数を重ねる度に上手になった。また、

調理場面では、自分がやりたいという自己主張が強く表れる機会も多くみられた。

◎野外活動：居住地域での適応範囲を広げる（リバーパーク、吉四六ランド、Aコープ）  
・買い物や公園に出かけたり、電車に乗車する体験を行ったりすることで、こどもの居住地域における社会適応力や、保護者との行動範囲にも広がりがみえた。

◎SST（ソーシャルスキルトレーニング）：社会生活を営む上で重要視されてくるマナーやルールを子どもたちが興味のある活動を通して学んでいった。

- ・ 子ども同士で意見を出し合う話し合いの中で、お互いに妥協点を見つけ出し、折り合いをつけていける経験を得られた。

### 3. 行 事・内部研修

◎6月15日・・・ピザの会

◎12月14日・・・クリスマス会・保護者会

◎3月14日・・・がんばり賞授与式・保護者会

### 「生活介護事業」

#### 1、目的

利用者の自立と社会参加を図ることを目的とし、生きがいとしての生産活動や余暇的、文化的活動を提供する。

#### 2、方針

- ① 人権と主体性を尊重し、常に利用者の立場に立って支援する。
- ② 自立した日常生活及び社会生活を営めるように支援する。
- ③ 安心感と信頼関係に基づき、チームワークによる支援を行う。
- ④ 地域や家族との結びつきを重視し、関係機関との連携に努める。

#### 3、日課

時間	活動内容
9：00	通所・更衣
10：00	朝の会・ラジオ体操
10：10	活動開始（生産活動）※1時間ごとに10分休憩をはさむ。
12：00	昼食・休憩
13：00	活動開始（生産活動・余暇活動）
15：00	帰りの会
16：00	活動終了後、帰宅

#### 4、作業の種類

アルミ缶潰し   ピザ作り   和紙作り（牛乳パックカット、フィルムはがし、紙すき、ポチ袋組み立て）   絵画制作   アイロンビーズ作品制作   モザイクアート作品制作   織物   調理活動

#### 5、商品売上げ

商品の種類	値段	販売数	利益(販売手数料差引額)	純利益(コスト差引額)
ポチ袋3枚セット	400	50	16015	12349
ポチ袋4枚セット	500	20	10000	6880
ポチ袋1枚	150	781	90598	74335
ポストカード	150	149	18677	16591
Tシャツ	2500～ 3000円	115	300000	49200
ぐるぐる	360	4	1440	1240
きのこブローチ	400	31	10400	9780
カレンダー	1000	77	74000	54596
ピンバッジ	300	237	64616	31436
キーホルダー	800	78	57040	29740
ミニタオル	600	31	15436	4183
クリアファイル	300	72	16980	16980
振込手数料など			-511	
合計			674691	306799

## 6、社会適応訓練

月	行事
4月29日(月)	新メンバー歓迎会(亀の井ホテルバイキング)
5月6日(月)	豊後高田 昭和の町散策
6月16日(月)	水族館(うみたまご)
7月15日(月)	湯布院散策
8月12日(月)	アフカリンサファリ
9月23日(月)	ハイキング(一目山登山)
10月10日(木)11日(金)	一泊旅行(宮崎)
11月4日(月)	ラクテンチ
12月22日(日)	ランチバイキング(湯布院)
1月13日(月)	初詣(宇佐神宮)
2月24日(月)	いちご狩り
3月20日(金)	高千穂峡

## 第2章 利用者の来園状況

### 「放課後等デイサービス事業」

	利用児数 (人)	送迎 (回)	訪問支援	開園日数 (日)	1日平均利用 (人)
4月	234	391	0	25	9.3
5月	210	356	5	25	8.4
6月	274	418	18	26	10.5
7月	255	433	7	28	9.1
8月	264	429	0	24	11
9月	230	377	11	24	9.5
10月	252	417	9	27	9.3
11月	232	386	10	25	9.2
12月	241	368	7	25	9.6
1月	228	367	4	24	9.5
2月	234	375	2	24	9.7
3月	275	445	0	26	10.5
合計	2929	4762	73	303	9.6

「生活介護事業」

	利用者数 (人)	送 迎 (回)	開所日数 (日)	1日平均利用 (人)
4月	125	206	22	5.6
5月	131	216	23	5.6
6月	121	200	21	5.7
7月	132	215	23	5.7
8月	104	170	19	5.4
9月	119	194	22	5.4
10月	130	204	23	5.6
11月	125	208	21	5.9
12月	126	207	21	6
1月	113	182	20	5.6
2月	120	196	20	6
3月	147	247	22	6.6
合計	1493	2445	257	5.7

第3章 職員の体制

「放課後等デイサービス事業」

管理者・児童発達支援管理責任者（専任）	1名		
保育士（常勤・専任）	3名	保育士（非常勤・兼務）	2名
児童指導員（非常勤・兼務）	3名	臨床心理士（非常勤・兼務）	1名

「生活介護事業」

管理者（常勤・専従）	1名	サービス管理責任者（常勤・専従）	1名
生活支援員（常勤・専従）	1名	生活支援員（非常勤・兼務）	6名
看護師（常勤・専従）	1名	理学療法士（常勤・専従）	1名
嘱託医（非常勤・兼務）	1名		

#### 第4章 地域・施設交流実施状況

「全体」

##### 1、研修会（18件）

期日	研修名	場所	参加者
4月23日	大分県知的障がい施設協議会施設長会	レンブラントホテル	秋月正博
4月24日～26日	令和元年度強度行動障害支援者養成研修	なかよしホール	矢野佐和子
5月9日	社会福祉法人経営者協議会総会	レンブラントホテル	秋月正博
7月18日・19日	令和元年度相談支援従事者研修	大分県教育センター	宮野史徳
7月21日～23日	全国知的障がい関係施設会議	パシフィコ横浜	秋月正博
8月8日・9日	令和元年度相談支援従事者研修	介護研修センター	宮野史徳
8月21日	令和元年度サービス管理責任者研修	大分県教育会館	宮野史徳
9月15日	大分県こども・子育て支援連絡協議会研修会	エイトピアおおの	常勤職員
9月17日	看護職員研修	社会福祉センター	大津留類
9月25日・26日	令和元年度サービス管理責任者研修	大分県教育センター	宮野史徳
10月23日・24日	令和元年度相談支援従事者研修	介護研修センター	宮野史徳
11月6日	大分県知的障害者施設協議会 生産活動・就労支援部会	昭和電工ドーム	秋月正博
12月5日・6日	九州山口四国自閉症施設協議会職員研修	山口県	山名篤志
1月29日	令和元年度サービス管理責任者更新研修	大分県社会福祉会館	秋月正博
2月4日	社会福祉法人経営者協議会青年会	レンブラントホテル	秋月正博
2月6日	大分県知的障害者施設協議会 生産活動・就労支援部会 研修会	佐伯市	秋月正博
2月8日	おおいた障がい者芸術文化支援センターセミナー	オーパム	橋本友紀 阿部紗央莉 大津留類
2月13日	豊後大野市地域雇用創造協議会成果物公開セミナー	豊後大野市役所	橋本友紀 阿部紗央莉

## 2、外部機関実習（33人）

実習生氏名	受け入れ期間	学校・機関名	担当職員
支援専門員養成研修受講生 33人	通年	大分県発達障がい者支援専門員養成研修（初級）	秋月正博

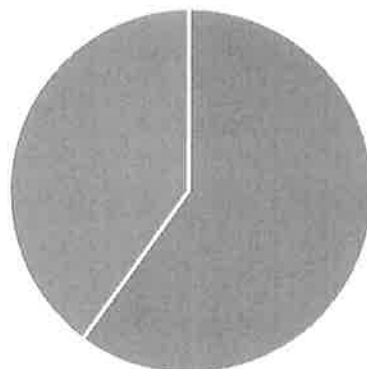
## 3、学生実習受け入れ（14人）

実習生氏名	受け入れ期間	学校・機関名	担当職員
松田 穂奈美さん	6月5日～6月11日	大分大学教育福祉課学部	秋月正博
大久保 天音さん	6月5日～6月11日	大分大学教育福祉課学部	秋月正博
杉尾 美知果さん	6月5日～6月11日	大分大学教育福祉課学部	秋月正博
河野 加奈さん	6月5日～6月11日	大分大学教育福祉課学部	秋月正博
羽田野 涼子さん	8月16日～8月27日	別府大学短期大学部初等教育課	山名篤志
那賀 日奈子さん	8月16日～8月27日	別府大学短期大学部初等教育課	山名篤志
汐月 光咲さん	8月16日～8月27日	別府大学短期大学部初等教育課	山名篤志
吉永 さくらさん	8月19日～9月10日	別府大学人間関係学科	秋月正博
小波 佳弥奈さん	8月30日～9月10日	別府大学短期大学部初等教育課	山名篤志
川邊 ゆみさん	8月30日～9月10日	別府大学短期大学部初等教育課	山名篤志
和田 咲良さん	8月30日～9月10日	別府大学短期大学部初等教育課	山名篤志
山崎 千尋さん	8月19日～9月30日	大分大学教育福祉課学部	秋月正博
小長 あかねさん	8月19日～9月30日	大分大学教育福祉課学部	秋月正博
柴尾 美空さん	8月19日～9月30日	大分大学教育福祉課学部	秋月正博

## 4、豊後大野市・竹田市巡回支援専門員派遣整備事業（10件）

件数	派遣日	派遣申し込み先	機関種類	S V資格の有無
1	6月25日	萩小学校	小学校	あり
2	6月28日	大野中学校	中学校	あり
3	7月9日	大野中学校	中学校	あり
4	7月30日	緒方中学校	中学校	あり
5	10月21日	千歳小学校	小学校	あり
6	1月27日	直入小学校	小学校	あり
7	2月6日	直入小学校	小学校	あり
8	2月13日	大野中学校	中学校	あり
9	2月27日	直入小学校	小学校	あり
10	3月18日	三重東小学校	小学校	あり

### 巡回支援派遣先



■ 小学校 ■ 中学校

#### 「放課後等デイサービス」

##### 1、個別支援会議 (20 件)

日にち	会議内容	場所	参加者
4月16日	○・Mさん支援会議	三重第一小学校	秋月正博
4月26日	K・Sさん支援会議	大野小学校	秋月正博 山名篤志
5月16日	○・Mさん支援会議	三重第一小学校	秋月正博 山名篤志
5月27日	R・Tさん支援会議	銀河	秋月正博
6月14日	A・Yさん支援会議	博愛病院	秋月正博
7月10日	K・Sさん支援会議	大野小学校	秋月正博 山名篤志
7月17日	H・Fさん支援会議	清川小学校	秋月正博 山名篤志
7月17日	M・Kさん支援会議	緒方小学校	秋月正博
8月6日	K・Yさん支援会議	菅尾小学校	秋月正博 山名篤志
8月22日	S・Fさん支援会議	なごみ園	秋月正博
8月30日	H・Uさん支援会議	百枝小学校	秋月正博
9月4日	A・Yさん支援会議	なごみ園	秋月正博
10月17日	R・Nさん支援会議	竹田支援学校	秋月正博
10月23日	R・Oさん支援会議	菅尾小学校	秋月正博
10月25日	○・Mさん支援会議	なごみ園	秋月正博



11月8日	○・Mさん支援会議	三重第一小学校	秋月正博
12月25日	K・Nさん支援会議	佐伯支援学校	秋月正博
2月19日	H・Uさん支援会議	百枝小学校	秋月正博
3月2日	Y・Sさん支援会議	三重第一小学校	秋月正博
3月12日	K・Sさん支援会議	大野小学校	秋月正博 山名篤志

### 3、関係機関連携・支援（15件）

日にち	内容	場所	担当職員
4月11日	竹田支援学校入学式	竹田支援学校	秋月正博
4月25日	竹田支援学校げんき祭り	竹田支援学校	秋月正博 山名篤志 三浦佳菜子
5月31日	大分大学実習報告会	大分大学	秋月正博
6月10日	三重東小学校なごみ通園児情報交換会	三重東小学校	秋月正博 山名篤志
6月12日	竹田支援学校なごみ通園児情報交換会（中学部）	竹田支援学校	秋月正博 山名篤志
6月19日	竹田支援学校なごみ通園児情報交換会（高等部）	竹田支援学校	秋月正博 山名篤志
7月9日	菅尾小学校こども園・保・小連絡会議	菅尾小学校	秋月正博 山名篤志
7月11日	きらきらワークショップ	豊後大野市役所	橋本友紀
8月8日	大分県附属支援学校保護者・先生視察	なごみ園	秋月正博
8月17日	Healing Forest 職員見学・視察	なごみ園	秋月正博
9月11日	H・Kさんフリースクール見学同行	志塾	山名篤志
9月12日	H・Kさんフリースクール見学同行	アスラン	山名篤志
9月12日	H・Kさんフリースクール見学同行	ハートフルウェブ	山名篤志
1月25日	竹田支援学校成人を祝う会	竹田支援学校	秋月正博
2月14日	きらきらワークショップ	豊後大野市役所	橋本友紀

「生活介護事業」

4、手帳・区分調査・年金関係 (3件)

日にち	内容	場所	担当職員
4月21日	渡邊譲治さん認定調査聞き取り	なごみ園	秋月正博 橋本友紀
9月26日	伊藤瑞穂さん年金申請病院受診同行	博愛病院	秋月正博
2月21日	緒環菜乃香さん認定調査聞き取り	なごみ園	秋月正博 橋本友紀

5、保護者会議 (5件)

日にち	内容	場所	担当職員
4月18日	生活介護保護者会	なごみ園	秋月正博・橋本友紀・阿部紗央莉
6月20日	生活介護保護者会	なごみ園	秋月正博・橋本友紀・阿部紗央莉
9月5日	生活介護保護者会	なごみ園	秋月正博・橋本友紀・阿部紗央莉
10月31日	生活介護保護者会	なごみ園	秋月正博・橋本友紀・阿部紗央莉
1月30日	生活介護保護者会	なごみ園	秋月正博・橋本友紀

6、支援学校生徒実習受け入れ (5回)

実習生氏名	受け入れ期間	学校	担当職員
赤嶺 由佳さん	6月10日～6月14日	竹田支援学校	秋月正博 橋本友紀
赤嶺 由佳さん	7月22日～8月2日	竹田支援学校	秋月正博 橋本友紀
赤嶺 由佳さん	10月7日～10月18日	竹田支援学校	秋月正博 橋本友紀
麻生 雅貴さん	10月7日～10月11日	竹田支援学校	秋月正博 橋本友紀
吉金 明日夢さん	11月27日	竹田支援学校	秋月正博

7、看護 (8回)

日にち	内容	利用者名	場所	担当職員
4月25日	てんかん定期受診	渡邊譲治	博愛病院	大津留類
10月31日	てんかん定期受診	渡邊譲治	博愛病院	大津留類
12月4日	肝臓検査	山本実奈	大久保クリニック	大津留類
12月11日	肝臓検査	山本実奈	大久保クリニック	大津留類
12月23日	肝臓検査	山本実奈	大分循環器病院	大津留類
12月26日	てんかん定期受診	渡邊譲治	博愛病院	大津留類

2月25日	皮膚科受診	伊藤瑞穂	サトウ皮膚科	大津留類
2月27日	てんかん定期受診	渡邊譲治	博愛病院	大津留類

## 第5章 総括

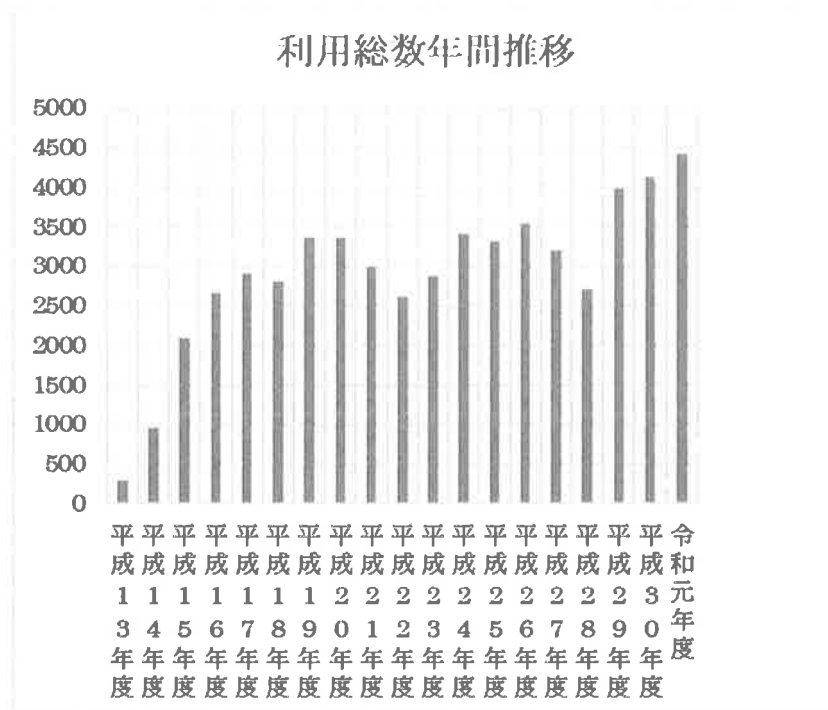
生活介護事業ですがアート活動に尽力し、完成した作品をもとに手作り和紙によるポチ袋、ポストカード、Tシャツ、織物を使用したブローチ、カレンダーなど多くの商品の開発を行いました。商品の全体売上げが674691円、純利益が306799円計上でき、毎月の工賃で支給している額よりも多く純利益があったことから特別賞与を夏と冬に2回利用者に支給しています。特別賞与を支給することで、利用者の中で仕事に励む意欲の向上が見られました。また、保護者会を年間で5回行い、その中で保護者のニーズを聞きながら商品開発や社会適応訓練の内容について一緒に考える時間を設けました。

放課後等デイサービス事業はモニタリングなどの制度上必要な会議とは別に個別支援会議を年間20件行っており、こまかい配慮点や具体的な支援について関係機関と協議し、通園児にとって学校や家でもより良い環境が整うよう努めました。また、新型コロナウイルス感染症防止のための学校の臨時休業期間中は、感染の予防に留意したうえで開所をし、家庭で過ごすことが困難な児童を対象に、通常に通園日より多い日数の受け入れを行いました。

保育所等訪問支援事業は年間で73件訪問し、学校との連携に力を入れ、こどもが安心して学校生活を送れる環境づくりに尽力しました。

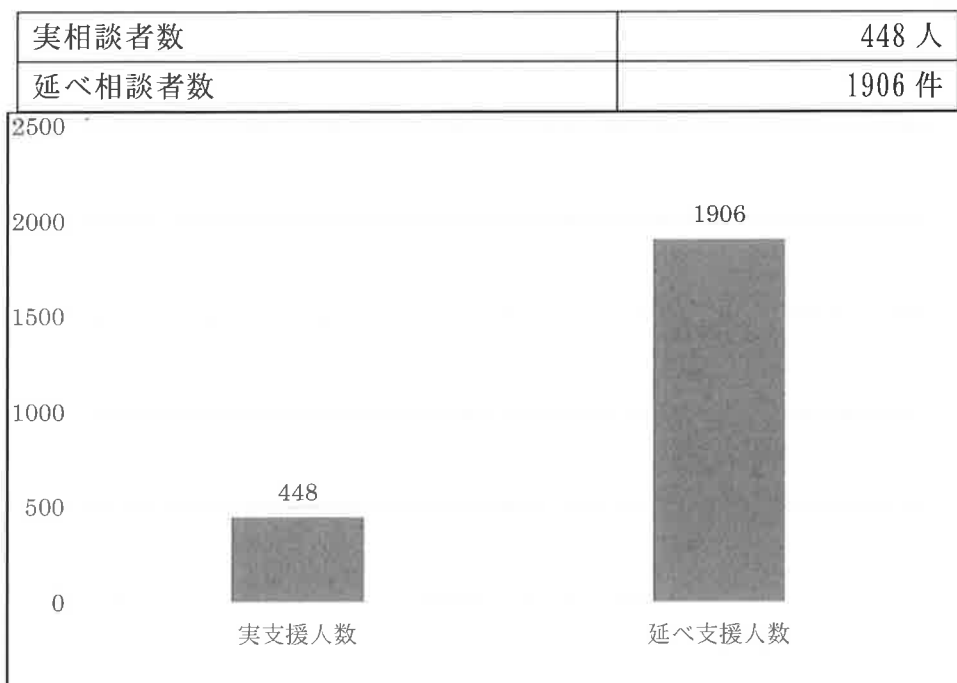
参照：利用総数年間推移

平成 13 年度	302 人
平成 14 年度	963 人
平成 15 年度	2094 人
平成 16 年度	2675 人
平成 17 年度	2906 人
平成 18 年度	2817 人 (うち日中一時が 682 回)
平成 19 年度	3374 人 (うち日中一時が 1118 回)
平成 20 年度	3373 人 (うち日中一時が 1117 回)
平成 21 年度	2997 人 (うち日中一時が 203 回)
平成 22 年度	2622 人
平成 23 年度	2873 人
平成 24 年度	3412 人
平成 25 年度	3316 人
平成 26 年度	3546 人
平成 27 年度	3201 人
平成 28 年度	2714 人
平成 29 年度	3992 人 (生活介護事業 1063 人放課後等デイサービス事業 2929 人)
平成 30 年度	4137 人 (生活介護事業 1206 人放課後等デイサービス事業 2931 人)
令和元年度	4422 人 (生活介護事業 1493 人放課後等デイサービス事業 2929 人)



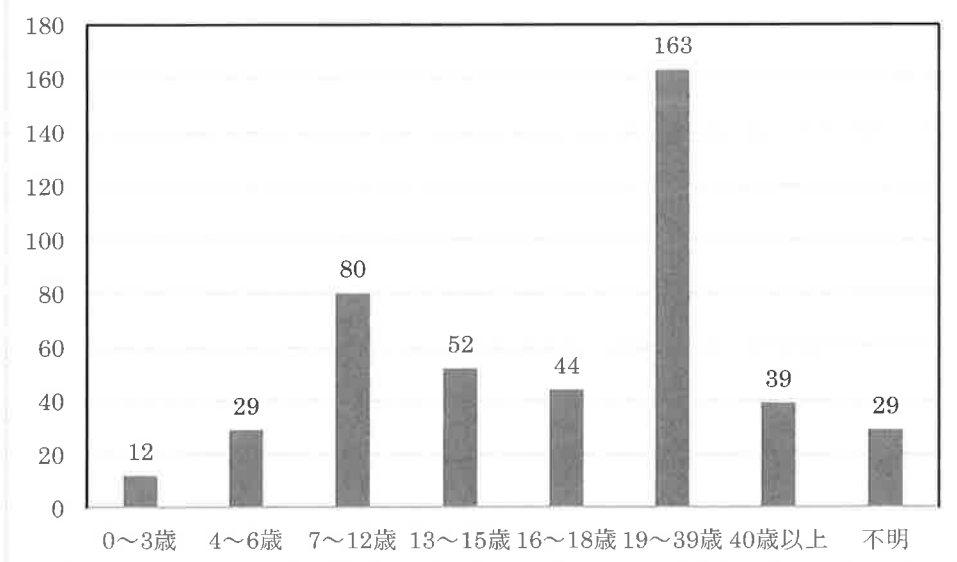
第1章 相談支援・発達支援

相談者数



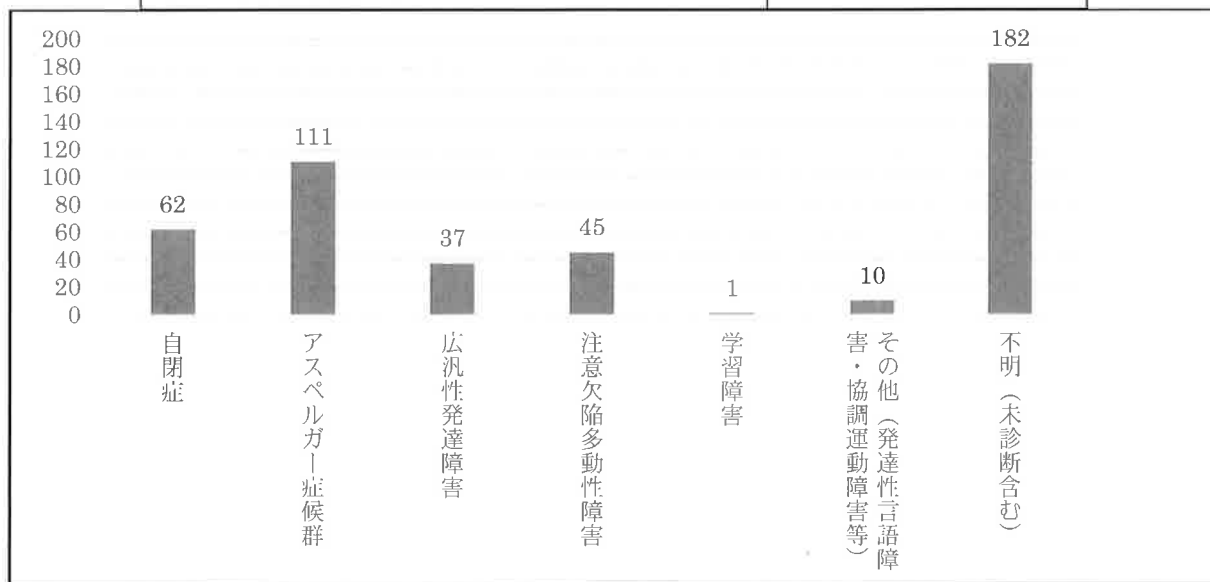
年齢層

0～3歳（幼児期前期）	12
4～6歳（幼児期後期）	29
7～12歳（小学生）	80
13～15歳（中学生）	52
16～18歳	44
19～39歳	163
40歳以上	39
不明	29



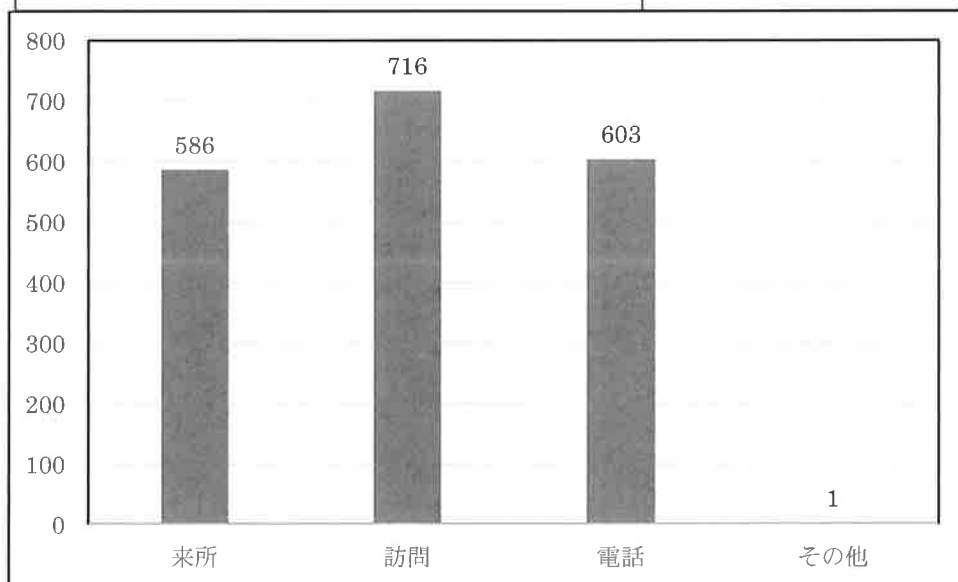
障がい種別

自閉症	48
アスペルガー症候群	89
広汎性発達障害	34
注意欠陥多動性障害 (AD/HD)	28
学習障害 (LD)	2
その他 (発達性言語障害・協調運動障害等)	9
不明 (未診断含む)	316



相談方法

来所	586
訪問	716
電話	603
その他 (FAX・メール等)	1

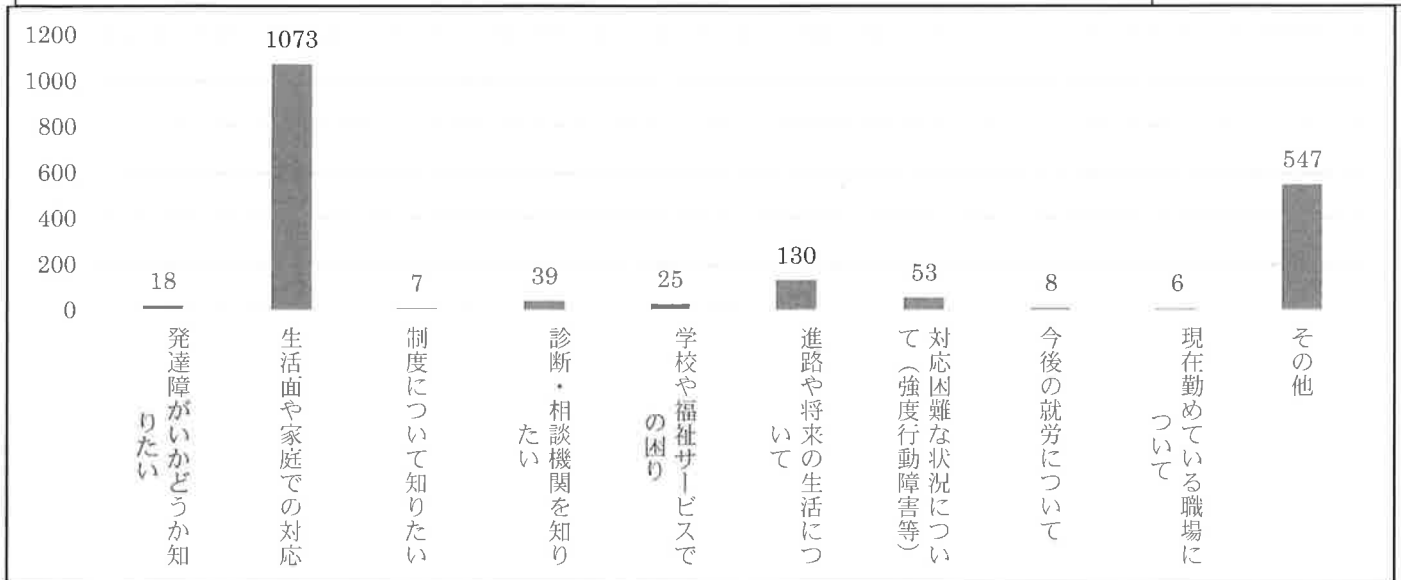


相談内容

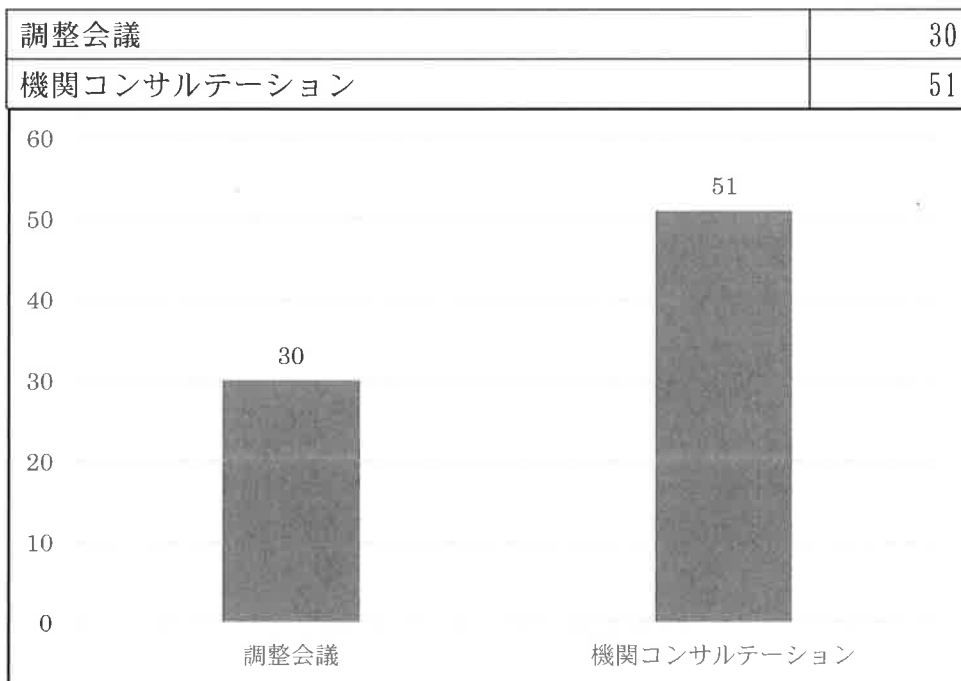
相談の対象となっている児(者)が発達障害かどうか知りたい

18

現在の生活に関することや、家庭で家族ができることを知りたい	1073
利用できる制度について知りたい（手帳、年金、手当、障害福祉サービスなど）	7
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	39
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	25
進路や将来の生活に関する相談をしたい	130
対応困難な状況の改善について相談したい（強度行動障害、ひきこもりなど）	53
今後の就労について相談したい	8
現在勤めている職場に関する相談をしたい	6
その他	547



#### 調整会議・機関コンサルテーション



#### 考察

相談件数については、総数としては前年度とほぼ変わらぬ結果となりました。実相談者数が少し減っていますが、相談件数自体は変わっていないことから、継続支援の数が増えていると考えられます。特

に、頻繁に電話をかけてきたり、頻繁に支援が必要なケースがあり、特定の方ではありますが、年間100回以上電話してくる方もおられます。そういった方々の特徴としては、発達障がいがあるために、なかなか話を聞いてもらえる環境がない、他に繋がっているところがない、といった理由があります。本人たちが人と話をしたり、悩みを聞いてもらえる人材養成や支援体制を構築させることが急務になりつつあると捉えています。

年齢層に関しては、成人の相談は例年通り増加傾向にあります。学童期の相談も少し増えました。学童期では学校での困りに対する相談が多く、学校を交えた支援も少なくありませんでした。また、昨年度同様に不登校の相談も数多くあり、低年齢化しているように思われます。相談の中には、保育園やこども園などに登園できないこどももいました。この原因には、先生や園が発達障がいに対して無理解な様子が多々見られていることから、関係性や心の理論に重きを置いた関わりや本人の特性に合った場面の提供等の理解を学校や幼稚園、保育園、子ども園など全体に広めていく必要があるものと捉えています。

診断名については、例年通り、自閉スペクトラム症（自閉症、広汎性発達障害、アスペルガー症候群）の相談が圧倒的に多くありました。また、未診断の方も多く、その方々の多くは知的障がいのないアスペルガー症候群かAD/HDの特性を持っている方がほとんどでした。傾向としては、AD/HDは主に学童期のトラブルが多く、相手に手を出してしまったり先生に対して攻撃的な態度をとったりなどの問題が多くあり、成人期は自閉スペクトラム症系のコミュニケーションのうまくいかなさから就労や人間関係に影響が出ていて相談に至るというケースが多く見られました。

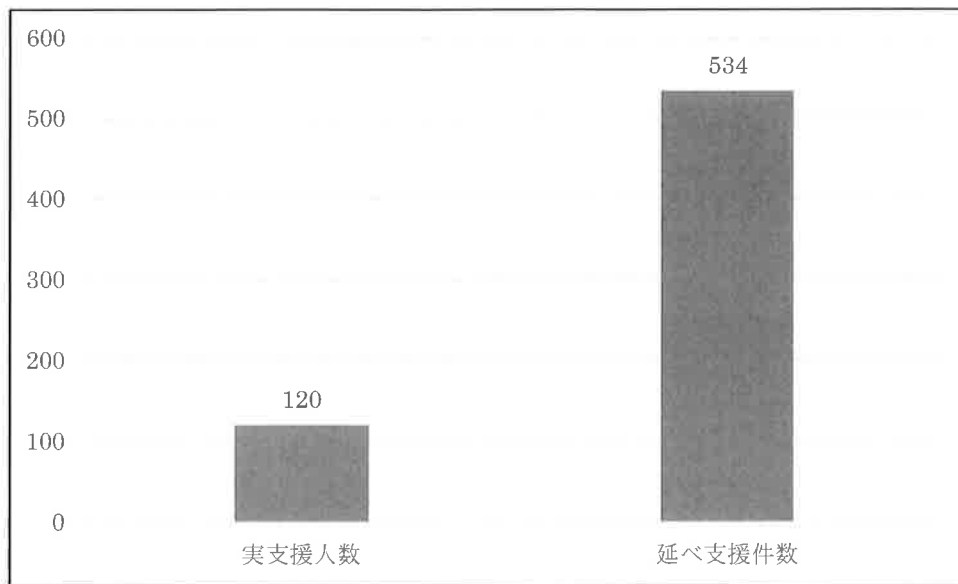
相談内容につきましては、例年通り生活面に関する相談が多くありますが、学校でのトラブル、引きこもりや強度行動障がいなどへの対応の相談も依然として少なくありません。また、夫婦間や親戚など、大人同士の家族関係の悩みも目立って見られました。結婚して、うまくコミュニケーションが取れないので調べてみたら発達障がいに当てはまるので相談したい、というケースもありました。発達障がいの診断がつきにくいケースの中には、仕事上は問題がなくても家族間で障がいが生じているケースが見られます。発達障がいが社会に普及してきた反面、そうした夫婦間や親戚間などのコーディネートを求められることに苦慮しているところです。学校や、強度行動障害、触法などのケースにおいては、関わっている教師や親、親戚、友達などといった周囲の理解が鍵になっており、福祉サービスを越えた支援体制が必要なケースも少なくありませんでした。このように、支援や理解の幅が広がりやすい点が発達障がい支援を複雑にさせていることから、大分県発達障がい者支援専門員が各地域で発達障がいへの理解や受容、支援の輪を広げていくことが重要であり、今後も派遣事業などを通して支援体制を広げていくことは不可欠であると捉えています。

## 第2章 就労支援

### 相談者数

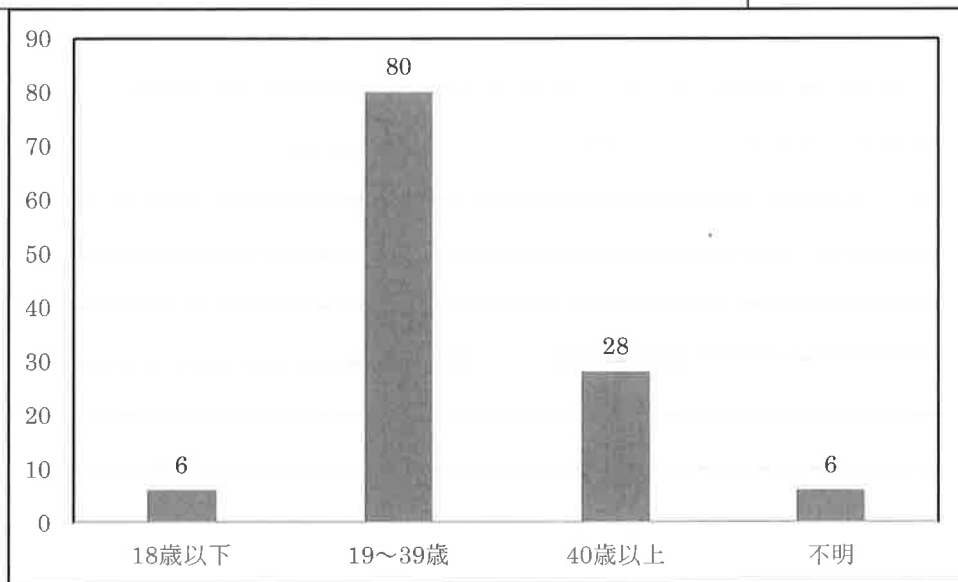
実支援人数	120人
延支援件数	534件





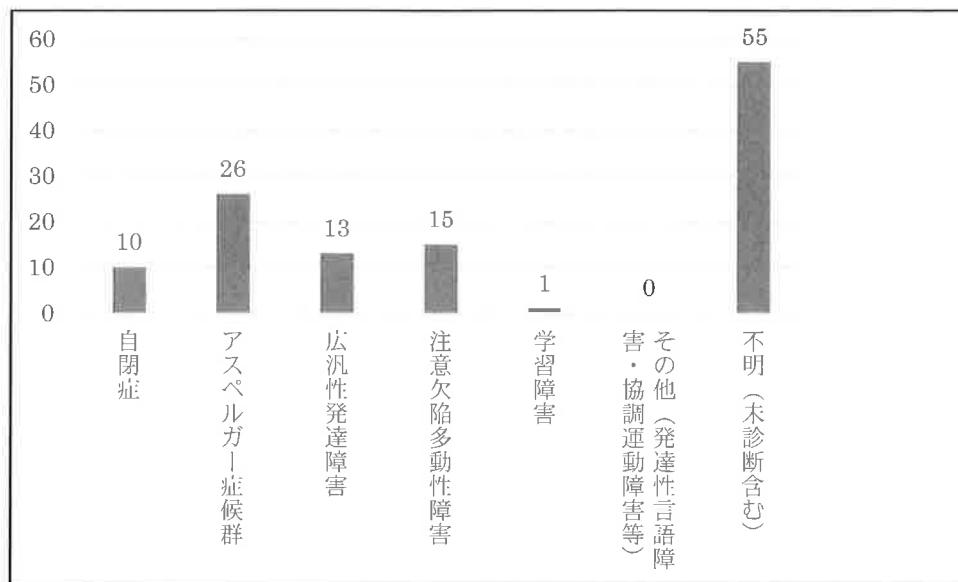
年齢層

18歳以下	6人
19～39歳	80人
40歳以上	28人
不明	6人



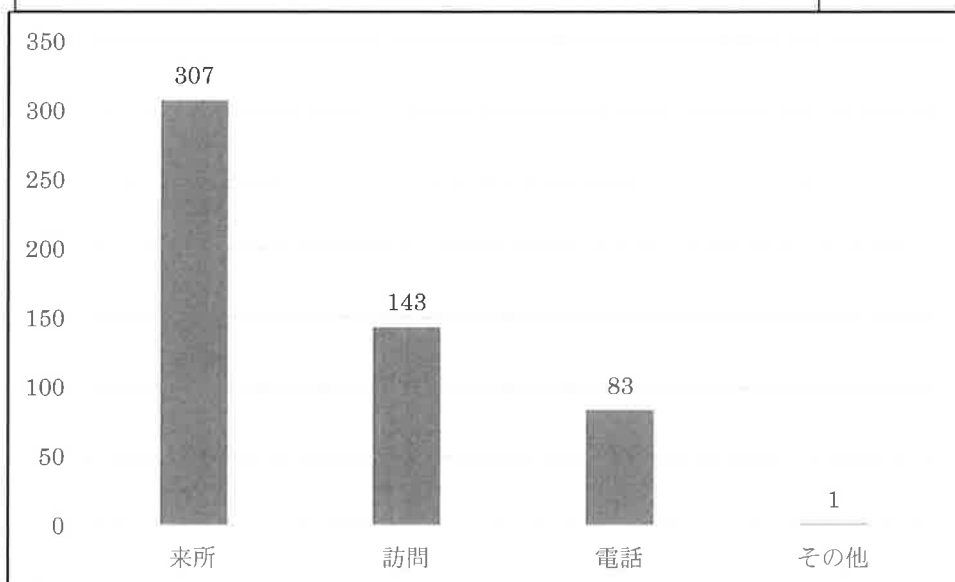
障がい種別

自閉症	10人
アスペルガー症候群	26人
広汎性発達障害	13人
注意欠陥多動性障害 (AD/HD)	15人
学習障害 (LD)	1人
その他 (発達性言語障害・協調運動障害等)	0人
不明 (未診断含む)	55人



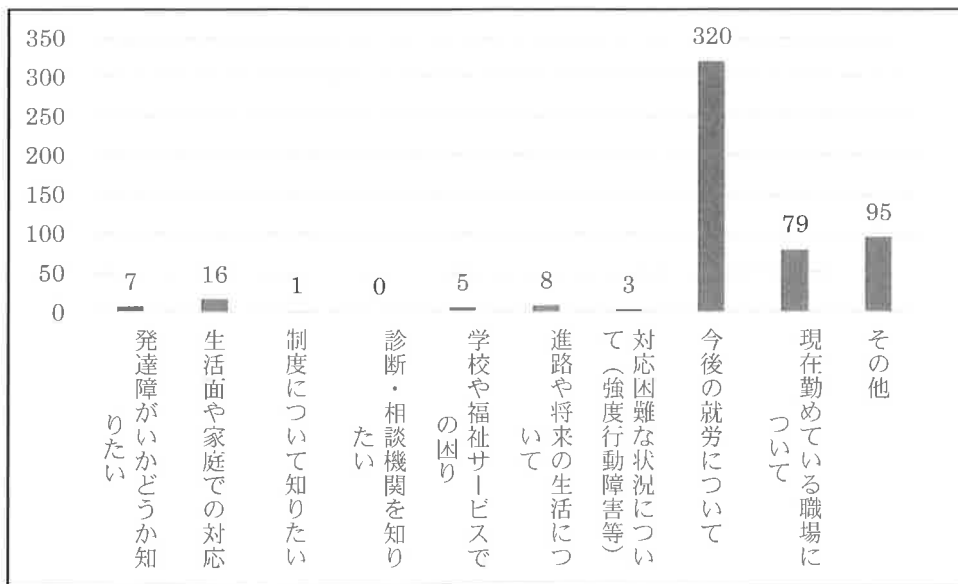
### 相談方法

来所	307人
訪問	143人
電話	83人
その他(FAX・メール等)	1人

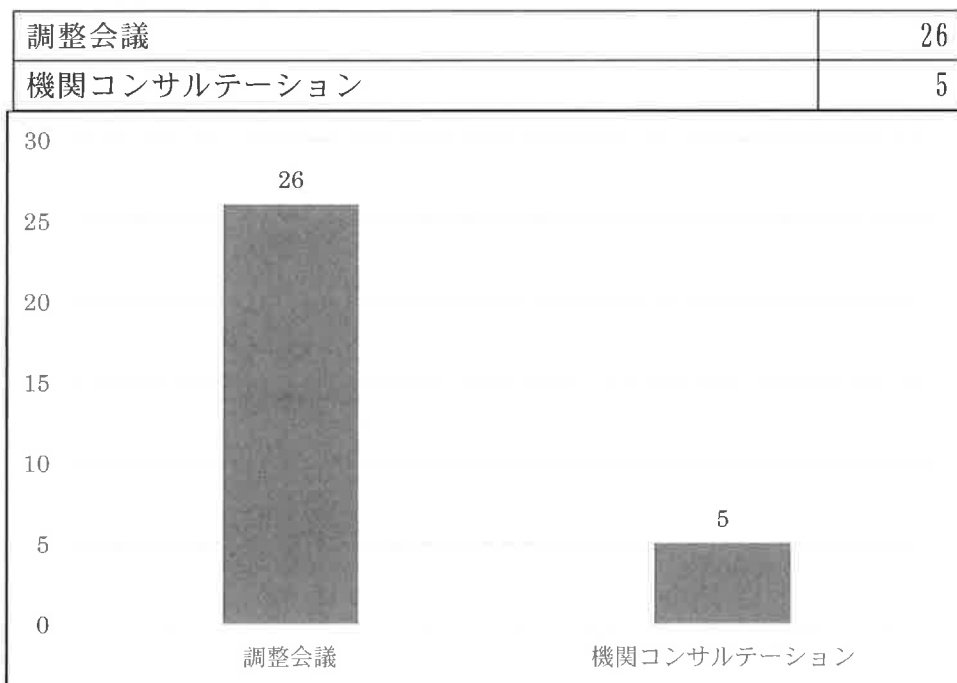


### 相談内容

相談の対象となっている児(者)が発達障害かどうか知りたい	7人
現在の生活に関することや、家庭で家族ができることを知りたい	16人
利用できる制度について知りたい(手帳、年金、手当、障害福祉サービスなど)	1人
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	0人
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	5人
進路や将来の生活に関する相談をしたい	8人
対応困難な状況の改善について相談したい(強度行動障害、ひきこもりなど)	3人
今後の就労について相談したい	320人
現在勤めている職場に関する相談をしたい	79人
その他	95人



### 調整会議・機関コンサルテーション



### 考察

就労支援は、延べ支援者数が少し増えています。年齢層や、診断名などの内訳は、ほぼ昨年度と変わりませんでした。

就労支援において課題となるのは、自己理解と障がい受容の問題です。就労では、会社などに特性の理解や合理的配慮を求めていくこととなりますが、そのためには、障がいをオープンにしないと会社側も理解や配慮ができないという課題があります。就労がうまくいかない人たちを見てみると、そもそも自分の得意不得意をわかっていなかったり、障がいが受容できていない方が少なくありません。特に、療育などを受けていない方は、自己評価と客観的評価との差が激しいため、会社に本人の特性が伝わりにくい、必要な配慮を求めにくいといった問題が生じています。自分の能力について、「どれくらいできるのか、できないのか、それが自分でどうにかできる問題なのか、人に助けてもらわないといけない問題なのか」ということを把握できていないと、仕事選びの段階から失敗しやすくなります。健常者の場合、誰かに教わったわけでもなく人と関わる中で自然に自己理解を深めていきやすくなるのですが、

発達障がい者はこの点が進みにくいため、理解者による支援のもとで人と交わることで自分と他人の同じところ、違うところ、いいところ、悪いところなどに気付きながら自分や障がいのことを理解していく必要があるように思われます。そのため、支援者には発達障がいの特性を理解しているだけでなく、社会的な人生経験も豊富であることが求められる点が成人期支援の人材不足につながっていると考えられます。

相談内容は、就労に向けての相談が多く、その中でも就労後の定着支援を充実させる必要性を強く感じました。発達障がい者は定型的な仕事に従事することが安定しやすい面があるため、初めは順調にみられても、年月が経つと異動や内容の変更に伴ってうまくいかなることが少なくありません。社会では発展のために常に「次」を望まれる傾向がありますが、会社や集団の意図が伝わりにくい発達障がい者にとっては「急に仕事が増えた」「違うことを求められた」などの困りにつながるケースが少ないため、社会や会社の変化に馴染みにくい方への配慮点として、経営者や同僚との間をコーディネートできる人材を会社や地域の中で育成することが必要不可欠であると思われま

### 第3章 普及啓発・研修

センター主催 又は共催で企 画した研修	内 訳	実施形式	実施回数	延参加人数
	教育関係者を参加対象者としているもの	教育関係者を参加対象者としているもの	講義中心	36
実技中心			28	272人
教育関係者を参加対象者としていないもの		講義中心	0	0人
		実技中心	6	110人
外部から講師 依頼を受けた 研修（講師派 遣）	内 訳	実施形式	実施回数	延参加人数
	教育関係者を参加対象者としているもの	講義中心	10	468人
		実技中心	0	0人
	教育関係者を参加対象者としていないもの	講義中心	35	2335人
		実技中心	0	0人

センター主催講演会は、子育て支援に関する諸団体と「第一回子育て井戸端会議」を行いました。多職種協働をテーマに大正大学の西郷先生に講演をいただき、その後県内の子育てに関わる機関14団体と、これからの大分県での子育てについて議論しました。「各専門の方の話がひとつのテーマにむかって協議することの意義は、とても重要だと感じた。」「お互いなかなか時間がとれなかったり、それをまた持ち帰って報告し、話し合う機会がとれなかったりするので、多職種協働の大事さを改めて感じた。」などの感想を得ることができました。

ペアレントメンター養成研修で養成したペアレントメンターは今年で79名となりました。共催で企画した研修は大分県発達障がい者支援専門員養成研修を行っており、こちらも毎年多くの応募を頂き、開催しております。外部から講師依頼を受けた研修につきましては、月に2～3回程度の講師依頼がありました。その中で、今年度は、当事者が自ら語る場を設け、非常に好評を得ました。

また、今年度から、県の事業で大分県発達障がい者支援専門員等派遣事業が始まり、176件の派遣を行っております。保育園や学童、児童発達支援センターなど、いろいろな機関に派遣し、申込者からも「対応方法が詳しくわかってよかった」と好評を得ています。

## 第4章 職員の体制

センター長	1名
相談支援担当	1名
発達支援担当	1名
就労支援担当	1名
地域支援マネージャー	1名

## 第5章 職員への研修

発達障がい者支援センター全国連絡協議会  
発達障がい者支援センター九州ブロック会議  
発達障がい者支援センター職員研修会  
全国自閉症者施設協議会研修会  
大分県発達障がい研究会  
TEACCH研究会

## 第6章 総括

大分県発達障がい者支援専門員（以下、SV）養成研修を修了された方が293名、ペアレントメンターが79名となり、地域での発達障がいへの理解や支援の体制づくりが日々進んでいます。今年度からはSVの会事務局も受けることになり、地域へのSV派遣や、各圏域でのSV主催の講演会、研修会、相談会などのバックアップをする機会も増えました。来年度も継続してSVやメンターの活動や派遣を軸に、発達障がい支援の輪を広げていきたいと考えています。

課題となっている支援の中で、不登校・引きこもりの問題や就労意欲の乏しい方の特徴として、余暇が乏しいという課題が挙げられます。人と一緒に楽しさを共有できずに、趣味や余暇が広がらないまま何もしたいと思わない、やっても楽しめないなど、人と関わること自体に不安を抱く方が増えているように思います。人が働いたり、生きていくためには「楽しみ」が必要です。「楽しい」をたくさん持てれば、そこから社会に適応していくスキルが身につけられたり、世界が広がりますが、その足掛かりになるものがない発達障がいの方には少ないように感じています。成人の会を通して少しでも人と共感できる体験を喜ぶ彼らの姿を見ていると、これまで人と共感できる機会が閉ざされていたこともうかがえることから、来年度は個人の趣味や余暇を広げる支援も深めることを計画しています。

また、今年度、当事者発信の場も数回実施致しました。支援者や親からは「本人たちの生の声を聴けてよかった。」「これまでの支援を反省した。」といった意見をいただいたので、本人たちが自ら発信していく場も継続して設けていきたいと考えています。

# ホームヘルプサービスセンター らすかる事業報告

## 第1章 基本概念

### 1. 基本理念

- ①自立支援 利用者が自ら創る主体的な生活を尊重し、地域社会での自立の支援を行います。
- ・利用者の個性を尊重し、本人の意思または家族の意思をくみ取り、地域生活の場で支援しました。また、地域生活との橋渡しの存在として、利用者の想いを伝えていく支援をしました。
- ②才能支援 様々な経験を通して、個々の能力の保持増進、また、可能性を引き出し、生きがいのある生活を地域で送れるよう支援します。
- ・地域社会に出ていくことで、様々な経験を積み、利用者の個性を育みつつ、自発的なコミュニケーション、活動、創作を生かす支援をしました。
- ③日常生活支援 居宅において安全で快適な日常生活を営むことができるよう入浴、排泄及び食事等の援助、調理、洗濯及び掃除等の家事、生活等に関する相談支援、並びに外出時における移動の援助その他生活全般にわたる援助を適切に行います。
- ・日常生活の苦手な部分の手伝いをするとともに、外出時の安全確保、地域との関わりの補助をしました。
- ④個別支援 個人を尊重し、その人自身の生活がより豊かなものになるよう、置かれていた状況、環境に応じて、利用者の思いに沿った個別の支援を行います。
- ・個性を尊重し、環境調整を行いつつ、利用者の思いに沿った支援をしました。それにより、自己肯定感、安心感を得てもらい、支援を楽しんでもらえるように取り組みました。個別支援として、利用者に関わる他の事業所、学校と支援担当者会議等で連携を深め、「なごみ園」、「大分県発達障がい者支援センター」「めぶき園」と話し合い、支援についての指導や助言や意見の交換等のサポートを受け、「生活の場」を安心・安全にすることをしました。
- ⑤心のケア 「癒し」をテーマとしたメンタルケアを通して、地域で安心して生活できるよう支援します。
- ・本人の思いに沿った対応を心がけ、日常生活のストレスを発散できるよう、外出の際は、商業施設での買い物・プール・散歩・公園・遊具等利用して、余暇時間を楽しみつつ、心の安定を図る支援をしました。

## 2. 営業内容

- ① 営業日 月曜日～日曜日
- ② 営業時間 相談に応じる
- ③ ヘルプ内容 身体介護、家事援助、移動介護、行動援護、その他必要に応じた相談・助言

## 第2章 利用者の利用状況

### 1. 平成31年度月別の利用状況

年 月	身体介護	行動援護	移動支援	利用回数計	時間計数
H31. 4月	37回	182回	8回	227回	538.0H
R1. 5月	35回	165回	6回	206回	445.5H
6月	35回	156回	1回	192回	396.5H
7月	37回	185回	0回	222回	502.0H
8月	31回	180回	1回	212回	499.0H
9月	29回	157回	1回	187回	425.5H
10月	41回	166回	1回	208回	422.0H
11月	39回	151回	2回	192回	421.0H
12月	35回	161回	3回	199回	423.0H
R2. 1月	39回	152回	2回	193回	408.5H
2月	30回	152回	2回	184回	437.5H
3月	29回	170回	1回	200回	466.0H
合 計	417回	1977回	28回	2422回	5384.5H

### 2. 市町村別の利用状況（令和2年4月31日現在）

地 域	契約者数(今年度新規)	地 域	契約者数(今年度新規)
豊後大野市	7名(0名)	別府市	0名(0名)
大分市	30名(0名)	竹田市	1名(0名)
佐伯市	0名(0名)	臼杵市	1名(0名)

## 第3章 総括

行動援護や移動支援を中心に公園や商業施設、カラオケ、プール、海岸、河川、山等へ出向き、利用者や保護者のニーズに沿った関わりに取り組む。利用者の年齢も上がり、地域に出て行く機会が多くなっており、利用者がスムーズに地域に参加出来るように地域との橋渡しを行いながら外出が困難な利用者に対しては、落ち着いて過ごせる場所の提供をして情緒の安定を図るとともに外出支援への取り組みも行う。また、利用者の個々の能力に応じたサービス提供の見直しを行い、移動支援から行動援護へサービスを切り替えており、

バスや電車等の公共交通機関を利用し、希望の外出先での余暇を過ごし（主に買い物や外食等）生活の幅を広げている。

利用者のライフステージの変化に合わせ、なごみ園、どんこの里、めぶき園などと連携することで、法人を利用されてこられている方への日中活動後の継続したサービスを提供し、短期入所などを利用する事で安定した生活を送る事が出来ている。

利用者各々のサービス担当者会議に参加することで、利用者に関わる各事業所や学校とで情報交換をし、保護者との関わりを深めることで、本人の個性を理解し、意見や支援技術を共有することができ、利用者の希望する生活や支援の方針が決まり、サービス利用計画案によりそれぞれの役割や課題が明確化され、利用者の日常生活全般を知ることができたことで、より安定した支援につながっている。

ヘルパー会議では、利用者への対応や支援者の心構え等について検討し、ヘルパーが共通理解した上で、一貫した支援ができるように心掛け、虐待防止のチェックリストを年3回実施することでヘルパー全員が再確認し、虐待防止に努めている。今後もスタッフの質の向上の為、会議を通して伝達研修・ケース検討を実施し知識や経験をヘルパー全員の財産にし、「法人の顔」として恥ずかしくない人材育成に取り組み、法人内外での連携を図り、各専門分野での意見、支援技術を共有し、保護者へより専門性の高い助言、支援を継続していく。



# 指定共同生活援助事業所 グループホームかわしま 事業報告

## 【目的】

利用者が地域において共同生活をしながら自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において、入浴、排泄又は食事の介助、相談、その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行います。

## 【運営方針】

関係法令を遵守し、他の社会資源との連携を図った適正且つきめ細やかな共同生活援助サービスを提供し、快適な生活の場を目指します。

## 【施設の概要】

(1)事業所の種類	指定共同生活援助（介護サービス包括型）
(2)事業所の名称	共同生活援助事業 グループホームかわしま
(3)事業所の所在地	(A・B棟)大分県豊後大野市犬飼町下津尾 3709 番地 10 (戸次棟) 大分県大分市中戸次 4452 番地 1
(4)管理者	近藤 暢秀
(5)サービス管理責任者	近藤 暢秀
(6)主たる対象者	知的障害者
(7)定員	17名（A棟:7名、B棟:7名、戸次棟:3名）

## 【個別支援計画】

利用者のおかれている環境及び日常生活全般の状況等を通じて、利用者及びその家族が希望する生活や課題を明らかにし、適切な支援内容の把握に基づき、個別支援計画を作成します。個別支援計画の内容について、利用者とその家族などに対して説明を行い、文書により同意を求めます。

## 【支援内容】

### ①日 課

7:00	起床・検温 清掃（居室・廊下・トイレ等）
8:00	朝食・歯磨き
8:40	出勤（リファイン大分・どんこの里いぬかい・なごみ園） ↓（各事業所で活動。休憩。）
15:30	帰園（どんこの里いぬかい・なごみ園の利用者） 散歩(30分程度)・おやつ

16:00	入浴・洗濯
17:10	帰宅（リファイン大分の利用者） おやつ・入浴・洗濯
18:00	夕食・歯磨き 余暇活動（外食・買い物・コーヒータイム・おやつ等）
20:00	学習（実習日誌・日記の記入等） 自宅への電話
22:00	就床

※月～金曜日は上記の流れ。

※土～日曜日はグループホームで過ごす為、活動はなし。

## ②日中活動

日中は、13名がどんこの里いぬかいにて生産活動や体力向上訓練等に取り組み、2名はリファイン大分にて職場実習として活動を実施、1名がなごみ園で活動に取り組んだ。なごみ園以外は全て公用車で送迎した。

## ③食 事

食事担当の職員を配置することで、朝食と夕食の全ての食事をグループホームかわしまで調理して食べた（担当職員が公休等で不在の場合は、どんこの里いぬかいの調理員がフォローに入った）。栄養計算されたメニューを取り入れたり白米の量を調整する等して健康管理に留意した。土曜日の夕食は在園者が少数の為、外食での対応とした。月1回の誕生日会（誕生者がいる月のみ）、クリスマス会やハロウィンパーティー等楽しい行事も夕食時に実施し、少人数の特徴を生かしたメニューも取り入れ、家庭的な雰囲気の温かみのある食事を提供した。

お誕生日会	4/23、5/30、6/26、7/17、8/29、9/24、12/24、1/29
-------	--

## ④入 浴

毎日グループホームかわしまで入浴を行った。男性はA棟、女性はB棟の浴室を使用。戸次棟の利用者は戸次棟の浴室を使用。毎日男性、女性それぞれ担当の職員が見守り及び支援を行った。

## ⑤洗 濯

A棟・B棟・戸次棟にそれぞれ洗濯機を設置。入浴後に各自で洗濯し、干すようにしている。全員がほぼ問題なく取り組むことが出来た。冬や雨天時等洗濯物が乾きにくい時は大型乾燥機を使用した。戸次棟においては精度の良い除湿器を購入して使用することで、乾燥に役立てている。

## ⑥余暇活動

グループホームかわしまでの生活をより楽しく充実したものにしていくため、余暇活動には常に力を入れて実施した。夜間レク（カラオケレク・買い物レク・外食レクを月

1回ずつグループごとに実施)、コーヒータイム(毎週金曜日)、夜のおやつ(月～金曜日)はこれまで通り実施。その他、ビデオ鑑賞やカラオケ等、利用者のリクエストに応じて実施している。

グループ	内容	日付
A	食事	4/10、5/29、6/12、7/24、8/22、9/25、11/20、 1/30、2/27
	買い物	4/18、5/16、6/25、7/10、8/7、9/5、10/24、11/7、12/26、 1/7、2/5
B	食事	4/10、5/29、6/12、7/24、8/22、9/25、11/20、 1/30、2/27
	カラオケ	4/18、5/16、6/25、7/10、8/7、9/5、10/24、11/7、12/26、 1/7、2/5
C・D		4/18、5/29、6/21、7/24、8/22、8/30、9/25、10/24、11/20、12/26 1/30、1/31、2/26、2/27
戸次棟	食事	4/10、5/29、6/12、7/23、8/22、9/25、11/20、 1/30、2/27
	買い物	4/17、5/16、6/25、7/10、8/7、9/5、10/24、11/7、12/26、 1/7、2/5
その他		ハロウィンパーティー → 10/31 かわしま一泊旅行 → 10/10～10/11 クリスマス忘年会(12月の夕食レク) → 12/12 新年会(めぶき園と合同) → 1/18 お楽しみ会 → 中止(コロナ感染拡大防止の為)

- ・毎日、夜のおやつタイム、金曜日コーヒータイムを実施した。
- ・毎日、夜の自由時間に実習日誌、日記を書き、職員が閲覧した。
- ・希望者は夜、自宅へ電話をしている。

#### ⑦役割分担

トイレ、浴室、洗面所、廊下掃除などは、役割分担を決めて利用者に責任を持って行ってもらった。食事の準備や片付けは職員が行ったが、配膳等手伝ってもらい、日常生活に必要な技術を少しずつ身につけてもらうようにした。決められた役割はほとんど忘れることなく取り組むことができるようになっている。

#### ⑧地域交流

河島地区(自治会)の行事や集会、清掃日などには、職員が必ず出席し、近隣住民の方々と交流を図った。前夜祭は利用者4名と職員5名が参加し、とてもよい交流ができた。

河島天神区大掃除	7/7
いぬかい秋祭り(天満社秋季大祭)	10/20
河島天神区総会	中止

### 【総括】

利用者が地域において共同して自立した日常生活、社会生活を営むことができることを目的として、平成22年1月1日に運営を開始した。宿直の職員は毎日交代で入っている為、引き継ぎ・連絡をしっかりと行うことを徹底し、日誌や掲示板等で確実に引き継いでもらうように努めている。「家庭的な雰囲気を大事にしたい」「グループホームでの生活がより豊かで楽しいものになるように」との思いから各居室(全室個室)は利用者それぞれの趣向にそった持ち物が揃えられ、特性に応じた個別の支援を提供した。能力に応じて、トイレや浴室、洗面所や廊下等の共同の場所については役割分担を行い、順番に掃除に取り組んでもらっている。週の初めになるとホワイトボードで誰が当番なのかを確認し、自分の番の際は忘れずにきちんと取り組んだ。洗濯等も含め、必要な技術は少しずつ身に付きつつある。生活の中における個々人の課題(例：ペーパー類の過剰使用)については都度対応し、減少傾向にはあるが、今後も支援を継続していく。毎日、夜間の自由時間に実習日誌や日記を書いてもらい、職員が閲覧することにより、職員との良いコミュニケーションの場になっていると思われる為、こちらも続けていく。

余暇の充実と地域との交流については今年度も特について力を入れて取り組んできた。毎月夜間レクを実施(夕食・買い物、各1回ずつ)。日中活動で得た工賃でレクに行くことが出来ることも大きな励みになっており、毎回楽しみに参加している様子がうかがえる。3月以降はコロナ感染拡大防止の為中止としたが、マクドナルドのドライブスルーでおやつを購入したり、夕食メニューを少し豪華にする等代替案を提供することで、穏やかに受け入れることができた。一泊旅行についても例年同様に実施、今年度はフェリーに乗って愛媛県松山市に向かった。満喫できたようだったが、帰途に着く際台風の影響で予定していたフェリーがキャンセルとなり慌てて別便を利用することになったが、突然のハプニングにも大きく状態が落ち着かなくなる利用者はいなかった。地域交流については、河島地区の集会や清掃日には職員が代表で必ず出席するようにして、地域の方々と交流を図った。毎年10月に開催される『いぬかい秋祭り』(天満社秋季大祭)天神区には、今年度も利用者4名が参加することを地区の方に了承していただき、職員5名とともに参加。地域の方々とコミュニケーションをとることができている。

保護者との交流を深めることを目的としている3月のお楽しみ会はコロナ感染拡大防止の為中止としたが、毎回の帰宅帰園の際に保護者との情報共有を行うことは徹底した。ゆっくりと話すことは難しいものの、帰宅中の利用者の様子や要望等のお話があった際は職員会議等で報告して周知した。要望について、対応できるものについてはできるだけ早く対応するように努め、今年度は戸次棟の雨よけを設置した。コロナの状況が落ち着いた際には、3月に実施できなかった保護者連絡会を開催する予定である。今後もさらに余暇の充実と地域との交流を深めることができるよう努力し、グループホームの生活をもっと豊

かで楽しいものにすることができるよう、支援を継続していく。

利用者については、平成31年1月8日の生産活動中に階段を踏み外して骨折して入院した利用者は5月30日に退院することができた。退院直前には一時帰宅を実施し、相談員や理学療法士が同行して今後の生活において気をつけるべき点等を含めた環境整備等のアドバイスをいただいた。退院までの約5か月間は毎日宿直者をつけて対応した。その期間の支援費はほぼない状態であり、宿直等かかった費用は全て事業所負担となった。今回のようなことは、今後利用者が年齢を重ねていくにつれて複数出てくることも想定される為、付き添い対応や費用の負担等は検討していくべき課題である。

その他、コロナの状況による影響で行事が中止になったり、帰宅帰園の検討を保護者に依頼した。

# 指定障害福祉サービス事業所 どんこの里いぬかい

## 事業報告

### 第1章 運営理念

#### (1) 目的

利用者に福祉的就労の場を提供するとともに、一般就労に向けての支援によって、自立と社会参加を図ることを目的とする。また、生きがいとしての生産活動や余暇的、文化的活動を提供する。

#### (2) 方針

- ① 人権と主体性を尊重し、常に利用者の立場に立って支援する。
- ② 自立した日常生活及び社会生活を営めるように支援する。
- ③ 安心感と信頼関係に基づき、チームワークによる支援を行う。
- ④ 就労に必要な知識及び技術の向上に努めるとともに、可能な限り一般就労に向けて支援する。
- ⑤ 地域や家族との結びつきを重視し、関係機関との連携に努める。

### 第2章 施設の概要

- |             |  |
|-------------|--|
| ① 名称        | 指定障害福祉サービス事業所 どんこの里いぬかい                              |
| ② 所在地       | 大分県豊後大野市犬飼町久原1863番地の8                                |
| ③ 利用定員      | 就労継続支援A型10名、就労継続支援B型10名<br>生活介護16名                   |
| ④ 運営主体      | 社会福祉法人 萌葱の郷  |
| ⑤ 管理者       | 近藤 暢 秀   |
| ⑥ サービス管理責任者 | 丹生 朱 美   |
| ⑦ 対象者       | 発達障がい者及び精神障害者・知的障害者                                  |
| ⑧ 設備の概要     | 厨房、フロア、事務室、販売所、更衣室、作業棟及び作業室、<br>A型～プレハブ・簡易トイレ・作業場・倉庫 |

### 第3章 事業概要

(1) 営業日 月曜日から金曜日（土・日曜日は基本は休みとする）

#### (2) 日 課

9:00 通所・更衣（ミーティング・体操）  
活動開始（就労継続支援A型）

- 10:00 活動開始（生活介護・就労継続支援B型）
  - 12:00 昼食（前半休憩）
  - 13:00 昼食（後半休憩） 活動開始（前半休憩組）
  - 14:00 活動開始（後半休憩組）
  - 15:00 活動終了（生活介護・就労継続支援B型）
  - 16:00 活動終了（就労継続支援A型）
- 活動終了後、帰宅

（3）作業内容

<就労継続支援A型>

◎畑作業

4月	防除、畝たて作業、収穫（人参・大根）、落花生播種
5月	収穫（大根・ジャガイモ）、草切作業、追肥、防除
6月	収穫（ジャガイモ・人参）、防除
7月	防除、耕運作業、収穫（人参・ゴボウ・ニンニク）
8月	除草・草切作業、収穫（ゴボウ・人参）、耕運作業
9月	大根種まき、ジャガイモ定植・防除、収穫（ゴボウ）、草切作業、ニンニクばらし
10月	人参播種、ニンニク播種、収穫（ゴボウ・大根・落花生）、ニンニクばらし 草切作業
11月	収穫（大根・ゴボウ）、除草作業
12月	収穫（人参・大根・ジャガイモ）、除草作業
1月	堆肥散布、除草作業、ニンジン播種
2月	堆肥散布、収穫（人参）、ニンジン播種、防除、除草作業
3月	堆肥散布、耕運作業、大根播種、除草作業

※年度当初から畑会議を定期的で開催し、年間作付け計画を立てた。

※月間、週間のスケジュールをたて、利用者の能力等を考慮し班編成を行った。

◎なし園

4月	枝拾い、草刈り、摘蕾、ネット修理、草取り、芽かき、花芽整理
5月	草取り、芽かき、摘果、ネット張り、ネット修理
6月	袋掛け、摘果、コンテナ掃除
7月	草刈り、出荷用備品準備、枝誘引、切り株撤去、販売用道具及び備品準備
8月	徒長枝剪定、草刈り、ネット修理、土地補修、出荷準備、切り株撤去
9月	ネット修理、草刈り、柵作り、切り株撤去、徒長枝剪定、枝拾い、出荷
10月	徒長枝剪定、草刈り、間伐、出荷
11月	誘引紐除去、枝拾い、間伐、焼却、誘引
12月	誘引紐除去、枝拾い、枝運び、焼却、誘引

1月	枝拾い、枝縛り、枝運び、誘引
2月	落ち葉集め、枝拾い、枝縛り、誘引
3月	草取り、枝縛り、焼却、摘蕾、誘引見直し、花芽整理

※年間を通して、環境整備（トイレ清掃、テント修理、道具の修繕、園内の修復等）を行う。

※雨天時は室内作業（ラベル切り等）を行った。

（総括）

今年度は利用者1名が本人の希望で退所となったが、すぐに新たに2名の希望者と契約を結び、定員10名は安定して確保できた。特に、今年度は昨年の実習で受け入れた経験のある利用者が正式に契約する運びになったことは大変嬉しい出来事であった。利用者の入れ替わりはあるものの互いの関係性においては比較的良好に保てているように思う。利用者間の対人関係でトラブルに繋がることもあるが、面談実施等その都度対応して解決を図り、長引いたり大きな課題に発展することはなかった。一方で、利用者同士の良い交流も見られるようになっており、やりがいを感じながら働いている様子も見受けられる。一連の作業を通して作業を通じて喜びを感じており、心身ともに安定して生活を送ることに繋がっていると思われる。利用者の持つ特性や心身の不調等の理由により継続して通所することが出来にくい利用者や気持ちの切り替えが難しい利用者については、E C O A Lや相談支援事業所と情報共有を密に行う等連携して対応し、課題等の解決に努めている。作業内容については、年間を通して個々の利用者の特性に合わせて考慮し、取り組んでもらっている為、計画通りにいかないこともあり、畑となし園の職員が互いに協力しあう等連携しながら進めていった。

しかしながら、今年度も収益は伸び悩む結果となった。利用者の工賃を確保する為にも年間を通して計画的な野菜作り、販売ルートの確保等を行わなければならない。梨については収穫及び販売時期にしっかり収益を確保する必要がある。収益を上げ、工賃を確保していくことが引き続き課題となる。

支援学校からの実習生については今年度も積極的に受け入れ、対応してきた。中にはE C O A Lや相談支援事業所が大きく関わっている非常に難しいケースもあり、担当の先生や保護者の方と何度も事前に綿密に打ち合わせを行い、実習初日を迎えた。結果、大きな課題も見られず無事に終えることができ、事業所としても今後の実習生の受け入れに活かせるような収穫があったと思われる。実習生及び担当の先生からも充実した時間を過ごすことができたと話があった。

<就労継続支援B型>

レストラン業務 (レストラン内での接客及び 厨房内を主な業務とする)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ レストラン内清掃（トイレ・床）</li> <li>・ フロア内のテーブル・椅子拭き</li> <li>・ フロア内接客</li> <li>・ お膳の配膳及び下膳</li> <li>・ 厨房内の食器洗い、食器拭き、格納</li> <li>・ 盛り付け作業（補助）</li> <li>・ うどんゆで、計量作業</li> <li>・ 開店準備（旗・暖簾・看板出し、ピッチャー準備等）</li> </ul>
--	--



直販所業務 (直販所内のレジ補助を主な業務とする)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・店内清掃 (床・商品棚)</li> <li>・商品の品出し、補充、品質管理補助</li> <li>・レジ関連 (レジ打ち、袋詰め)</li> </ul>
弁当業務 (法人内職員用の弁当の盛り付けを主な業務とする)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛り付け</li> <li>・弁当準備</li> <li>・軽作業 (ラベル、シール、注文票等作成と準備、宛名書き)</li> <li>・配達補助</li> </ul>
加工品の製造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・梨の皮むき、切る</li> <li>・梨パイ、梨ジャム、クッキー、マドレーヌ、かりんとう</li> <li>・デザート (プリン、ティラミス、ケーキ等)</li> <li>・漬物の製造</li> <li>・袋詰め (梱包)</li> </ul>
製麺業務 (麺作りを主な業務とする)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製麺所の清掃</li> <li>・麺打ち補助</li> </ul>
清掃作業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんこの里周辺の草取り、清掃、ごみ拾い</li> <li>・公用車の清掃</li> </ul>

(総括)

利用者は日々の業務にも慣れ、作業にも積極的に自分から取り組む姿勢がみられた。作業手順をわかりやすくマニュアル化したこと、職員同士で密に伝達して共通認識した上で支援に携わったことで、利用者にスムーズに身についたのではないと思われる。

今年度も売れない梨などを使ってパイやジャム等の加工品を製造し、販売した。また、小型の乾燥機を購入して、初めての乾燥梨の製造にも取り組んだ。どの加工品も大量生産はできないが大好評であり、たくさんの注文をいただいた。結果、昨年以上の売り上げとなった。利用者も梨の皮むきや切る作業などに積極的に取り組んでおり、不定期に作るクッキーやマドレーヌ、デザートやケーキも喜んで作る姿が見られた。今後もこうした加工品の製造に取り組んでいきたい。なお、小型の乾燥機については梨だけでなく他の果物(柿・バナナ等)や野菜にも使用し、年間を通して製造できるよう工夫段階である。販売所に納品された A 型農産物の選別・計量・袋詰めといった作業にも継続して取り組んだ。

レストランとしては、今年度初めて支援学校からの実習生を受け入れた。初めての試みであり受け入れまでは担当教師をはじめ、保護者や本人と綿密な打ち合わせを行い、実修初日を迎えた。不安もあったが、大きなトラブルなく無事に終わることができ、今後に繋がる結果となった。

<生活介護>

機織り機での生地製作、機織り商品加工、販売を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機織り作業</li> <li>・横糸用の布切り作業</li> <li>・縦糸の仕掛け</li> </ul>
--------------------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生地加工</li> <li>・ラベル用シール切り</li> <li>・商品ラッピング</li> <li>・マスク製作</li> </ul>
敷地内清掃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草取り、ゴミ拾い</li> <li>・公衆トイレの清掃、管理</li> </ul>
アルミ缶つぶし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルミ缶つぶし</li> </ul>
グループホーム清掃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内清掃</li> <li>・草取り、ゴミ拾い</li> <li>・洗濯物仕分け</li> </ul>
受注作業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カッター組立作業</li> <li>・ゆずの綿取り</li> <li>・カボスの収穫作業、木周辺の草取り</li> <li>・シイタケのホダ木運搬</li> </ul>
体力向上訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ランニング</li> <li>・ウォーキング</li> </ul>
クラブ活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵画及びモザイク制作</li> <li>・ダンス</li> </ul>

(総括)

今年度は利用者数やメンバーは変わらずスタートした。活動内容の再考、利用者の適性や利用者同士の関係も考慮して作業スペースを工夫する等取り組みを継続して進めた。支援を進めていく中で課題等が出た場合は会議等で話し合い、都度対応していった。

今年度も新たに外部からの受注作業として、白杵市内での農作業(カボスやシイタケの収穫、草取り等)におけるお手伝い作業を引き受けた。受注先より「障害者の方にぜひお役に立ちたいので、作業のお手伝いに来てくれませんか？」という話をいただき、何度か職員が作業場所を見学に行き、よく話を聴いて、時間・内容・場所等の条件が合ったので、受けることにした。いくつかの作業場所があり日によって異なったり、収穫したコンテナやシイタケのホダ木を運ぶ等の力仕事も多くあるが、参加利用者はやりがいを感じられているように思う。受注先からも「大変助かっている。長く続けてもらいたい」と期待されている部分も多く、良い信頼関係が築けている。作業そのものは特性に合っていると思われる為、今後も継続して取り組んでいきたい。その他、ランニング、ウォーキングや美術活動等の活動にも意欲的に取り組んでおり、楽しみにしている利用者も多い。ダンスクラブについては日頃の練習の成果を発揮できる場所がないものかと探していたところ、法人主催の地域交流祭にて発表できる運びとなった。皆が良く知っているパプリカを選曲したことで、子供や大人を問わず来場していたお客様を全員巻き込んでのダンス発表となり、大いに盛り上がった。参加した利用者も見ていた保護者もとても嬉しそうであった。今後もこのような機会を大切にしていきたい。機織り作品や美術関連も展示や販売に力を入れており、今年度も秋の交歓会や大分市内・別府市内の店舗を借りて展示や販売をする機会をいただき、たくさんの方に来場していただいた。インスタグラム等も活

用し、より多くの方に知ってもらったり見ってもらうことができるようになっている。また、機織り作品については、年が明けてからはコロナ感染拡大の問題からマスク不足が騒がれるようになると、豊後大野市からもマスク製作の協力依頼があり、機織り作品も含めてマスクを製作する運びとなった。販売所にも並べていると、想像以上に手に取って購入していかれる方が多く見られている。新たな販売先とも契約を結ぶことができた。利用者自身も自信や意欲につながったと思われる。今後もこのような機会があれば、積極的に参加していきたいと考えている。

今年度も定期的に行ってきた社会適応訓練だが、3月はコロナ感染拡大防止の為中止とした。代替案でレストランでの昼食を実施することで、利用者も落ち着いて受け入れてくれている。これからしばらくはこの状況が続くと思われるが、別の代替案を検討することで利用者の楽しみに繋げていきたいと思う。

利用者については、平成31年1月8日の生産活動中に階段を踏み外して骨折して入院した利用者は5月30日に退院することができた。退院直前には一時帰宅を実施し、相談員や理学療法士が同行して今後の生活において気をつけるべき点等を含めた環境整備等のアドバイスをいただいた。

#### 第4章 利用者の利用状況

	生活介護	就労継続支援 B型	就労継続支援 A型	合計	延利用日数
4月	16	6	10	32	634日
5月	16	6	10	32	649日
6月	16	6	10	32	613日
7月	16	6	10	32	684日
8月	16	6	10	32	600日
9月	16	6	10	32	613日
10月	16	6	9	31	656日
11月	16	6	9	31	580日
12月	16	6	10	32	564日
1月	16	6	10	32	589日
2月	16	6	10	32	554日
3月	16	6	11	33	622日

#### 第5章 社会適応訓練

平成31年	4月25日(木)	別府ラクテンチ	30名
令和元年	5月22日(水)	萬弘寺の市・大神ファーム	23名
令和元年	5月24日(金)	くじゅう花公園	9名
令和元年	6月20日(木)	カラオケDOM・温泉座	9名

令和元年	6月27日(木)	高森湧水トンネル・稲積鍾乳洞	24名
令和元年	7月22日(月)	すみえ水族館	9名
令和元年	7月31日(水)	大分県立美術館・杉乃井ボウリング	24名
令和元年	8月26日(月)	池山水源・ガンジーファーム	10名
令和元年	8月28日(水)	カドリードミニオン・大分市美術館	24名
令和元年	9月13日(金)	ハッピードリームサーカス	9名
令和元年	9月18日(水)	津久見イルカ島	25名
令和元年	10月10日(木)	ラウンドワン	12名
令和元年	11月15日(金)	用作公園・カフェボーイ	9名
令和元年	11月28日(木)	別府 yoiya・用作公園	23名
令和元年	12月18日(水)	Restrante KIJOKAKU	34名
令和2年	1月14日(火)	内山観音	13名
令和2年	2月14日(金)	押し花工房いちりん草	9名
令和2年	2月19日(水)	岡藩城下町ひな巡り、アクトファーム	23名

※令和2年3月は、コロナ感染拡大防止の為日中レクは中止とした。

## 第6章 職員研修実施状況

期 日	研 修 名	参 加 者
4.24～4.26	強度行動障がい支援者養成研修	石田・後藤佳
6.5	ホスピタリティを表現する接遇マナー研修	平岩
6.13	給食担当職員研修会	十時
6.19	草刈り機講習	柴田
7.2	副安全運転管理者講習会	柴田
7.24	記録の書き方研修	石田
8.28～29	就労支援施設研修	丹生・工藤
9.4	ハラスメント防止研修	瀧田
9.17	感染症研修	首藤
9.18	コミュニケーション力研修	清田
9.26	大分県知的障害者施設協議会職員研修会	庄
10.16	チームワーク力向上研修	柴田
11.13	メンタルヘルス研修	樋口
12.4	プロ意識醸成研修	大久保
12.5～12.6	九州・山口・四国自閉症施設連絡協議会	三宮

12.12	人権啓発研修会	渡邊
1.15	アンガーマネジメント研修	宮成
1.17	サービス管理責任者研修（更新）	近藤
1.29	サービス管理責任者研修（更新）	丹生
2.6	大分県知的障害者施設協議会 生産活動・就労支援部会 県南地区施設見学研修	近藤・工藤
2.12	効果的な部下・新人育成の実務研修	三宮
2.15	大分県知的障害者施設協議会職員研修会	山城

# 令和元年度 戸次なごみ園 事業報告

## 第1章 療育活動

### 1、療育方針

①発達支援 一人ひとりの発達に合わせて、基本的な生活習慣、対人関係、言語やコミュニケーションなどの力を伸ばします。

・今年度も遊びや活動を通して、コミュニケーションの中で職員がモデルを示したり、気持ちの代弁をしたりして、本児に気づかせながら個々の自己表現を促がし、支援した。その結果、言葉でのやりとりや場に応じた言葉がでたり、表情やジェスチャーなどで表現したりして、落ち着いて楽しく過ごすことができていた。また、やりとりする中で言葉の獲得をすることで、言葉の表現の幅が広がってきた。そして、良好なコミュニケーションができることで、自己肯定感を高め、生き生きと遊ぶことができていた。

・基本的な生活習慣もその子に応じて、動作のポイントや手本を示したりすることで、靴が履けたり、手洗いが徐々にできてきたり、オムツがとれるようになってきたりした。また、ミーティングで職員の共通理解を図ると共に、保護者とも連携して、子どもに対する一貫した支援ができたことも大きく影響していた。今後も連携を密にしていきたい。

②才能支援 生き生きと自己表現し、気持ちの交流ができるように支援します。

・利用児の持つ能力や個性に応じて、興味関心のある活動を提供し、自己表現ができた。絵を描くことを通して、自分の思いを表現して職員とのやりとりを楽しむ利用児もいた。また、園庭でのサッカーや野球、自転車を大いに楽しみ、気持ちの発散をしていた。

③家庭支援 子育てについての相談や学習会を通して、子どもへの理解を深め、育ちと暮らしを支えます。

・子育てについては、ゆっくり話ができる時間を確保し、母親の話を共感しながらよく聞き、母親と一緒に子どもの育ちを考えながら取り組んだ。また臨床心理士につなげて相談することもあった。今年度は、児童発達支援の保護者会（9月）は開催したが、コロナウイルスの影響で放課後等デイの保護者会（3月）は中止となった。それでも、お迎え時に保護者同士の情報交換の場を設定して、交流を図るようにした。また、その子にとって将来必要な福祉サービスの情報や状況について紹介することができたり、保護者の希望に応じ、今後の福祉サービス利用についての相談によって、サービス利用にもつなげることができたりした。

④地域支援 保育園、幼稚園、学校、保健所、医療機関などと連携をとりながら地域での育ちと暮らしを支えます。

・児童発達支援事業では、各関係機関に訪問したり、見学を受け入れたりし

て、当事業所の事業内容の説明と受け入れ体制について話をしながら地域支援をすすめた。保育所等訪問支援事業を通して、保育園や幼稚園とは、密接な連携がとれ、子どもの支援の向上ができた。今後も、各関係機関との連携を深め、地域での育ちを支えていきたい。

・放課後等デイサービス事業では、小学校低学年の利用児を中心に、保育所等訪問支援を行い、利用児や保護者の悩みや困りを学校と共有し、情報交換をしながら対応することができた。今後も継続していきたい。

⑤心のケア やりとりで信頼関係を深め、安心感を育み、意欲につながります。

・子どもの情緒を第一に考え、やりとりする中で、本人の気持ちを汲み取り集団活動の内容を変更したり、本人の好みの活動を取り組んだり配慮した。特に、肯定的な対応で、本人の自信を高め、意欲につながることを心掛けた。

・中学生や高校生の利用児には、ゆっくりと談話し、日頃の悩みなどを受け止め、心のストレスを発散し、次への意欲につながるように職員で共通理解して取り組んだ。

## 2、日課

児童発達支援 開園日：月～金

時 間	内 容	具 体 的 な 活 動 内 容
9：30	登園 自由遊び (体を動かす活動)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ・シール貼り・荷物整理など</li> <li>・園庭で砂場、三輪車、ボール遊びなど体を動かす遊びをした。季節に応じて、シャボン玉やプールなどをした。</li> <li>・室内では、マルチクッションやトランポリン、バランスボール等の室内遊具で遊び、体を動かすことで体幹を育てた。</li> <li>・近くの公園にも出かけて、大いに体を動かし発散した。</li> <li>・遊びを通して、友達とのやりとりや遊びのルール、動作技能の習得などを促した。</li> </ul>
11：20	お集まり 集団活動・粗大運動・ 芸術活動・工作活動・ 制作活動・課外活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝のあいさつ、歌、名前呼び</li> <li>・絵本、絵カード、音楽（リズム遊び）、感覚遊び、シーツブランコなどを行い、順番などのルールも促した。</li> <li>・季節に応じた制作活動を行い、季節を感じ取り安定した情緒を図った。</li> <li>・集団活動を通して、自己表出や社会性を支援するとともに、集団のルールの習得や準備・片付けなどの整理意識を育むよう支援</li> </ul>

		した。
11:40	昼食 歯磨き 片付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ</li> <li>・持参した弁当を個々の能力に応じて、楽しい雰囲気の中で落ち着いて食事ができるよう支援した。また、保護者と食事の面での打合せをして食育を図ることもした。</li> </ul>
	自由遊び (目と手の協応の遊び)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パズル、プラレール、ママごと、ブロック、積み木、型はめ、色ぬり、お絵かき、色かみなど手先を使う玩具などを中心に遊んだ。</li> </ul>
13:00	降園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の活動内容を振り返り、がんばったことやできたことを確認した。</li> <li>・次回の活動内容を確認し、自己意識や先の見通しを得る力を育むよう支援した。</li> </ul>

放課後等デイサービス 開園日：月～金・土（第2・4週）

時 間	内 容	具 体 的 な 活 動 内 容
13:30 (下校時間に応じて)  (土曜) 9:30 14:00	登園 自由遊び  粗大運動・芸術活動・ 工作活動・制作活動・ 調理実習・課外活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ・出欠表・荷物整理・着替えなど</li> <li>・園庭でブランコや砂場、自転車、なわとび、ボール遊びなど体を動かす遊びをした。季節に応じて、シャボン玉やプールで楽しんだ。</li> <li>・室内では、マルチクッションやトランポリン、バランスボール等の室内遊具で遊んだ。また、本を読むことや絵を描くこと、アイロンビーズなど静かな遊びにも取り組んだ。人生ゲームやトランプなどルールや仲間と楽しむ活動をした。</li> <li>・遊びを通して、友達とのやりとりや遊びのルール、動作技能の習得などを促した。</li> <li>・友達や職員との信頼関係を作り、自由遊びを楽しみ、気持ちのリフレッシュをした。また、ひとりになりたい気持ちを受け止め、別室で過ごす利用児もいた。</li> </ul>
15:30 (土曜) 10:30 15:00	集団活動  おやつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を通して、自己表出や友達と良好なコミュニケーション、社会性を身につけるよう支援した。また、集団のルールの習得や準備・片付けなどの整理意識も育むよう取り組んだ。</li> </ul>



		・施設周辺の散歩や買い物学習なども行い、地域との交流も図った。
17:00 (土曜)	降園	・今日の活動内容を振り返り、がんばったことやできたことを確認した。
11:30		・次回の活動内容を確認し、自己意識や先の見通しを得る力を育んだ。
16:00		

〈内容〉

◎集団活動：自らが意識的に集団活動へ参加していくことで、自己意識や他者意識を高め、社会的な適応力を身につける。

・無理に集団活動に入れるのではなく、子ども自身が興味を持つようなものを提示し、自発的に参加できるように待ちながら対応した。参加できた時は、大いに賞賛して自信をつけるようにし、回数を重ねることで、流れや内容を理解し、スムーズに自ら参加できるようになっている。

◎粗大運動：感覚意識の統合性や身体的な運動能力を高めていく。(マルチクッション・トランポリン・バランスボール・三輪車等)

・自分の体の動きが徐々に理解でき、少しずつ活動が活発になってきた。マルチクッションの上に援助なしで登れたり、トランポリンも上手に跳べるようになってきていた。サッカーゴールを置くことで、目標を設定したことでボール蹴りも上達してきている。

◎音楽活動：音楽活動を通して、共感性や場面への適応力を身につけていくとともに、自己表現や協調性が豊かに育てる。(歌、ダンス、楽器遊び等)

・リズム活動を通して、音楽に触れ、自己表現を促した。職員や友だちと一緒に取り組むことで、表現をためらっていた子どもも、徐々にうれしそうな表情と共に自ら生き生きと表現できるようになってきた。

◎工作活動：創作意欲を育てることで、自己表現力や有用感を高めていく。

・紙やダンボールなどの工作活動では、自分なりの自由な表現をしたり、手本を見ながら作ったりするなど意欲的に取り組むことができていた。

◎制作活動：行事用の制作活動を通しながら、季節感や創作意欲を獲得していく(クリスマスツリー、ひなかざり等)。

・行事の飾り作り(七夕やクリスマス会など)では、シールなど子どもたちの興味あるものを使い、手先の機能の向上に取り組んだ。自由な表現を受け入れ、出来上がった喜びや達成感が本児の意欲につながり、集中して取り組む子どもも多かった。

◎調理活動：生理的な欲求を自分の力で満たす経験や準備から整理までの経験を育ていくことで、自立心を育てる。(ホットケーキ・やきそば等)

・放課後等デイでは、毎月調理活動を取り入れた。準備から片付けまでの役割を各自の能力個性に応じて決め、意欲的に取り組んでいた。自分の力で調理したこと喜びや出来上がりの達成感を感じていた。

◎課外活動：公共の場の参加などを通して、社会的なルールの存在の気づきを促す。(地域交流・交通機関の利用等)

・大きな公園に出かけたり、地域を散歩したりして、交通や社会的ルールの意識が少しずつできていた。また、地域の祭りにも参加し、地域の方々とも良好な交流ができていた。

◎母子通園：子どもとの関わり方の指導や母親のメンタルケア、職員を媒介とした母子関係の調整、母親同士の関係作りの構築等を支援する。

・児童発達支援の保護者会を行い、保護者同士での楽しく充実した交流ができた。また、送迎の際には、子どもの育ちの悩みや喜びなど様々な情報交換ができ、子どもへの接し方の共通理解ができた。母親のメンタルケアや親子の良好な関係構築はできていたが、今後も保護者支援を高めていきたい。

◎ソーシャルトレーニング：発達に応じて、電車などの公共機関や買い物、調理など生活の流れに沿った必要なスキルが身につくよう支援する。また、保護者の希望も踏まえ、より生活に根付いた技術の習得を目指していく。

・子ども同士での話し合いを通して、活動内容を決める取り組みをした。お互い意見を出し合い、意見の衝突があった場合は、職員が仲介し相手の気持ちを通訳して、折り合いがつくよう支援した。自分たちで決めた活動という意識が、スキル向上に大きく効果を発揮していた。

保育所等訪問支援：月～金

<内容>

保育所等(保育所、幼稚園、小学校、特別支援学校、認定こども園、乳児院、児童養護施設、その他市町村が認めた施設)を訪問し、障害児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援その他必要な支援を行う。

### 3、行事

児童発達支援(幼児)

9月28日(金) 親子梨狩り遠足・保護者会

12月19日(木) クリスマス会

放課後等デイ(学童)

7月13日(土) お楽しみ会

8月19日(月)～24日(土) 流しそうめん大会(各曜日ごと)

12月16日(月)～20日(金) クリスマス会(各曜日ごと)

3月14日(土) 思い出会・保護者会→中止

## 第2章 利用者の来園状況

### 1、令和元年度 月別の来園状況（定員：1日を通じて10人）

月	児童発達支援 (人)	放課後等デイ (人)	訪問支援 (人)	開園日数(日) (日)	1日平均 (人)
4	52	165	1	22	9.8
5	46	166	17	21	10.0
6	58	178	19	22	10.7
7	75	196	8	24	11.2
8	63	148	0	20	10.5
9	67	164	19	21	11.0
10	60	169	22	24	9.5
11	57	162	24	21	10.4
12	60	160	14	22	10.0
1	56	156	10	21	10.0
2	54	159	19	20	10.0
3	61	138	3	23	8.7
合計	709	1961	156	261	121.8

### 保育所等訪問支援事業（計156件）

訪問施設名	訪問回数	訪問対象児	訪問支援員
キッズアカデミー保育園	9	A・Jさん	福田・久原
みのり保育園	2	K・Tさん	福田
南大分幼稚園	8	T・Kさん	福田・久原
高田幼稚園	3	H・Yさん	福田・久原
犬飼小学校	97	K・Sさん、W・Yさん、K・Kさん、 S・Tさん、G・Mさん、G・Hさん	福田・久原
戸次小学校	30	N・Kさん、N・Rさん、T・Rさん K・Mさん	福田・久原
松岡小学校	5	T・Tさん	福田・久原
明治小学校	1	S・Aさん	久原
爽風館高校	1	I・Tさん	福田

〈今年度の利用状況について〉

利用に際して、受給者証を取得するまでの手続きで約1ヶ月時間がかかり、利用開始が遅れる状況はあったが、順次利用を開始している。

児童発達支援（幼児）に関しては、OTやPT（機能訓練）との併用利用から、休みになることもあったため、欠席も踏まえて調整をしていくことが今後必要である。また、冬場に嘔吐下痢やインフルエンザの病気が流行ったことで幼児の休む回数も多かった。放課後等デイも体調

不良での欠席は、多く見られ、今後も欠席を考慮して対応する必要がある。

今年度は、児童発達支援も年間通じて支援できた事と保育所等訪問支援も利用が定着して各関係機関とも継続して連携ができる状況になってきた。課題を分析して、来年度は、各機関とも連携しながら、今年度以上の多くの利用児を支援していく考えである。

## 2、通園コースの状況（令和2年3月31日登録）

幼児12名：月曜～金曜

学童52名：月曜～土曜

## 第3章 職員の体制

### 1、職員の体制

管理者	1名
児童発達支援管理責任者（管理者兼務）	1名（常勤・専従）
保育士	4名（常勤・専従）
指導員	1名（非常勤・専従）
	合計 6名

## 第4章 職員の研修

### 1、職員の研修

今年度、職員の研修については、それぞれの個性や実務経験に応じて、研修会等に派遣した。発達支援や療育、相談等における適切な技術や知識の向上を図る研修や人材育成の視点から法人内外の研修会への参加をすすめた。強度行動障害支援者養成研修等の事業運営上に必要な資格研修会も受講した。

#### <外部研修>

期日	研修名	場所	参加者
4月 7日	自閉症啓発デー	大分市	福田・矢野 玉田
7月 4日	白杵支援学校 学校公開	白杵市	福田
7月 5日	附属特別支援学校 学校公開	大分市	福田
8月 25日	第13回大分県発達障がい研究会 「発達障がい者の診断と支援」	大分市	矢野
9月 11日	障害児通所支援事業所等交流会	大分市	福田
9月 17日	児童発達支援管理責任者研修	大分市	福田
9月24日～25日	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	大分市	福田
9月30日～10月1日	強度行動障害支援者養成研修（実践）	大分市	福田
10月 16日	チームワーク向上研修	大分市	矢野
11月 13日	メンタルヘルス研修会	大分市	玉田

12月 12日	人権啓発研修会	大分市	玉田
2月 2日	第2回未来はばたきネット研修会	大分市	久原・矢野 玉田
2月12日	効果的な部下・新人育成の実務研修	大分市	久原

〈法人内研修〉

期日	研修名	場所	参加者
4月24日～26日	強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践）	なかよしホール	福田
5月24日	自閉症・発達障がいの基礎研修	なかよしホール	矢野・玉田・宮崎
6月21日	事例検討会	なかよしホール	福田・矢野 玉田・平川
7月 5日	てんかんについて	なかよしホール	玉田・宮崎 藤田・平川
9月20日	一般研修会 萌葱の郷事業内容	なかよしホール	久原・矢野・玉田
10月23日	合理的配慮について	なかよしホール	福田・矢野 玉田・宮崎
10月30日	事例検討会	なかよしホール	久原・玉田・矢野
11月15日	インフルエンザ・ノロウイルス感染症について	なかよしホール	久原・矢野 玉田
11月21日	虐待防止研修会	なかよしホール	玉田
2月14日	事例検討会	なかよしホール	久原
2月18日	防災研修会	なかよしホール	矢野・玉田
1月18日	戸次なごみ園研修会 事例検討会		

戸次園 〇〇〇〇・じじっせん実践なかよしホール 〇〇〇〇 4人が  
 つ月24日にち日から～26日にち日 〇〇〇〇 2人がつ月14日にち日  
 2、個別支援会議

必要に応じて随時開催した。担当者会議は、利用児の誕生日月に実施した。

3、関係機関連携・支援

期日	内容	担当職員
5月29日	相談支援事業専門員見学来園（1名）	福田
6月13日	戸次小教員来園（2名）	福田・久原
7月25日	やまもと幼稚園見学来園（2名）	福田・矢野
8月31日	南大分幼稚園見学来園（1名）	福田
12月 2日	大分大学生見学来園（4名）	福田・久原
1月27日～30日	放課後等デイサービス実習生（5名）	福田

## 第5章 総括

戸次なごみ園は、平成29年5月に開園してから約3年が経過しました。放課後等デイサービス事業は、大分支援学校の児童生徒を中心に、地域の小学校支援学級（戸次小、松岡小、別保小、犬飼小など）の学童を支援しています。今年度の登録は、40名でしたが、現在も問い合わせがあり、待機待ちを了解の上で見学希望の保護者や関係機関の方が多いです。このことから今後も利用希望者が多いことが伺えたため、調整を考慮しながら対応していく考えです。

児童発達支援事業は、平成29年9月1日から事業を開始しましたが、今年度は、2歳から6歳までの幼児10名でしたが、年間を通じて支援することができました。保育所等訪問支援事業を通して、保育園や幼稚園と連携することで、安定した集団生活ができ、生き生きと通園できていた。ただ、育ちや発達に不安や心配のある子どもの保護者や関係機関、特に東部保健センターの保健師からの問い合わせは多く、定員超過の状況を説明し、順次待機待ちをしていただき、調整しながら対応しています。

幼稚園や小学校、支援学校への就園・就学希望の保護者に対して、地域の各機関と連携して、スムーズな就学等につなげることもできました。今後も必要に応じて、就園・就学への取り組みを積極的に取り組んでいく考えです。

今年度も体を動かす活動など「動の活動」を多く取り入れ、園庭で走り回ることを始め、地域の公園や祭り、美術館、買い物など課外活動にも取り組み、心身の療育に力を入れてきました。また、知育教材（パズルやブロック等）や製作活動（絵画や書道、七夕・クリスマスツリー製作等）などの「静の活動」も併せながら取り組んできました。幼児には、身体機能や体力の向上、学童には、活動でストレス発散やリフレッシュにつなげることができたと感じています。また、高校生や中学生では、ゆっくり自分の興味ある話や日々の悩みを聞きながら支援し、心のリフレッシュにもつなげていきました。

来年度も心の理論を中心に、療育について職員間で研修研鑽し、子どもたちの心の育ちを支援、興味関心のある様々な活動を提供し、安心して楽しく過ごせる子どもたちの充実した生活を支援していきたいと思います。また、保護者会はコロナウイルスの影響で今年度は児童発達支援のみの開催でしたが、次回開催希望の声もあり、保護者の方々とのつながりを大切に、今後も取り組んでいきたいと思います。人とのつながりを大切に、地域での育ちにも配慮しながら支援していきたいと考えています。来年度も法人内の各事業所とも連携を図りながら、利用児に寄り添う支援を中心に、戸次なごみ園がみんなの心の居場所になれるよう職員一丸となって努力していく所存です。

# 令和元年度 相談支援事業所プラス 事業報告

## 第1章 計画作成状況

総計画数	者	児	総モニタリング数	者	児
313	55	258	375	158	307

## 第2章 職員研修・協議体・講師等実施状況

※研修、講師、事務局

期日	研修名	場所
R1. 7. 18~19	相談支援従事者初任者研修指導者養成研修①②	大分市
R1. 8. 8~9	相談支援従事者初任者研修指導者養成研修③④	大分市
R1. 8. 22~25	国際交流推進会議	大分市
R1. 9. 10~14	相談支援事業指導者養成研修	東京都
R1. 9. 19~20	大分県相談支援コース別研修会	大分市
R1. 10. 16	社会福祉施設等経営セミナー	大分市
R1. 10. 23	相談支援従事者初任者研修指導者養成研修⑤⑥	大分市
R1. 10. 30	大分県障害者権利擁護・虐待防止研修	大分市
R1. 11. 3	ジオパーク全国大会コメンテーター	豊後大野市
R1. 11. 7	大分県相談支援推進協議会ファースト研修	大分市
R1. 11. 13	社会福祉施設等経営セミナー	大分市
R1. 11. 15	相談支援従事者現任研修①	大分市
R1. 12. 19	相談支援従事者現任研修①	大分市
R2. 1. 13~15	相談支援従事者企画検討会議福岡研修	福岡市
R2. 1. 24	精神障害対応地域包括ケアシステム研修①	大分市
R2. 1. 30~31	障害児者施設等職員研修会	大分市
R2. 2. 1	精神障害対応地域包括ケアシステム研修②	別府市
R2. 2. 3	大分県相談支援コース別研修会	大分市
R2. 2. 15	大分県知的障害者施設協議会	大分市
R2. 2. 21~24	大分県国際交流機構	大分市

※協議体

期日	研修	場所
----	----	----

毎月	豊後大野市自立支援協議会 相談部会	豊後大野市
2ヵ月毎	豊後大野市自立支援協議会 成人部事務局会議	豊後大野市
2ヵ月毎	豊後大野市自立支援協議会 成人部	豊後大野市
毎月	大分県障害者相談支援事業推進協議会 研修部	別府市
不定期	大分県相談支援従事者初任者研修 事務局	大分市
不定期	大分県国際交流機構 事務局	大分市
不定期	大分市相談支援専門員連絡会	大分市

### 第3章 職員体制

管理者	(専従)	1名
相談支援専門員	(専従)	2名
事務員	(専従)	1名

### 第4章 総括

相談支援事業所プラスは、昨年度に引き続き相談支援体制強化を目標に3名の相談支援専門員と1名の専従事務員で運営をしてきました。豊後大野市委託相談支援事業も地域に周知されつつあり、各関係機関に留まらず、困難事例や育児負担を抱えるご家庭からも相談を受けることが多くなってきました。課題を受け、解決するために法人内サービスへの仲介を行うことで課題の改善や、安定した生活の実現を図っています。また法人内サービスだけでは解決できない場合は、法人外サービスにも視野を向け、多機関連携を図ることでより柔軟に支援体制を展開することができています。今後も視野を広く持ち各利用者に沿った支援プランを提案することを目指していきます。

今年度の相談内容の特徴は、育児負担から児童虐待や育児ノイローゼに至るケースの相談を、他の相談支援事業所や市役所から受けることが多々ありました。各市町村の保健所や、児童相談所、こども家庭支援センター等や、短期入所事業所と連携を図り24時間体制でサポート体制を整えてきました。3名の相談支援専門員を抱えていることから、今後も充実したサポート体制を展開し、課題に寄り添える相談支援を提供していきます。

さらに相談支援事業所プラスは、豊肥圏域や、大分県においても中核となる相談支援機関となれるよう、大分県自立支援協議会の委員や大分県相談支援推進協議会の理事などに取り組んでいるところです。具体的には相談支援専門員を養成するための初任者研修の講師や豊後大野市自立支援協議会の事務局、困難ケースの受入れなど知識や体制を強化し、地域での相談支援がより充実するよう取り組んでいます。

来年度は、各相談支援専門員が支援アドバイザーとして活躍できるよう事業所内の研修体制の充実、密な職員会議の開催、スーパービジョン体制の強化を目指し地域に根付く相談支援事業所を目指してまいります。



# 令和元年度 いぬかいこども園 事業報告

## 第一章 施設運営

### (1) 理念と方針

子ども達の発達と職員の働きがいを最大限保障する施設を目指します

1. 子育て支援の核として、地域ニーズに応える施設を目指します
2. 行き届いた説明と情報開示により、信頼される施設を目指します
3. 常に業務内容の点検・検討を行い、安全と安心の向上を目指します
4. 多角経営と人事交流により、効率的で安定した運営を目指します
5. 人材育成と人事考課制度により、職員が働きがいと誇りの持てる施設を目指します

### (2) 実施事業内容

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 教育保育事業（1号）    | 月～金（9：00～13：00）  |
| 2. 教育保育事業（2号、3号） | 月～土（7：00～18：00）  |
| 3. 特別保育事業        | 月～土（7：00～18：00）  |
| 4. 延長保育事業        | 月～土（18：00～19：00） |
| 5. 一時保育事業        | 月～金（9：00～17：00）  |
| 6. 子育て支援センター事業   | 月～金（9：00～14：00）  |

### (3) 児童処遇（定員75名）

本年度は78名でスタートし最大で81名の受け入れを行いました。

乳児保育については、0歳児と1歳児で保育室の環境を工夫し職員配置にも配慮して行いました。

特別保育に関しては、なかよしひろばとの併行通所利用園児が12名在籍しており、個別ケース会議の実施等を通して両事業所での合理的配慮を実践し、なかよしひろばや他機関との連携を図り、先を見据えた支援を考え発達の保障を最大限守ることができました。

延長保育は今年も1時間延長を行い平均して2名～3名の受け入れを実施しています。

一時保育においては、事業運営に支障がない範囲で今年も受け入れ、新年度の新入園児につながる園児もいます。

子育て支援センターは、豊後大野市との協議の上、今年も千歳の出張ひろばの活動も委託され実施しました。あと、大分県からの委託事業である、ペアレント・プログラムも実施して子育て中の保護者支援も継続して行いました。

1. クラス編成（令和2年3月31日）

クラス名	年齢	2・3号	1号
めばえ	0歳	8	
つぼみ	1歳	9	
つくし	2歳	7	
たんぼぼ	3歳	19	6
すみれ	4歳	6	5
さくら	5歳	13	6
合 計		62	17

2. 事業編成（令和2年3月31日）

事業名	保育教諭数（パート）	その他の職員数
教育保育	12（3）	0
一時保育	0（1）	0
特別保育	1	0
延長保育	交代制	0
子育て支援センター	1（2）	0
園長・副園長	1	1
主幹保育教諭	2	0
看護師	0	1
調理師	0	2（3）
運転手	0	0（1）
合計	17（6）	4（4）

3. 月別利用児童数（月初め）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	平 均 79.6人
78人	78人	78人	81人	81人	78人	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
79人	81人	81人	81人	81人	79人	

4. 月別開園日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計 290日
24日	22日	25日	26日	26日	23日	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
25日	24日	24日	23日	23日	25日	

5. 月別一時保育利用数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計 13人
1人	1人	0人	1人	1人	1人	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1人	2人	1人	1人	1人	2人	

#### 6. 月別特別保育利用数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	平 均 11.9人
12人	12人	12人	12人	12人	12人	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
12人	12人	12人	12人	12人	11人	

#### 7. 延長保育利用児童数（一日平均）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	平 均 2.6人
3人	3人	3人	3人	1人	3人	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
3人	2人	2人	3人	2人	3人	

#### 8. 月別子育て支援センター利用数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計 3,855人 大人1,508人 子ども2,347人
348人	315人	290人	464人	322人	333人	
大133 子215	大124 子191	大112 子178	大192 子272	大126 子196	大126 子207	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
383人	365人	309人	291人	261人	0人	
大146 子237	大144 子221	大123 子186	大116 子175	大104 子157	大0 子0	

#### 9. 健康管理・感染症対策

子ども達の体調の変化については、お迎え時に口頭でお伝えし、お伝え出来ない場合は連絡帳を通して家庭と密に連絡をとるとともに、欠席した場合などは理由を確認しました。異変があった時は、緊急連絡や病院の受診、保健所への連絡を行うなど、早めの対応を行いました。特に頭部のケガについては配慮しました。各クラスの園児に年齢に応じた歯磨き指導や手洗い指導も行いました。あと、厚生労働省による保育所における感染症対策ガイドラインや豊肥保健所による食中毒・感染症対策の情報をもとに、保健だよりの発行やインフルエンザの園内感染者数を園に掲示して全体に周知しました。更に職員に対しては、嘔吐処理の方法の研修も実施し、感染予防に努めました。大気エアロゾル（大気浮遊粒子状物質）の発

生状況を調査しながら、園の外出活動の調整も行いました。

#### 10. 年間保健行事

保健行事	対象年齢
内科健診	全園児（前期5月21日）（後期11月19日）
細菌検査	実施無し
身体測定	全園児（毎月）
歯科健診	全園児（前期5月21日）（後期11月19日）

#### 11. 年間行事

（月例行事：誕生会・身体計測・避難訓練・移動図書・人権学習会、サッカー教室）

（隔週行事：運動あそび）

月	行事
4月	第5回入園式、タケノコ堀（さくら組）保護者の会総会、こどもの日楽しみ会 保護者の会総会
5月	白鹿山散策（さくら組）、芋の苗植え、省吾連参加、内科・歯科検診、犬飼中 学2年生職場体験、イチゴ狩り、チャレンジデー、観劇（さくら組）、ござい こども園交流、第1回保護者の会役員会
6月	クラス懇談会、田植え（さくら組）、保育講話、交通安全教室、衛生講話・クッ キング（さくら組）、第2回保護者の会役員会、途中入園説明会
7月	縁日ごっこ・サマーナイト（さくら組）、プール開き、トウモロコシ狩り（さく ら組）、一日保育者体験、豊後大野署来園（さくら組）、クッキング（さくら組）
8月	一日保育教諭体験、流しそうめん（雨天中止）、プール納め、高校生ボランティ ア、観劇
9月	小運動会、クッキング（さくら組）
10月	赤い羽根共同募金活動（さくら組）、運動会室内練習、大運動会、元気ハツラ ツ交流会参加（さくら組）、げんきキッズあつまれ！稲刈り見学、社会見学（さ くら組）
11月	第3回保護者の会役員会、芋ほり（さくら・すみれ・たんぼぼ組）、内科・歯科 検診 秋の遠足、秋の収穫祭、消防広場、もえぎの郷地域交流祭、クッキング （さくら・すみれ・たんぼぼ組）、サッカー教室（さくら・すみれ組）子育て支 援センター保育体験、ラグビー教室、親子バス研修旅行、犬飼小学校交流
12月	人形劇鑑賞、お魚教室（さくら組）はっぴょう会リハーサル、はっぴょう会、 クリスマス会、クッキング（さくら組）、保育納め
1月	保育始め、鏡開き、餅つき、クッキング（以上児）、高校生ボランティア
2月	豆まき、実習生受け入れ（2名）、クラス懇談会、給食試食会、用品説明会、お

	店屋さんごっこ、サッカー交流試合（さくら組）、クッキング（さくら組、すみれ組）
3月	クッキング（さくら組）ひな祭り、おもいで遠足・卒園記念品製作・ハーバリ、ウム（さくら組）、入園説明会、卒園式リハーサル、おわかれ会食会、卒園式第4回保護者の会役員会

### （3）教育保育理念と目標

子ども一人ひとりの発達と特性に応じた保育環境を配慮するとともに、年間を通じた活動や運動会、発表会などの各行事場面で園児が自信を得る機会を演出し、個々の多様性を各クラスで尊重することができ、安心、安全の場所を提供することができました。教育保育理念や教育保育目標に向けて園全体で考え、それぞれのクラスで発達に応じた取り組みが日常の保育の中でみられています。人権意識についても、人権委員による講座を定期開催したことにより、聴く力や考える力のみならず、周りの人の気持ちを考える力も深まりました。

たんぼぼ・すみれ・さくら組の3歳以上児は体育講師を招いて月2回の運動時間を設け、力強く・しなやかな動きを体得する一助となり、異年齢での活動も取り入れていきました。

さくら組は、太鼓演奏によるリズム遊びやサッカー教室を定期的に行いました。太鼓演奏は祭りや赤い羽根共同募金で披露し大勢の前で緊張しながら達成感や自信をつけることができました。サッカー大会では今年は優勝を逃しましたが準優勝の成果をあげました。

このように、年間を通して活動を積み重ねることにより、運動会の競技を始めとする各行事場面で集団のルールだけでなく、自分や友だちの個性を認めながら自分の力をのびのびと発揮している姿を見ることができています。

また、園内での野菜の栽培のみならず園外で作物を収穫する等の社会体験学習の機会を数多く取り入れるなど、幅広く食育活動もすすめてきました。

#### 1. 教育保育理念

子ども一人一人をかけがいのない存在として尊重し、保護者や地域社会とともに人権意識を育む。

#### 2. 教育保育目標

- 明るく伸び伸びした子ども
- 喜んで話し喜んで聞く子ども
- 思いやりのある優しい子ども
- 心豊かで工夫する子ども
- よく見よく考える子ども

#### 3. 7つの教育保育方針

- ① 家庭や関係機関と連絡をとりあい、安心感を育てます。
- ② よく食べ、よく遊び、しなやかで丈夫な身体を育てます。
- ③ のびのびと成長・発達する心を育てます。
- ④ 自分を大切にし、お友達の個性が理解できる知識を育てます。
- ⑤ 聴く力、考える力、ゆたかに自己表現できる才能を育てます。
- ⑥ 身辺自立の基盤となる生活習慣を育てます。
- ⑦ お友達の気持ちや集団生活のルールを考える力を育てます。

#### 4. 各組の教育保育目標

##### ① さくら組（5歳児）の年間目標

目標に向けて力を合わせ、達成感や充実感を味わうことで仲間意識を育て、お互いに相手を許したり、異なる思いや考えを認められる知識を獲得する。

##### ② すみれ組（4歳児）の年間目標

身近な環境に積極的に関わることで、想像的・目的的な行動ができるようになり、身近な人の気持ちを察して、手伝ったり、自分の気持ちを抑えることができる。

##### ③ たんぼぼ組（3歳児）の年間目標

身辺が自立し、知的興味や関心が高まるとともに、予想や意図、期待を持って自らすすんで行動できる。いろいろな行事や活動を体験しながら、集団への関心を高める。

##### ④ つくし組（2歳児）の年間目標

基本的な運動・指先機能が高まり、身の回りのことを自分でしようとしたり、動作やおしゃべりといった表現活動や模倣遊びを楽しむ。

##### ⑤ つぼみ組（1歳児）の年間目標

大人との信頼関係のもとで意欲的に身近な人や身の回りの物に働きかけ、指さし、身振り、片言などを盛んに使いながら遊ぶ。

##### ⑥ めばえ組（0歳児）の年間目標

保育教諭との親密な関わりを通して、情緒的な絆が形成され、安心感のもとで周囲の人や物に興味を持つ。表情や動作、発声などのサインを通して、コミュニケーションをとる。

##### ⑦ 特別保育の年間目標

発達特性に向けた配慮のもと、諸機関と連携しながら個別の発達段階に応じた教育保育を提供する。

#### （4）食事

検食担当職員の感想をもとに給食会議にて、献立内容や味付け・形態について検討するとともに、保護者が試食をする機会を設けました。また、お誕生日の会食や行事食を通して食への関心を高めました。食育に関しては、クッキング体験を通して、自分たちが育てた野菜を楽しんで味わう機会を設け、生きる力を育む食育に取り組みました。

1. 目標『味わいながら、楽しく食べる子』に育てる。

配慮事項

- ① 薄味に心がける。
- ② 旬の素材を使った献立作りを心がける。
- ③ 見た目においしく、食べておいしい食事づくりを心がける。
- ④ 保護者や保健所との連携を密にし、個別的な配慮を心がける。

2. 栄養管理

毎日の献立の栄養計算を行い、月報を作成しました。

3. 食育

食育だより：毎月の献立表にいぬかいこども園の食事の紹介や栄養情報などを記載しています。アレルギー児に関しては個別に対応しました。

給食会議：0歳児は月1回の離乳食会議にて子どもの食事の状況、離乳食の移行時期、献立については、園長・主幹・クラス担当・栄養士・調理員で検討しました。

・アレルギー食数（1日平均）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	平均 1.7人
2食	2食	1食	1食	1食	1食	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2食	2食	2食	2食	2食	2食	

4. 衛生管理

衛生チェック表を作成し、毎日衛生項目に添って確認するとともに、調理員の細菌検査（毎月1回）調理室の掃除、ワゴン清掃（毎日）、冷蔵庫消毒、食器洗浄後熱風庫にて保管、原材料・調理済み食品を保存（2週間）しました。

・細菌検査

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 294人
29人	19人	28人	19人	30人	21人	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
18人	20人	30人	25人	25人	30人	

5. 特別食（離乳食・アレルギー）に関して

離乳食については、18ヶ月の管理期間に変更し、園児1人1人に合わせて無理なく進め

ました。アレルギー食については、園児専用の食器を準備し、保育士と連携を取りながら安全な提供を行いました。また、完全除去により不足する栄養素を考慮し、可能な限り代替食での対応を行いました。

・離乳食数（0歳児）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計 100食
8食	8食	8食	9食	9食	8食	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
8食	8食	8食	10食	9食	7食	

・月別給食仕出し食数（なかよしひろば）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計 980食
92食	76食	80食	84食	79食	77食	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
82食	72食	72食	80食	83食	103食	

6. 豊後大野市認可保育園献立会議

4月10日、5月8日、6月12日、7月10日、8月7日、9月11日、 10月9日、11月13日、12月11日、1月15日、2月12日、3月11日
---

（5）職員処遇

新制度への移行に伴い、職員体制を手厚くすることができ、専門性の向上に向けて研修等へも積極的に参加をしました。

1. 健康管理

- ・健康診断 1年 1回（9月）

2. 職員会議

- ・全体会議

5月31日、9月6日、12月6日、3月6日
-----------------------

- ・主任会議（5月31日、12月5日、2月3日、18日）

- ・クラス担当者会議（全体会議の他に必要に応じて開催）

未満児：4月17日、5月22日、7月1日、8月22日、10月25日、11月27日、 1月20日、2月27日
--

以上児：4月16日、5月9日、6月11、18、27日、8月19日、9月25、26日、
--



10月15、17日 11月7、13、26日、1月15日、2月25日

### 3. 研修報告

#### ・園内

研修名	日時	場所
今年度の目標・展望 年間行事について	5月31日	いぬかいこども園
無償化に向けて	9月6日	
4園合同研修会	6月7日、11月22日 3月17日 (コロナ対応で中止)	なかよしホール
園内研修 こどもの主体性を育む 総合支援センターの概要について	2月29日	なかよしホール (コロナ対応で延期)

#### ・豊後大野市教育保育協議会

日時	内容	場所
4月12日	豊後大野市看護部会	にこにこ保育園
6月7日	げんきキッズ第1回実行委員会	豊後大野市役所
7月4日	主任・主幹研修会	おおのルンビニこども園
5月28日	教育保育協議会・総会	豊後大野市役所
5月28日	第1回調査広報委員会	豊後大野市役所
5月28日	第1回福利厚生委員会	豊後大野市役所
6月10日	第2回福利厚生委員会	豊後大野市役所
6月11日	第1回研修委員会	ももえだこども園
7月9日	げんきキッズ第2回実行委員会	豊後大野市役所
7月18日	教育保育協議会園長会	豊後大野市役所
7月10日	主任・主幹教諭研修会	豊後大野市役所
7月22日	第3回福利厚生委員会	豊後大野市役所
8月22日	第1回げんきキッズみんなのひろば担当者会議	ももえだこども園
8月23日	第1回げんきキッズオープニング会議	すがおこども園
8月27日	第1回げんきキッズあそびのひろば担当者	フレッシュランドみえ

	会議	
9月6日	第1回げんきキッズ赤ちゃんコーナー 担当者会議	扇田保育園
9月9日	第1回げんきキッズ作品展示担当者会議	ももえだこども園
9月10日	第1回げんきキッズ手作りおもちゃ会議	豊後大野市役所
9月12日	第1回げんきキッズ落書きコーナー担当者会議	しいのみこども園
9月13日	第2回げんきキッズ手作りおもちゃ担当者会議	ひがしこども園
9月15日	子ども子育て井戸端会議	エイトピアおおの
9月18日	第4回げんきキッズ手作りおもちゃ担当 者会議	ひがしこども園
9月19日	げんきキッズ第3回実行委員会	豊後大野市役所
9月30日	キッズオープニング練習	すがおこども園
10月7日	第4回福利厚生委員会	豊後大野市役所
10月8日	第5回げんきキッズ手作りおもちゃ担当 者会議	ひがしこども園
10月9日	第1回絵本コーナー担当者会議	緒方保育園
10月16日	キッズオープニング合同練習	フレッシュランドみえ
10月21日	キッズオープニング合同練習	フレッシュランドみえ
10月25日	げんきキッズ駐車場係打ち合わせ	フレッシュランド周辺
10月25日	げんきキッズ受付担当者会議	フレッシュランドみえ
10月25日	げんきキッズ担当者会議・全員集会	フレッシュランドみえ
10月26日	げんきキッズあつまれ!	フレッシュランドみえ
11月26日	げんきキッズ第4回実行委員会反省会	豊後大野市役所
11月15日	第5回福利厚生懇親会	フレッシュランドみえ
11月22日	第6回福利厚生委員会	豊後大野市役所
2月6日	教育保育協議会園長会議	豊後大野市役所

・外部研修

研修名	日時	場所
新任採用保育教諭研修	4月10、11日	大分市
新任採用保育教諭研修	4月17日	別府市
幼児教育研修会	5月9日	豊後大野市
キャリアアップ0.1. 2歳児研	5月11日、 6月28.29日	大分市

新任採用保育教諭研修	5月14日	大分市
公定価格研修会	5月24日	福岡市
全国保育士会	5月21, 22日	東京都
保育コーディネーターフォローアップ	6月18日	大分市
ソニー研・科学する心	6月6日	大分市
私立保育園連盟研究大会	6月11, 12, 13日	熊本市
豊肥管内栄養士、研修会	6月14日	豊後大野市
食育推進研修会	6月20, 21日	大分市
新任採用保育教諭研修	6月27日	大分市
主任主幹研修会	7月3, 4日	大分市
九州3団体研究大会	7月11, 12, 13日	鹿児島市
ミドルリーダー研修会	7月24, 25, 26日	東京都
フィットネス研修	8月1日	大分市
新任採用保育教諭研修	8月1日	大分市
全国保育士会	8月8, 9日	東京都
園長研修会	8月19, 20日	大分市
保育コーディネーターフォローアップ	8月29日	大分市
新任採用保育教諭研修	8月22, 23日	九重町
キャリアアップ研修マネジメント	9月2, 3, 4日	大分市
全国保育士会	11月13, 14, 15日	東京都
赤十字研修会	11月25日	大分市
保育コーディネーターフォローアップ	11月18日	大分市
心のネット研修	11月28日	豊後大野市
新任採用保育教諭研修	12月4日	大分市
新任採用保育教諭研修	1月16日	大分市
保育事業研究大会	1月23, 24日	大分市
保育コーディネーターフォローアップ	12月17日	大分市
食育推進リーダー育成及び活動の促進研修	1月28日	大分市
キャリアアップ子育て支援	2月19, 20, 21日	大分市
キャリアアップ障がい児保育	3月11, 12, 13日	大分市 コロナ対応 で延期

## 第2章 施設管理

### (1) 避難訓練・設備管理の実施状況

毎月の避難訓練と遊具等の設備点検、年2回の安全衛生管理点検や砂場の掘り起しを行い、異常や破損を発見した時には迅速に対処しています。今年は、劣化していたい以上児砂場枠及び遊具の撤去や移設、砂場や水遊び環境の日よけ設置等を実施しました。

#### 1. 避難訓練月日

4月25日	5月27日	6月28日	7月29日	8月28日	9月30日
地震・火災	地震	不審者	地震	不審者	地震
10月28日	11月7日	12月6日	1月30日	2月28日	3月10日
地震	消防広場	地震・火災	火災	不審者	地震・火災

#### 2. 遊具点検月日

4月26日	5月29日	6月28日	7月30日	8月29日	9月27日
10月28日	11月28日	12月28日	1月30日	2月28日	3月26日

#### 3. 消防用設備等点検

令和元年7月18日、令和2年1月29日

### 第3章 諸機関との連携

#### (1) 保護者との連携

・連絡帳を通して、こどもたちの日々の様子を伝達するとともに、園だよりとクラスだよりを毎月1回発行しました。

・メーリングリストを作成し、緊急のお知らせや感染症などのお知らせを行いました。

・保護者アンケートを通して、ニーズの調査を行いました。

(給食試食会、個人面談、保育教諭体験等について)

#### (2) 小学校や幼稚園との連携

進学をふまえた訪問交流を行うとともに、年長組を対象にこども園の中で芽生えた力や個性、配慮点を記録した「教育保育要録」を作成して引き継ぎました。

#### (3) 相談機関や療育機関などとの連携

こどもの発達や保護者のニーズに応じて、療育機関やなかよしひろばとの併用利用を導くとともに、療育機関や福祉制度の利用についての案内をご家族に行い、合計11名の児童を特別に保育しました。

#### (4) 地域との連携

いぬかいこども園の利用児家庭のみならず、地域の子育て家庭に向けた支援として、子育て支援拠点事業の他に、一時保育や市の開催する世代間交流にも積極的に参加しました。

1. 地域における世代間交流や異年齢児交流、育児講座への参加や開催を行いました。

会議・交流事業名	日時	場所
チャレンジデー	5月29日	犬飼公民館
要保護児童対策地域協議会	6月24日 2月27日	犬飼支所
1, 6ヶ月健診	5月16日 1月16日	豊後大野市役所
3, 6ヶ月健診	4月16日 7月18日	豊後大野市役所
子育て支援センター保育体験	11月27日	いぬかいこども園
げんきキッズ第17回大会	10月26日	フレッシュランドみえ
元気ハツラツ交流会	10月30日	犬飼公民館
もえぎの郷地域交流祭	11月3日	なかよしホール
こどもひろば	6月26日 2月6日	ひなたぼっこ
なかよしこよしのつどい	11月8日	豊後大野市（ひなたぼっこ）
5歳児すこやか相談会	10月11日	豊後大野市役所
犬飼小学校交流会	11月28日	犬飼小学校
サッカー交流会	2月26日	野津小学校グラウンド

2. 地域の子育て家庭を援助するため、一時保育、園庭開放、育児相談、子育て講座の開催、絵本の貸出、出張ひろば、男性子育て応援企画、地域向け育児情報の提供等からなる豊後大野市子育て支援拠点事業を実施しました。

月	行事
4月	保健講話・育児相談①(保健師、栄養士)、シール帳制作、誕生表制作、こいのぼり制作、園庭開放、誕生会、出張ひろば、愛育会班会
5月	母の日のプレゼント制作、誕生会、園庭あそび、野菜の苗植え、お見知り遠足(吉四六ランド)、新聞紙あそび、出張ひろば
6月	保健講話・育児相談②(保健師)、プレゼント制作、誕生会、七夕飾り作り、リフレッシュ講座(リンパケア①愛育会)園庭開放、愛育会班会、出張ひろば、こどもひろば
7月	プール開き、こども園縁日ごっこ参加、親子クッキング、水遊び、シャボン玉遊び、九電IHクッキング、子育て座残会①(合田先生)、誕生会、出張ひろば
8月	保健講話・育児相談③(保健師)、プール遊び、水風船遊び、シャボン玉遊び、九電IHクッキング、誕生会、出張ひろば
9月	パパといっしょ①(ぶどう狩り)、敬老の日プレゼント制作、親子からだ教室①

	(阿部先生)、親子ふれあい会(3B体操・愛育会)、梨狩り、栗拾い(偕生園交流)、園庭開放、誕生会、出張ひろば
10月	保健講話・育児相談④(保健師)、こども園大運動会参加、運動会ごっこ(愛育会)、九電IHクッキング講習(絹川先生)ハロウィン制作、誕生会、げんきキッズあつまれ!なかよしこよしのつどい、園庭開放、誕生会、出張ひろば
11月	パパといっしょ②(ピザ作り体験)、子育て座談会②(合田先生)、秋の遠足(ぬくもりパーク)、九電IHクッキング、消防広場、秋の収穫祭、こども園体験、園庭開放、誕生会、出張ひろば
12月	保健講話・栄養指導⑤(栄養士)、クリスマス制作、スワッグ講習(そらうみ財前先生)、親子クッキング・クリスマス会(愛育会)、リフレッシュ講座(リンパケア②愛育会)、園庭開放、誕生会、出張ひろば
1月	リズム楽器あそび、ゆうゆうキッズカフェ(茶話会)、おもちつき、鬼のお面制作、消防広場、園庭開放、誕生会、出張ひろば、
2月	豆まき、保健講話・育児相談⑥(保健師)、歯科指導②(歯科衛生士)、こどもひろば、ゆうゆうキッズカフェ(茶話会)、親子からだ教室②(阿部先生)おひな様制作、誕生会、出張ひろば
3月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休業

○ペアレント・プログラム事業(大分県委託事業)

豊後大野市	竹田市
対象者:千歳幼稚園保護者	対象者:なおいりこども園保護者
会 場:千歳公民館	会 場:直入支所

3. 地域交流や次世代育成を踏まえ、ボランティアや実習生を受け入れています。

期日	ボランティア・実習生	内容
4月24日	野津FC	サッカー教室
4月25日	犬飼地域人権教育・啓発推進協議会	人権学習会
5月23日	犬飼中学校2年生職場体験.	犬飼中学校職場体験学習
5月24日	野津FC	サッカー教室
5月27日	犬飼地域人権教育・啓発推進協議会	人権学習会
6月19日	野津FC	サッカー教室
6月26日	犬飼地域人権教育・啓発推進協議会	人権学習会
7月2日	愛育会	親子クッキング
7月4日	いぬかいこども園保護者	一日保育教諭体験
7月16日	愛育会	子育て座談会

7月19日	犬飼地域人権教育・啓発推進協議会	人権学習会
8月9日	大分南高校生ボランティア	一日保育体験
8月20日	犬飼地域人権教育・啓発推進協議会	人権学習会
8月23日	情報科学高校生ボランティア	一日保育体験
8月26日	野津FC	サッカー教室
9月11日	犬飼地域人権教育・啓発推進協議会	人権学習会
9月17日	愛育会	子育て支援センター親子からだ教室
9月13日	野津FC	サッカー教室
10月9日	愛育会	子育て支援センター運動会
10月9日	野津FC	サッカー教室
10月28日	犬飼地域人権教育・啓発推進協議会	人権学習会
11月5日	愛育会	子育て座談会
11月5日	ラグビー推進協議会	ラグビー体験教室
11月13日	いぬかいこども園さくら組祖父母	秋の収穫祭
11月11日	トリニータ巡回サッカー教室	サッカー教室
11月20日	野津FC	サッカー教室
12月18日	野津FC	サッカー教室
12月17日	愛育会	子育て支援センタークリスマス会
12月24日	愛育会	リンパケア講習会
1月7日	大分高校生ボランティア	一日保育体験
1月29日	犬飼地域人権教育・啓発推進協議会	人権学習会
1月16日	愛育会	いぬかいこども園もちつき
2月13日	野津FC	サッカー教室
2月20日	トリニータ巡回サッカー教室	サッカー教室
2月26日	野津FC	サッカー交流試合

4. たんぼぼ・すみれ・さくら組の3才以上児は、毎月第2・4火曜日に山崎フィットネス研究所から体育講師を招いて「運動あそび」を行いました。

#### 第4章 総括

今年度も子ども一人ひとりの多様性を尊重し、隣接している子育て支援センターゆうゆうキッズや児童発達支援センターなかよしひろばと連携を密に図り、豊後大野子育て総合支援センターとして地域で暮らす子育て家庭への支援を包括的に進めてきました。その結

果、豊後大野市以外の広域（大分市、竹田市、佐伯市）からの利用ニーズの拡大につながり、児童発達支援センターとの併行通所は12名の子ども達の受け入れを行いました。この個々の多様性を人的環境と物的環境から支える取り組みは、各方面から先進的な取り組みであるとの評価をいただき、視察希望者の受け入れも継続的に行いました。

活動においては、例年通り園庭やホールを活用して、子ども達の身体機能の向上に取り組むとともに、職員との関係の積み重ねの中で情緒の安定を図ることに重点を置きました。

あと、ラグビーワールドカップの日本開催に伴い、ラグビー体験や山登り、赤い羽根共同募金での太鼓演奏等新たな取り組みにもチャレンジすることにより、子ども達は多くの賞賛をいただき、数多くの達成感を得ることができました。

職員体制につきましても、管理者がより良い事業運営の視点を持ち、職員への専門研修や手厚い職員配置を行い、職員が保育士としての質の向上が図れるように引き続き人材育成にも力を注いでいきます。

国の方針として子育て支援の充実が叫ばれ、今年度は幼児教育・保育の無償化が実現されました。私たちの住む豊後大野市は人口減少が進み、保育現場も大きな転換期を迎えています。このような時だからこそ、今後も子どもの視点で子どもたちの主体性を大事に教育保育に向き合うことが必要だと考えています。



# 令和元年度なかよしひろば事業報告

## 第1章 療育活動

### 1. 療育方針

- ① 発達支援 人との信頼関係を軸にしながら、一人一人の発達段階に応じた育ちを支援します
- ・年齢ではなく一人一人の生活経験や器質的な特性・発達段階に応じたクラス分けを行っています。
  - ・愛着、信頼関係、自己肯定感を丁寧に育んでいき、安心感や信頼関係を軸に、順番やルールを守るといった自律する力を育てていけるよう、こども一人一人の成長段階に合わせたクラス編成と活動を個別支援計画に基づいて実施しています。
  - ・学童児にはモラルスキルやソーシャルスキルトレーニング等を取り入れながら、話し合いを通じた活動決定等を行い、集団適応及び対人折衝力の向上に努めています。
- ② 才能援助 様々な経験が得られる機会をつくることで、一人一人の可能性を引き出し、伸ばしたりしながら自己表現力や有用感の育ちを支援します。
- ・自由遊びの時間に粘土や砂遊び、色水遊びなど様々な感覚の遊びが経験できるようにしました。
  - ・スポーツや工作等、個別支援を通じて得意分野を伸ばしていきました。
- ③ 家庭援助 子育てについての相談や学習会を通して、お互いにお子さんへの理解を深めながら育ちと暮らしを支えます。
- ・親子通園日において臨床心理士を中心とした保護者のグループミーティングを設定し、臨床心理士による子育てのアドバイスや、保護者同士が互いに近況報告や子育てのアドバイスすることで、お子さんへの理解を深めていきました。またなかよしひろばの会を通じて、保護者になかよしひろばでの活動の様子を伝え、保護者同士で近況報告を行うことができました。
  - ・就学に向けた相談、各種申請手続きの説明や医療機関受診への接続的な支援を行っていきました。
- ④ 地域援助 ボランティアの要請や、相談会・研修会への協力、保育園、幼稚園、学校保健所などの関係諸機関と連携することで子どもの育ちと暮らしを支えます。

- ・行事の際にはボランティアを要請し、職員以外の人たちとの交流の機会を設けることができました。
- ・豊後大野市幼児精密発達相談会・5歳児すこやか相談会・幼児健診に職員を派遣し、保健師や保育コーディネーターとの連携を通して地域の発達支援上の課題やニーズに対応していきました。
- ・保育所等訪問支援を圏域の保育施設等へ実施をし、専門的支援のノウハウの提供及び、共通認識に基づく支援体制の強化に努めていきました。

- ⑤ 心のケア 関係性の視点から子どもの心身の状態を把握し、「安心感」を軸とするメンタルケアを施すことで発達を促します。
- ・特に個別に配慮を必要とするこどもには、午後の少人数グループでの対応を行うことで、職員との1対1の関係を通して安心感や信頼関係を育み、関係性を軸に他児との関わりを増やしていくことができました。

## 2. 日 課 児童発達支援

時 間	内 容	具 体 的 な 活 動 内 容
9 : 3 0	登園 自由遊び 個別学習	ブランコやトランポリン、ボールプール等の大型遊具や三輪車、プラレール、積み木などの玩具を共有して遊びながら集団のルールや動作技能の習得を促します。
1 1 : 0 0	お集まり（※クラス別） ・集団活動・外活動 ・親子遊び・運動遊び ・音楽遊び ・リラクゼーション	音楽、体操、絵カードやサーキットなどの集団状況を通して社会的な適応力を育てたり、身の自立を促したりするような課題設定を行います。
1 1 : 3 0	昼食・おやつ 準備・片付け	集団のルールに応じることや、片付け、準備などの整理意識を育てます。
1 2 : 3 0	制作・調理実習 専門活動 降園準備	制作や鑑賞などを通して自己表出支援を行う。 今日の活動内容や次回の活動内容の確認をすることで、自己意識や先の見通しを得る力を育みます。
1 5 : 3 0	閉園	活動の記録や準備等を行います。

放課後等デイサービス ①学校休業日 ②登校日

時 間	内 容	具 体 的 な 活 動 内 容
① 10:00 ② 14:00	登園 自由遊び・個別学習	大型遊具やパズル、プラレール、積み木などの玩具を共有して遊びながら集団のルールや動作技能の習得を促します。
① 11:00 ② 16:00	お集まり 集団活動 粗大運動・芸術活動 工作活動・制作活動 調理実習・課外活動 リラクゼーション 専門活動	音楽、体操、絵カードやサーキットなどの集団状況を通して社会的な適応力を育てたり、身の自立を促したりするような課題設定を行う。
① 12:00 ② 16:30	昼食 片付け・おやつ	自己表出支援とともに、集団のルールに依拠することや、片付け、準備などといった整理意識を育てます。
① 13:00	自由遊び 個別学習	個々の才能に着目し、伸ばしていくことで、自己表現力や有用感の育ちを支援します
① ② 17:00	降園	今日の活動内容や次回の活動内容の確認をすることで、自己意識や先の見通しを得る力を育みます。

※クラスのねらい

◎こあら・ぱんだ組（おおむね年少児まで）

- 愛着・信頼関係・自己肯定感を育てる。
- 対人意識を高める（目が合う、人を意識する、人と関わるのが楽しいと感じる等）
- 人への安心感をはぐくみ、安心感をもとに小集団で過ごしていく

◎らいおん組（おおむね年中児）

- 人への安心感を軸にしながら、自己表現力をのばす。
- 小集団のなかで、大人との信頼関係を基盤にして、友だちへの意識を高める。
- 個々の発達段階に合わせた生活習慣や身の自立を高める。

内 容

◎集団活動:自らが意識的に集団活動へ参加していくことで、自己意識や他者意識を高め、社会的な適応力を身につける。

- ・全クラス、継続的に同じ活動内容に取り組むことで、見通しを持って活動参加ができて

いました

- ・こあら組は愛着や安心感を育てることを中心に大人が丁寧に関わるため、職員も手厚く配置しています。継続して体遊びを続けることで安心感や他者への意識が育ち、他児の真似をして自分もしてみようとする姿などがみられるようになっていきました。
- ・ぱんだ組は当初はこあら組と同じように体遊びを中心に活動を行なっていますが、成長に合わせて「だるまさんが転んだ」などのルールがあり、また他者や自分の動きを意識した遊びも取り入れていきました。
- ・らいおん組は午後の利用へ移行した児童が多く、例年より人数が少なかったですが、園外活動に出たり、サッカー教室をしたりするなど少人数だからできる活動を行なっています。またお店屋さんごっこやアスレチックを作り、こあら・ぱんだ組の児童を招待するなど、年中・年長児に合った遊びの機会も作っていきました。
- ・個々の才能に着目した支援に力を入れてきました。サッカーや卓球・バッティングなど継続的に取り組むことで技術だけでなく、諦めずに取り組むことや仲間と協力し合う姿がみられるようになり、自信に繋がっている姿が見られています。

◎親子遊び:親との共感的なやりとりの中から、情緒を育てる。

- ・保護者同士が悩みや不安を共有したり体験談を話し合ったりすることで、互いに助け合う関係性ができていました。そのような機会があることで親子の関係性の改善にも良い影響を与えており、職員の声掛けだけでなく保護者同士が声を掛け合って子どもに接する姿が増えていきました。

◎運動遊び:感覚意識の統合性や身体的な運動能力を高めていく(ブランコ・トランポリンボールプール・技巧台等)。

- ・最初は職員に抱っこされてトランポリンを跳んでいたのが、徐々に自分の力で跳ぶようになり、職員と手を繋ぎタイミングを合わせて跳べるようになりました。
- ・サッカー教室の先生に来てもらい、サッカーを教えてもらう機会ができ、シュート練習やゴールキーパーをしたり、仲間同士で協力してゴールを守ったり姿がみられていました。

◎音楽遊び:音楽等を通してながら、共感性や場面への適応力を身につけていくとともに、自己表現や協調性が豊かに育つことを期待する(ダンス、楽器遊び等)。

- ・関心のある音楽(パプリカ、USA等)を流すことで複数の児童が一緒になってダンスを踊ったり楽器を鳴らす姿があり、楽しい時間と気持ちを共有し合う姿がみられていました。

◎制作:行事用の制作活動を通してながら、季節感や創作意欲を獲得していき、自己表現力や有用感を高めていく(クリスマス用靴下、ひなかざり等)。

- ・季節毎に制作活動を行い、個々の作品をみんなの前で発表し、互いに褒め合う機会を作

ることで、有用感が高まり、また他者への意識も高まっていきました。

◎調理活動:生理的な欲求を自分の力で満たす経験や、準備から整理までの経験を得ていくことで、自立心を育てる(ホットケーキ、焼きそば等)

- ・夏はかき氷、秋は焼き芋など季節に応じた調理活動を行っています。
- ・ホットケーキ作りや、焼きそば、お好み焼きなどの調理活動を通じて準備、調理、片付けといった一連の流れを経験することで自立心を育てていきました。また友達や先生のために料理を作ろうとする姿もあり感謝をされることで有用感を得る経験を積むことができていました。

◎課外活動:公共の場に参加することなどを通して社会的なルールの存在に対する気づきを促す(地域交流・交通機関の利用等)

- ・公園や地域の商店に買い物に行く機会を作り出発前にルールの確認をしたり、こども同士で考えたりしながら、外出時の過ごし方やルールを学んでいきました。

◎リクゼーション:活動を媒介にして他者との共感的なやりとりを経験する。また、シーツ遊びや楽器演奏などを通して情緒の安定やリフレッシュを図るとともに、他者との共感性や場面への適応力を身につけていく

- ・体の緊張が強かったり、感覚面の過敏さから他者に身を預けることが難しい児童も、継続して体遊びを行い、安心感が育つことで他者に身を預けることができるようになりました。当初は不安で乗れなかったシーツブランコも継続して取り組むことで乗れるようになったり、他児がシーツブランコをしている時に受け止めてあげようとしたりする等、他者のためにしてあげようとする姿勢が活動を通して育つ姿がみられていました。

◎専門活動:主に外部の専門家やインストラクターに依頼することで、専門性の高い発達支援が受けられる場を提供する。

- ・動作法トレーナーに週1回来てもらい、専門的な立場からの助言を支援に生かしています。また臨床心理士による発達検査の実施や、子育てに関する相談ができる環境を作流など、保護者支援にも取り組みました。

### 3. 行 事・内部研修

- ◎ 5月16日・・・事例検討会(事業所内部)
- ◎ 5月18日・・・お見知り会、保護者連絡会
- ◎ 5月24日・・・親子遠足
- ◎ 6月22日・・・研修(ビジョンについて講師:新宮貴志) 事例検討会(事業所内部)
- ◎ 6月26日・・・研修(就学に向けた支援について 講師:新宮貴志)
- ◎ 7月13日・・・夕涼み会
- ◎ 9月13日・・・事例検討会(事業所内部)

- ◎ 10月22日・・・事例検討会（事業所内部）
- ◎ 12月14日・・・クリスマス会、保護者連絡会
- ◎ 1月16日・・・事例検討会（事業所内部）
- ◎ 1月25日・・・がんばり賞授与式・保護者連絡会
- ◎ 2月28日・・・事例検討会（事業所内部）
- ◎ 3月21日・・・がんばり賞（新型コロナウイルス感染防止のため、中止）  
（その他、法人が実施するキャリアパス研修に対象者が参加している。）

## 第2章 利用者の来園状況

### 1. 令和元年度月別の来園状況

	児童発達支援 (人)	放課後等デイ (人)	保育所等 訪問支援 (人)	開園日数 (日)	1日平均利用 (人)
4月	301	158	15	20	23
5月	307	182	21	20	24.5
6月	322	186	22	20	25.4
7月	381	193	15	23	25
8月	274	149	2	18	23.4
9月	346	179	19	18	29.2
10月	359	199	10	22	25.3
11月	324	180	22	20	24.8
12月	328	170	15	21	23.7
1月	350	179	17	20	26.5
2月	306	167	17	18	26.2
3月	336	150	14	20	24.3
合計	3934	2092	189	240	25.1

### 5. 通園の状況（令和2年3月31日現在）

幼児 43名：月、火、水、木、金曜日

学童 30名：月、火、水、木、金曜日

### 第3章 職員の体制

#### 1. 職員の体制

管理者	(兼務)	1名	
児童発達支援管理責任者	(専任)	1名	(兼務) 1名
児童指導員	(常勤・専任)	3名	(非常勤) 2名
保育士	(常勤・専任)	5名	
指導員	(常勤・専任)	1名	
作業療法士	(常勤)	1名	
栄養士	(非常勤・専任)	1名	

### 第4章 地域・施設交流実施状況

#### 第5章

#### 1、研修会

期日	研修名	場所	参加者
4月7日	自閉症啓発デー講演会	介護研修センター	常勤職員
4月21日	大分県発達支援通園事業連絡協議会 春の講演会	ホルトホール201	常勤職員
4月26日	強度行動障害支援者要請研修 (基礎・実践)	なかよしホール	足立祥世
6月7日	4園合同研修	なかよしホール	常勤職員
6月27日28日	CDSjapan 第10回全国職員研修	はまぎんホール	赤嶺祐希
6月29日30日	大分こども研究会	かんぼの宿(別府)	新宮貴志
8月25日	第13回大分県発達障がい研究会	アイネス第会議室	常勤職員
9月15日	子育て井戸端会議	エイトピアおおの	常勤職員
11月7日8日	第33回全日本自閉症支援者協会研究大会(埼玉大会)	川越プリンスホテル	新宮貴志
11月22日	4園合同研修	なかよしホール	常勤職員
2月2日	未来はばたきネット研修	大分県教育会館	詫摩かおり 足立祥世
2月14日	子育て世代地域包括支援センター研修	豊後大野市役所	河野李佳 森 菜摘 渡邊健太

## 2、個別支援会議（15件）

日にち	会議内容	場所	参加者
4月12日	W・Tさん支援会議	千歳小学校	新宮貴志
4月15日	K・Hさん支援会議	新田小学校	新宮貴志 水野尚貴
6月5日	W・Aさん支援会議	三重東小学校	新宮貴志
8月5日	S・Kさん支援会議	なかよしひろば	斉藤鈴代
8月6日	I・Kさん支援会議	なかよしひろば	新宮貴志 赤嶺祐希
9月3日	I・Kさん支援会議	なかよしひろば	新宮貴志 合田紀子
9月5日	A・Yさん支援会議	扇田保育園	新宮貴志 赤嶺祐希
10月7日	H・Eさん支援会議	犬飼小学校	新宮貴志
10月10日	H・Rさん支援会議	三重第一小学校	新宮貴志 赤嶺祐希
10月16日	S・Aさん支援会議	上戸次小学校	赤嶺祐希
11月22日	W・Tさん支援会議	千歳小学校	新宮貴志 水野尚貴
12月13日	W・Tさん支援会議	千歳小学校	新宮貴志 水野尚貴
1月31日	I・Kさん支援会議	なかよしひろば	新宮貴志
2月6日	W・Tさん支援会議	千歳小学校	新宮貴志
3月19日	W・Tさん支援会議	千歳小学校	新宮貴志

（半年に1回、全利用児童のモニタリング会議を実施している）

## 3、施設交流（4件）

日にち	内容	場所	担当職員
10月5日	運動会	いぬかいこども園	赤嶺祐希 中村真子 渡邊健太
12月21日	発表会	いぬかいこども園	堀 恵美 中村真子 足立祥世
12月26日	犬飼児童館交流	犬飼児童館	放課後デイ職員
毎月1回	職員交流	いぬかいこども園	常勤職員



#### 4、外部機関実習

実習生氏名	受け入れ期間	学校・機関名	担当職員
SV 初級研修	7月4・9・18・23・25日	大分県発達障がい者支援専門員養成研修	新宮貴志
別府短期大学部 初等教育課4名	8月16日～26日 8月30日～9月10日	別府短期大学部 初等教育科	新宮貴志
筑紫女学園大学 3年生 1名	11月11日～11月22日	筑紫女学園大学人間科学科 幼児保育コース	新宮貴志
保育コーディネーター 養成研修受講生	11月21日	保育コーディネーター 養成研修	五十嵐猛 新宮貴志
豊後大野市 臨床心理士1名	9月6日 10月18日	豊後大野市 子育て世代包括支援センターきらきら	新宮貴志 合田紀子
発達障害支援スーパーバイザー要請研修 実習生2名	12月19日	全日本自閉症支援者協会	新宮貴志

#### 5、関係機関連携・支援（13件）

日にち	内容	場所	担当職員
4月15日	新田小学校会議	新田小学校	新宮貴志 水野尚貴
6月6日	竹田支援学校公開参加	竹田支援学校	新宮貴志
6月11日	三重東小学校連絡会	三重東小学校	新宮貴志
6月19日	都城市自立支援協議会視察対応	なかよしひろば	新宮貴志
7月9日	菅尾小学校連絡会議	菅尾小学校	水野尚貴
7月16日	三重東小学校連絡会議	三重東小学校	新宮貴志
8月26日	厚生労働省視察	なかよしひろば	新宮貴志
9月6日	大分県議会議員視察	豊後大野子育て総合支援センター	五十嵐猛 新宮貴志
10月7日	犬飼小学校会議	犬飼小学校	新宮貴志
10月30日	竹田市保育所等園長視察対応	なかよしひろば	佐藤任孝 新宮貴志
11月11日	学校見学同行	菅尾小学校	新宮貴志 水野尚貴
2月6日	千歳小学校関係機関連絡会議	千歳小学校	新宮貴志
3月19日	千歳小学校関係機関連絡会議	千歳小学校	新宮貴志

6、地域支援（7件）

日にち	内容	場所	担当職員
6月29日	大分こども研究会	別府かんぼの宿	新宮貴志
7月11日	5歳児相談会打ち合わせ	なかよしひろば	新宮貴志
7月13日	親と学校をつなぐ会	豊後大野市教育会館	新宮貴志 合田紀子
9月19日	地域子育てサポート・センター まかせて会員養成講習講師	豊後大野市役所	新宮貴志 後藤美穂
10月1日 11日15日	5歳児すこやか相談会	豊後大野市役所	新宮貴志
2月27日	豊後大野市自立支援協議会児童部会	豊後大野市役所	新宮貴志

7、施設内職員会議

日にち	内容	参加職員
4月7日	職員会議	常勤職員
4月22日	業務推進会議	主任補佐以上
5月10日	職員会議	常勤職員
6月14日	業務推進会議	主任補佐以上
6月22日	職員会議	常勤職員
7月26日	業務推進会議	主任補佐以上
8月3日	職員会議	常勤職員
8月30日	業務推進会議	主任補佐以上
9月11日	業務推進会議	主任補佐以上
9月13日	職員会議	常勤職員
10月22日	職員会議 業務推進会議	常勤職員 主任補佐以上
11月2日	業務推進会議	主任補佐以上
11月20日	職員会議	常勤職員
12月19日	職員会議	常勤職員
1月16日	業務推進会議	主任補佐以上
1月20日	職員会議	常勤職員
2月29日	職員会議	常勤職員
3月12日	業務推進会議	主任補佐以上
3月17日	職員会議	常勤会議

※毎月1回、いぬかいこども園と総合支援センター会議を実施している。

## 第5章 総括

平成27年に児童発達支援センターとして開所し、隣接するいぬかいこども園・子育て支援センターゆうゆうキッズとの一体的な子育て支援の体制を軸に、個々の成長段階に応じた発達の支援を行なってきました。また保育所等訪問支援を積極的に実施したことや、5歳児健診への協力、保育コーディネーターとの連携を通じて、地域関係機関との連携・協働に努めてきた結果、毎年多くの利用希望を頂いています。特に放課後等デイサービスは多くの利用希望を頂いていますが、定員の都合上全ての希望に対応することが困難な状況にあります。そのため、次年度より日中一時支援を開始し、放課後等デイサービスを利用したくても利用ができない児童が、放課後に安心して過ごせる場所の確保に取り組んでいきます。

今年度は昨年以上に保育所等訪問支援にも力を入れてきました。実績も昨年を上回る訪問を実施することができ、幼稚園や学校への訪問回数も増え地域関係諸機関との連携は一層深まっています。特に就学に向けたサポートにおいては、訪問支援を通じて保育・教育・医療等の関係機関と情報の共有や役割分担が進んだことで、就学前の保護者への支援が手厚くなりました。特に今年度は医療機関との繋がりができたことで、情報を共有しながら就学に向けたサポートを行うことができたケースもみられています。また訪問支援員の育成にも力を入れてきました。昨年度は特定の職員が訪問支援を行なっていましたが、今年度は半数以上の職員が訪問支援に出る経験ができたことで、外部との繋がりや専門性の向上等の成果がみられてきています。このような職員育成の方向性については、昨年度末から始めた業務推進会議で、今後の方針を話し合いながら行なっていくことができたことが大きいと考えられます。会議の出席者は主に主任補佐以上の職員が参加し、業務内容の見直し作業や、今後の方針について話し合い共通理解のもとで事業を推進していくことができました。主任補佐以上の職員が共通のビジョンを持って業務に取り組むことが重要であることを認識できた取り組みであったと思います。

令和2年度も保育所等訪問支援を手厚く行い、また訪問支援員の育成にも取り組んでいながら地域との繋がりを強めていくと共に、業務推進会議も引き続き開催しながら職員間の意思統一や業務改善を積極的に行うことで、働きやすい環境作りにも取り組んでいきます。

# 令和1年度 こども発達支援センター大分なごみ園 事業報告

## 第1章 療育活動

### 1、療育方針

- ①発達支援 人との信頼関係を軸にしなが、一人一人の発達段階に応じた育ちを支援します
- ・年齢ではなく一人一人の生活経験や器質的な特性・発達段階に応じたクラス分けを行っています。
  - ・愛着、信頼関係、自己肯定感を丁寧に育んでいき、安心感や信頼感を軸に、順番やルールを守るといった自律する力を育てていけるよう、こども一人一人の成長段階に合わせたクラス編成と活動を個別支援計画に基づいて実施しています。
  - ・いろいろな遊びや活動を通して、気持ちの表出を促すための代弁的コミュニケーション支援を行っています。言葉でのやりとりができたり、ジェスチャーやサインなどで気持ちを表現することができるようになってきました。
  - ・基本的な生活習慣に関しては、その子に応じて、動作のポイントや手本を示し、ズボンが履けるようになったり、靴や靴下を自分で履こうとしたり、手洗いや歯磨きが徐々にできるようになっています。また、無理のないトイレ誘導などのトイレトレーニングを行うことで、排泄の自立ができるようになっていきます。職員間で共通理解のもと、利用児に対して一貫した援助ができるよう心掛けています。
- ②才能支援 様々な経験が得られる機会をつくることで、一人一人の可能性を引き出したり、伸ばしたりしながら自己表現力や有用感の育ちを支援します。
- ・能力や個性に応じて、興味関心のある活動を提供し、好きな遊びを通して自己表現ができるようになっていきます。製作活動に取り組むことで、自己表現力を伸ばしたり、シールを張ったり、なぐり書きをしたり、新聞紙を破ったりする様々な経験を通して微細運動の能力を高めたり、製作に対する苦手意識を少なくすることができました。外出活動では、買い物をしたり、公共交通機関を利用するなどして、社会性を学ぶ機会を持てる子もいました。調理活動を通して、食べれないものでも自分で作ったことで少し食べてみようとしたり、実際に食べれるようになったりと、食べることを楽しむ経験ができています。また、戸外では、サッカーや野球、自転車乗りなど練習して上達したり、他児や職員とのやりとりを楽しむことでリフレッシュや発散できていました。
- ③家庭支援 子育てについての相談や学習会を通して、子どもへの理解を深め、育ちと暮らしを支えます。
- ・子育てについては、主に臨床心理士を中心に相談したり、母親同士の親睦・情報交換の場を設けたりして、子どもの育ちを考えながら家庭支援を行っています。職員も保護者の話をよくきき、共感しながら子どもの育ちや子育てについて一緒に考えていくよう努めました。
  - ・なごみの会を開き、保護者に対して子どもの心の育ちとインリアル法についての勉強会を行いました。お父さんの参加も多く見られ、子どもに対する

接し方や関わり方について振り返ることができた、とても勉強になったという感想などもあり、引き続き、なごみの会や行事の際に行う保護者会、親子通園でのグループミーティングなどを行いながら家族支援を行っていきます。

④地域支援 ボランティアの要請や、相談会・研修会への協力、保育園、幼稚園、学校、保健所、医療機関などの関係諸機関と連携することで地域での子どもの育ちと暮らしを支えます

- ・地域の保育園・こども園・幼稚園と連携しながら、就園就学につなげることができています。特に同法人のこざいこども園との連携を密に取ることで児童発達支援へのスムーズな利用、また保育園への移行支援等も行うことができました。また、併行通園する子が増え、保育所等訪問支援を行うことで保育園、こども園、幼稚園と連携して子どもたちの育ちや家庭支援につなげることができてきています。見学、体験入園や支援会議等を通して、各関係機関と連携して、子どもも保護者もスムーズに就園・就学ができていように感じています。今後も、各関係機関との連携を深めて、地域での育ちを支えていきたいと考えています。

⑤心のケア 関係性の視点から子どもの心身の状態を把握し、「安心感」を軸とするメンタルケアを施すことで発達を促します

- ・子どもとのやりとりの中で、本人の気持ちを汲み取り、代弁を行うことで分かってもらえる経験を積み、安心感信頼感といった関係性を深めていくことで情緒の安定を促すことができてきています。また、気持ちの代弁を行うことでコミュニケーション能力の向上にもつながっています。
- ・幼稚園・保育園に通っているお子さんと園に行った後、リフレッシュや個別支援の必要性に応じて、午後の個別支援の時間を利用し、メンタルケアとともにライフスタイルに応じた支援に取り組んできました。
- ・広い園庭を利用して、遊具やボール、自転車等で思い切り遊ぶことで、心身の発散ができ、リフレッシュに繋がっています。

## 2、日課

児童発達支援 開園日：月～金

時 間	内 容	具 体 的 な 活 動 内 容
9：30	登園 自由遊び 個別学習	ブランコやトランポリン、ボールプール等の大型遊具や三輪車、プラレール、積み木などの玩具を共有して遊びながら集団のルールや動作技能の習得を促します。
11：00	お集まり（※クラス別） ・集団活動・外活動 ・親子遊び・運動遊び ・音楽遊び、製作あそび ・リラクゼーション	音楽、体操、絵カードやサーキット、からだ遊びや製作活動などの集団状況を通して社会的な適応力を育てたり、身の自立を促したりするような課題設定を行います。

11:30	昼食・おやつ 準備・片付け	楽しくお弁当を食べながら集団のルールに 応じることや、片付け、準備などの整理意 識を育てます。
12:30	自由遊び・制作 専門活動	制作や鑑賞などを通して自己表出支援を 行う。 今日の活動内容や次回の活動内容の確認 をすることで、自己意識や先の見通しを得る 力を育みます。
12:45 13:00	降園準備 降園	
14:00	個別療育 登園  活動 おやつ 降園	個別や少人数グループで遊具やおもちゃ での遊びを通して対人意識や愛着。信頼関係 を深める。活動の中で製作やからだ遊び、課 外活動、調理活動を通して技能的な課題に取り 組んだり、社会的な適応力を育てていく。
15:30	閉園	活動の記録や準備等を行います。

※クラスのねらい

◎こあら・ぱんだ組

- 愛着・信頼関係・自己肯定感を育てる。
- 対人意識を高める（目が合う、人を意識する、人と関わるのが楽しいと感じる等）
- 人への安心感をはぐくみ、安心感をもとに小集団で過ごしていく

◎らいおん組

- 人への安心感を軸にしながら、自己表現力をのばす。
- 小集団のなかで、大人との信頼関係を基盤にして、友だちへの意識を高める。
- 個々の発達段階に合わせた生活習慣や身辺自立を高める。

放課後等デイサービス 開園日：月～金 ①学校休業日 ②登校日

時 間	内 容	具 体 的 な 活 動 内 容
① 10:00 ② 14:00	登園 自由遊び・個別学習	園庭、固定遊具、大型遊具やパズル、プ ラレール、積み木などの遊具や玩具を共有 して遊びながら集団のルールや動作技能の 習得を促します。
① 11:00 ② 15:30	お集まり 集団活動 粗大運動・芸術活動 工作活動・制作活動 調理実習・課外活動 リラクゼーション 専門活動	地域のお祭りへの参加、公園遊び、買い 物活動等といった集団状況を通して、社会 的な適応力を育てたり、製作、調理活動な どの技能的な課題設定を行います。また、 からだ遊びを通してリラクゼーションや自 身の身体への意識を高める。
① 12:00 ② 16:20	昼食・おやつ 準備・片付け	自己表出支援とともに、集団のルールに 応じることや、片付け、準備などといった 整理意識を育てます。
① 13:00	自由遊び	個々の才能に着目し、伸ばしていくこと

	個別学習	で、自己表現力や有用感の育ちを支援します
① ② 17:00	降園	今日の活動内容や次回の活動内容の確認をすることで、自己意識や先の見通しを得る力を育みます。

〈内容〉

◎**集団活動**：自らが意識的に集団活動へ参加していくことで、自己意識や他者意識を高め、社会的な適応力を身につける。

・無理に集団活動に入れるのではなく、活動内容を具体物や写真などの視覚支援を提示したり、事前予告をするなどしながら、子ども自身が興味を示して、見通しをもって自主的に活動に参加できるよう支援しています。

◎**粗大運動**：感覚意識の統合性や身体的な運動能力を高めていく。(ブランコ・トランポリン・ボールプール・巧技台・土管山・自転車等)

・幼児は、思いっきり体を動かすことで、自分の体の動きが徐々に理解でき、少しずつ活動が活発的になった。土管山の坂を援助なしで登れたり、トランポリンも膝をうまく動かして跳べるようになったりと個々の身体能力も向上していた。学童でも、トランポリンやブランコ、マルチファンクションで体幹を高めたり、園庭でサッカーボールや野球、ボール投げなどすることで運動能力を高め、対人意識の向上にもつながった。

◎**音楽活動**：音楽活動を通して、共感性や場面への適応力を身につけていくとともに、自己表現や協調性が豊かに育てる。(歌、ダンス、楽器遊び等)

・音楽療法で、音楽や楽器に触れ、ダンスやリズム遊びを通して、自己表現を促した。その結果、表現をためらっていた子どももうれしそうに表現できるようになってきたり、みんなとの一体感を味わえることができたりしていた。

◎**工作活動**：創作意欲を育てることで、自己表現力や有用感を高めていく(模型・粘土等)。

・粘土やスライム、室内用砂遊びでは、感触を楽しんだり、型抜きで自由な表現をしたりして取り組んでいた。  
・プラ板づくりでは、思い思いの絵を自分たちで描いてキーホルダーにしたりして、自ら作り上げる喜びを体験することができた。

◎**制作活動**：行事用の制作活動を通しながら、季節感や創作意欲を獲得していく(こいのぼり、クリスマスブーツ、ひなまつり等)。

・行事の飾り作り(七夕やクリスマス会など)では、はさみやクレヨン、シールなど子どもの能力に応じて、手先の機能の向上に取り組んだ。集中して取り組む子どもも多く、自由な表現を肯定的に受け入れ、出来上がった喜びや達成感が子どもの意欲につながっていた。

◎**調理活動**：生理的な欲求を自分の力で満たす経験や準備から整理までの経験を得ていくことで、自立心を育てる。(ホットケーキ・焼きそば等)

・放課後等デイ(学童)では、毎月調理活動を取り入れた。話し合いで、メニューや準備物、流れ、役割を決め、各自の能力個性に応じて取り組んだ。その結果、

意欲的に取り組み、自分の力で調理したことの喜びや出来上がりの達成感を感じていた。中には家で作ったものを紹介して、作ってくれる子もいた。

・親子通園では食育として焼きそばを親子で一緒に作ることで、苦手な野菜を食べることができていた。

◎課外活動：公共の場の参加などを通して、社会的なルールの存在の気づきを促す。（地域交流・交通機関の利用等）

・大きな公園に出かけたり、お花見散策や初詣、駄菓子屋に行くなど、公共の場の利用することで、交通マナーや社会的ルールの意識を高めることができた。放課後等デイでは、美術館に出かけたり交通機関（JR）を利用して、1人ずつ切符を購入したり、マナーを守ったりするなど体験した。

・地域のお祭り（萬弘寺の市）に参加し、お小遣いを持ってきてもらって自分たちで食べ物やおもちゃなどを購入すること体験し、社会性を学ぶ機会になった。

◎リラクゼーション：活動を媒介にして他者との共感的なやりとりを経験する。また、シーツ遊びや楽器演奏などを通して情緒の安定やリフレッシュを図るとともに、他者との共感性や場面への適応力を身につけていく。

・児童発達支援の活動では、主にシーツ遊びやからだ遊びに取り組んだ。シーツの中にくるまって揺られる心地よさやからだ遊びでの大人に身を任せる動きなど取り入れ、共感的な関わりの中で情緒の安定を図ることもできた。また、親子遊びでのバルーン（横になって上から降りてくるシーツの感覚を楽しむ）では、ゆっくりと落ち着いた雰囲気（静かな音楽を流すなど）の中で、クールダウンできたり、自分でバルーンを持つことでふわふわとシーツが揺れる感覚を楽しむことができていた。

◎専門活動：専門家に依頼することで、専門性の高い発達支援を提供する（音楽療法）。

・音楽療法ではMTの講師の指導のもと、様々な楽器に触れたり、音に慣れたり、講師が弾くギターに合わせ歌ったり、お友達と同じ動きをしたり、ベルの色の順にならすなど順番の意識を育てたりすることができていた。

◎母子通園：母親と子ども（幼児）が一緒に来園する母子通園を毎週木曜日に設定している。臨床心理士の指導を通して、子どもとの関わり方や母親のメンタルケア、職員を媒介とした母子関係の調整、母親同士の関係作りなどを支援する。

・臨床心理士とのグループミーティングでは、育ちの悩みや喜びなど様々な意見や情報交換ができ、母親のメンタルケアや良好な親子関係の構築ができていた。また、職員と情報を共有するなど連携することで、子どもへの接し方の共通理解や統一感ができていた。

・親子遊び（リズム遊びや手遊びなど）や親子製作活動では、母親と一緒にすることで一緒に楽しむといった共感性を育む経験が持つことができた。

・今年度は支援学校の見学会を企画し、支援学校の説明を受けたり学校内を見学することができ、今後の進路の情報提供することができた。

◎リソナルスキルトレーニング：発達に応じて、電車などの公共機関や買い物、調理など生活の流れに沿った必要なスキルが身につくよう支援する。また、保護者の希望も踏まえ、より生活に根付いた技術の習得を目指していく。



・話し合いをすることで、活動内容を決めた。お互い意見を出し合い、相手の話をよくきくことの大切さに気づく経験を積めた。意見の衝突があった場合は、職員がサポートし、相手の気持ちを代弁したり、やりとりの中で互いに折り合いをつけていけるよう支援した。自分たちで決めた活動という意識が、意欲的な姿勢に大きく影響していた。

また、駄菓子屋などでの買い物をするなど社会経験の中で望ましい行為やマナーを身につけることに取り組んだ。

### 3、行事

#### 児童発達支援（幼児）

5月 9日（木）	親子遠足（うみたまご）
8月31日（土）	大分なごみなまつり
9月26日（木）	親子梨狩り遠足
10月24日（木）	避難訓練（消防署員・消防車来所）
11月 3日（木）	もえぎ祭り（参加希望者のみ）
12月14日（土）	クリスマス会（午前・午後）
2月 8日（土）	おおいたなごみの会「子育て講演会」
3月14日（土）	おもいで会（午前・午後）《新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止》

#### 放課後等デイ（学童）

5月18～24日	萬弘寺の市（まつり）への参加
8月31日（土）	大分なごみなまつり
11月 3日（木）	もえぎ祭り（参加希望者のみ）
12月14日（土）	クリスマス会（午前・午後）
3月14日（土）	おもいで会（午後）《新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止》

## 第2章 利用者の来園状況

### 1、令和1年度 月別の来園状況

	児童発達支援 （人）	放課後等デイ （人）	訪問支援 （人）	開園日数 （日）	1日平均利用 （人）
4月	320	159	6	20	24.0
5月	306	176	20	19	25.4
6月	305	174	10	20	24.0
7月	378	190	9	22	25.8
8月	302	156	0	19	24.1
9月	317	170	11	19	25.6
10月	349	167	10	21	24.6
11月	337	169	8	20	25.4
12月	345	172	14	21	24.6

1月	306	157	13	19	24.7
2月	276	163	9	18(19)	23.5
3月	320	123	0	21	21.1
合計	3861	1976	110	239	24.4

〈令和1年度の利用状況について〉

平成29年度4月より児童発達支援センター（定員20名）、放課後等デイサービスセンター（定員10名）に移行して3年が経過した。

児童発達支援では登録児数は49名となっている。昨年度に比べ、幼稚園こども園との併行通園が増加しており、地域支援・移行支援が進んでいることを表している。年間通しての延べ利用児数は3861人となり、昨年度に比べ152名の減少となったが、2、3月の体調不良のお子さんが多かったこと、新型コロナウイルス感染拡大予防による当園自粛からの減少とみられている。保育園幼稚園との併用利用児が増えているため、利用児の生活状況に合わせた利用の充実はさらになされてきている。そのため保育所等訪問支援の訪問件数が増加している。

放課後等デイサービスは、1976件になり昨年度より200名以上の増加となった。長期休暇の利用が昨年より増えたこと、3月以外は通常日がコンスタントに利用されているため増加につながっている。3月は、新型コロナウイルス感染拡大予防による当園自粛や学校休校に伴い他事業所を利用する利用児がいる事から減少となっている。

保育所等訪問支援では、訪問先が昨年度の17か所・31名への訪問支援から20か所・33名の訪問支援に増加しており、訪問件数も74件から110件に増加した。保育園・幼稚園・こども園・小学校に訪問しており、今後も増加が見込まれている。

## 2、通園コースの状況（令和2年3月31日現在）

幼児49名（幼児）：月曜～金曜

児童47名（学童）：月曜～金曜

## 第3章 職員の体制

### 1、職員の体制

管理者	(兼務) 1名	児童指導員(非常勤・専任)	1名
児童発達支援管理責任者	(専任) 1名	臨床心理士(非常勤・専任)	1名
	(兼務) 1名	指導員(常勤・専任)	1名
児童指導員(常勤・専任)	4名	指導員(非常勤・専任)	1名
保育士(常勤・専任)	7名	介護福祉士(非常勤・専任)	1名
	8月～6名	保育士(非常勤・兼任)	1名
看護師	1名		

## 第4章 地域・施設交流・研修等実施状況

### 1、職員研修

〈法人内研修（キャリアパス・事業所内研修）〉

期日	研修名	参加者名	場所
----	-----	------	----

4月1日 (月)	キャリアパス研修 「萌葱の郷の理念・歩み・展望」	安達悠花 宮崎美佐	なかよしホール
4月7日 (日)	事業所内研修 「大分なごみ園今年度事業展望等について」	常勤全職員 14名	大分なごみ園
4月26日 (金)	キャリアパス研修 「接遇マナー(マナー・挨拶・電話対応)」	安達悠花	なかよしホール
5月11日 (土)	法人内研修会 第2回萌葱の郷実践研究発表大会	常勤全職員 14名	なかよしホール
5月24日 (金)	キャリアパス研修 「自閉症・発達障がいの基礎知識 心の理論 について」	五十嵐康子 内村雅也 井上 智恵 荒巻香奈江 小代夏美 安達悠花	なかよしホール(スカイプ: 大分なごみ園)
5月25日 (土)	事業所内研修 「個別支援計画・チーム支援・事例検討」	常勤全職員 14名	大分なごみ園
6月7日 (金)	4園合同研修	常勤全職員 14名	なかよしホール
6月21日 (金)	キャリアパス研修 「事例検討会(めぶき園・犬飼なごみ園)」	内村雅也 井上智恵 小代夏美 牧楓 安達悠花 大津珠美 矢野美里 菊地ほのか 安達悠花 宮崎美佐 木藤拓弥	なかよしホール
6月25日 (火)	食中毒防止講習会	宮崎美佐	なかよしホール
6月26日 (金)	キャリアパス研修 「AED・救急法」	内村雅也 荒巻香奈江 安達悠花 宮崎美佐 加納優	なかよしホール
7月 5日 (金)	キャリアパス研修 「てんかんについて」	原田薫 安達悠花 荒巻香奈江 宮崎美佐	なかよしホール
9月20日 (金)	キャリアパス研修 「萌葱の郷の事業内容について」	内村雅也 井上智恵 安達悠花 宮崎美佐	なかよしホール

		木藤拓弥 菊地ほのか 矢野美里	
10月30日 (水)	キャリアパス研修 「事例検討会（戸次なごみ・どんこ）」	五十嵐康子 内村雅也 井上智恵 平川義将	なかよしホール
11月15日 (金)	キャリアパス研修 「けが・体調不良時の処置について (インフルエンザ・熱中症・嘔吐・食中毒)」	五十嵐康子 内村雅也 安達悠花 平川義将	なかよしホール
11月22日 (金)	4園合同研修	五十嵐康子 内村雅也 井上智恵 大津珠美 矢野美里 木藤拓弥 原田薫 安達悠花 平川義将 宮崎美佐	なかよしホール
11月23日 (金)	キャリアパス研修 「合理的配慮について」	五十嵐康子 内村 雅也 井上 智恵 牧 楓 宮崎美佐 安達悠花 平川義将	なかよしホール(スカイプ： 大分なごみ園)
2月14日 (金)	キャリアパス研修 「事例検討会（こざいこども園・イコール）」 (五十嵐SV)	五十嵐康子 井上 智恵 内村 雅也 牧 楓 木藤 拓弥 大津 珠実 矢野 美里 安達悠花 平川義将	なかよしホール
2月18日 (火)	防災研修会 「災害図上訓練 DIG」	五十嵐康子 内村雅也 原田薫	なかよしホール

〈外部研修〉

期日	研修名	参加者名	場所
4月7日(日)	世界自閉症啓発デー	常勤全職員	介護研修センター

6月18日(火)	第1回保育コーディネーターフォローアップ研修会	五十嵐康子	J:COM ホルトホール大分
6月27日(木) 28日(金)	CDS全国職員研修会	井上 智恵 加納 優	よこはまはまぎんホール
8月25日(日)	第13回発達障がい研究会 「発達障がい者の診断と支援」	五十嵐康子 内村 雅也	大分県消費生活・男女共同参画プラザアイネス大会議室
9月4日(水) 5日(木)	防火・防災研修	内村 雅也	大分県教育会館
9月11日(水)	障害児通所支援事業所等交流会	五十嵐康子	大分市保健所
9月15日(日)	子育て井戸端会議	安達 悠花 平川 義将	エイトピアおおの
9月17日(火)	児童発達発達支援管理責任者研修	五十嵐康子	大分県庁
9月30日(月)	衛生推進者養成講習	宮崎 美佐	大分県労働基準協会
11月26日(火)	メンタルヘルスケア研修	牧 楓	なかよしホール
11月28日(木)	より早期での発達障がいの気づきと支援研修会	井上 智恵 木藤 拓弥 宮崎 美佐 幸 景子	大分市保健所 6階大会議室
1月11日(土)	大分県発達障がい者支援専門員養成研修上級研修会	五十嵐康子	大分県介護研修センター
2月2日(日)	第2回未来はばたきネット研究会	内村 雅也 木藤 拓弥 大津 珠美 矢野 美里 平川 義将 原田 薫 井上 智恵 牧 楓	大分県教育会館 多目的ホール

2、個別支援会議（16件）（担当者会議は利用開始時、利用児の誕生月に実施：103件）

日にち	会議内容	場所	参加者
4月3日	A・Hさん支援会議	坂ノ市小学校育成クラブ	五十嵐康子
4月8日	R・Nさん支援会議	大在西小学校	井上智恵
4月9日	Y・Mさん支援会議	小佐井小学校	五十嵐康子
4月11日	T・Mさん支援会議	大分療育センター	井上智恵
6月4日	T・Mさん支援会議	大分療育センター	井上智恵
6月24日	S・Gさん支援会議	大分なごみ園	五十嵐康子
7月4日	R・Kさん支援会議	大分支援学校	井上智恵

7月8日	K・Yさん支援会議	大分なごみ園	井上智恵
7月16日	A・Hさん支援会議	坂ノ市小学校	五十嵐康子
8月6日	T・Mさん支援会議	大分療育センター	井上智恵 五十嵐康子
9月9日	T・Kさん支援会議	大分支援学校	五十嵐康子
9月30日	Y・Mさん支援会議	大分支援学校	井上智恵
11月1日	T・Hさん支援会議	大分新生支援学校	井上智恵
12月23日	J・Nさん支援会議	大分支援学校	井上智恵
2月4日	T・Mさん支援会議	大分療育センター	五十嵐康子
2月20日	S・Iさん支援会議	大分支援学校	井上智恵

### 3、外部機関実習

実習生氏名	受け入れ期間	学校・機関名	担当職員
大分県発達障がい者支援専門員養成研修受講生(32名)	6月3・4・17・18日、7月22・23・29・30日、8月5日、9月9・10・30日、10月1・28・29日、11月18・19・25・26日、12月9・10・16・17日	大分県発達障がい者支援専門員養成研修(中級)	五十嵐康子 内村 雅也
保育コーディネーター養成研修受講生7名	11月14日	保育コーディネーター養成研修	五十嵐康子
荒金 佑奈 板井 美月	8月16日～29日	別府大学短期大学部初等教育科	五十嵐康子 内村 雅也 井上 智恵
西 千秋 高橋 和華	8月30日～9月12日	別府大学短期大学部初等教育科	五十嵐康子 内村 雅也 井上 智恵
首藤 貴代 高橋 涼	8月19日～30日	別府溝部学園短期大学	五十嵐康子 内村 雅也 井上 智恵
小松三代子	3月2日～13日	大分保育専門学校 保育学科	五十嵐康子 内村 雅也 井上 智恵

### 4、関係機関連携・支援(14件)

日にち	内容	場所	担当職員
4月16日	健生病院3名見学対応	大分なごみ園	五十嵐康子
4月23日	大分市発達障がい児巡回専門員派遣事業関係者会議(第1回)	大分市役所	五十嵐康子 末松綾美
7月12日	大分市地域療育等支援事業担当者連絡会(第1回)	大分市保健所	五十嵐康子
8月5日	明治幼稚園教員1名見学対応	大分なごみ園	五十嵐康子

8月5日	別府支援学校教員2名見学対応	大分なごみ園	五十嵐康子
8月26日	かるがも保育園担任1名見学対応	大分なごみ園	五十嵐康子
8月27日	竹田市教育保育協議会10名視察見学対応	大分なごみ園	五十嵐康子
9月13日	清明あけぼの園10名視察見学対応	大分なごみ園	五十嵐康子
11月6日 (水)	大分県知的障害者施設協議会児童部会(施設長)	昭和電工ドーム 会議室	五十嵐康子
11月26日 (火)	大分県知的障害者施設協議会児童部会(職員)	昭和電工ドーム 会議室	内村雅也
12月23日	大分市保育・幼児教育課1名見学対応	大分なごみ園	五十嵐康子
1月28日	大分市地域療育等支援事業担当者連絡会(第2回)	大分市保健所	五十嵐康子
2月12日	大分市発達障がい児巡回専門員派遣事業関係者会議(第2回)	大分市役所	五十嵐康子 末松綾美
2月14日	坂ノ市病院受診同行	坂ノ市病院	五十嵐康子

※保育所等訪問支援事業(110件)

訪問施設名	訪問回数	訪問対象児	担当職員(訪問支援員)
大分市立高田幼稚園	2回	Y・Iさん	井上智恵
大分市立高田幼稚園	3回	S・Sさん	井上智恵
大分市立高田幼稚園	3回	H・Nさん	井上智恵
大分市立高田幼稚園	2回	A・Nさん	井上智恵
宮河内幼稚園	1回	J・Nさん	五十嵐康子
宮河内幼稚園	1回	K・Sさん	五十嵐康子
大分市立坂ノ市幼稚園	2回	R・Kさん	井上智恵/五十嵐康子
大分市立滝尾幼稚園	1回	H・Oさん	五十嵐康子
大分市立明治幼稚園	2回	R・Sさん	井上智恵
大分市立佐賀関幼稚園	6回	T・Tさん	井上智恵
大分市立大在幼稚園	2回	Y・Sさん	井上智恵
みどり幼稚園	4回	K・Yさん	五十嵐康子/小代夏美/ 幸景子
みどり幼稚園	4回	T・Mさん	五十嵐康子/小代夏美/ 幸景子
こざい保育園	10回	S・Kさん	五十嵐康子/牧楓/ 末松綾美
こざい保育園	10回	T・Sさん	五十嵐康子/牧楓/ 末松綾美
こざい保育園	10回	T・Fさん	五十嵐康子/牧楓/ 末松綾美
こざい保育園	10回	A・Eさん	五十嵐康子/牧楓/ 末松綾美
こざい保育園	9回	H・Uさん	五十嵐康子/牧楓/ 末松綾美

ひまわり幼稚園	2回	T・Oさん	五十嵐康子
かるがも保育園	1回	S・Sさん	五十嵐康子
皆春あけぼの保育園	4回	T・Kさん	五十嵐康子/末松綾美
洗心保育園	2回	R・Yさん	五十嵐康子/末松綾美
大分市立別保小学校	2回	S・Eさん	加納優/井上智恵
大分市立別保小学校	1回	S・Eさん	加納優/井上智恵
大分市立別保小学校	2回	S・Mさん	井上智恵
大分市立丹生小学校	1回	R・Hさん	井上智恵
大分市立明野東小学校	1回	K・Mさん	五十嵐康子
大分市立明野東小学校	1回	S・Dさん	五十嵐康子
大分市立鶴崎小学校	2回	N・Iさん	井上智恵/五十嵐康子
大分市立鶴崎小学校	2回	A・Yさん	井上智恵/五十嵐康子
大分市立大在小学校	1回	I・Gさん	五十嵐康子
大分市立小佐井小学校	2回	Y・Mさん	五十嵐康子
大分市立坂ノ市小学校	3回	A・Hさん	五十嵐康子

#### 5、施設内職員会議

日にち	内容	参加職員
4月7日	第1回職員会議	常勤職員
5月25日	第2回職員会議	常勤職員
6月22日	第3回職員会議	常勤職員
8月17日	第4回職員会議	常勤職員
	クラス別会議（こあら・ぱんだ・らいおんクラス）	クラス担当職員
10月22日	第5回職員会議	常勤職員
11月14・21日	クラス別会議（こあら・ぱんだ・らいおんクラス）	クラス担当職員
11月28日	放デイ個別支援会議	放デイ担当職員
12月7日	第6回職員会議	常勤職員
	メンタルヘルスケア研修報告会	常勤職員
1月11日	第7回職員会議	常勤職員
	個別支援会議	常勤職員
2月8日	第8回職員会議	常勤職員
	個別支援会議	常勤職員
	防災研修報告会	常勤職員
3月14日	第9回職員会議	常勤職員
	クラス別会議（こあら・ぱんだ・らいおんクラス） 放デイ個別支援会議	クラス担当職員 放デイ担当職員



## 第5章 総括

昨年度に続き、大分市発達障がい児地域療育等支援事業の委託を受けて月2回大分市役所大在支所にて療育相談、施設支援を行いました。利用児の登数は14名、延べ利用人数は124件となり、本事業等を通して地域の保健師、さらには地域の保育園等からの紹介などで利用希望がさらに増加していることから、早期の発達支援の充実が求められていることを実感しています。ニーズの増加に併せて困難事例も増えていることから、相談支援事業所プラスや児童相談所と他入所施設等と連携し、個々の状況に合わせた発達支援、家庭支援を行っていくために職員の役割分担を行うことで家庭支援、関係機関との連携、保育所等訪問支援を効果的にすすめるようにも努めました。また、今年度からは大分市発達障がい児巡回専門員派遣事業も受託し、大分市の4歳児を対象として保育園幼稚園こども園に専門員として巡回しながら早期発見・対応のための助言等を始めました。当園からは職員2名派遣し、計12園に巡回したことから施設支援や児発利用にも繋がるようになり、センターとして地域の発達支援に貢献する幅が広がっています。

就学前児童への支援に関しては、幼稚園への就園や学校へのスムーズな就園や就学に向けて保護者や関係諸機関と情報共有を行う支援会議や見学に同行することや併行通園ができるように送迎を調整するなど、移行支援を積極的に取り組んだ結果、地域の保育園幼稚園の併行通園利用児が増加しています。同法人のこざいこども園でも交流保育や体験入園等を行い、来年度に向けて1名の移行支援を行いました。引き続き、連携を密にしながら移行支援に努めたいと考えています。

療育環境においては、発達段階に応じた環境を設定し、幼児には運動機能や体力の向上、学童には情緒の安定に向けた活動を設定すると同時に、外出活動や調理活動など、子どもたちの興味関心のある様々な活動を提供することで社会性の向上を目指す活動が広がるように工夫しました。

関わりにおいては、一人一人の特性や生活環境に応じた環境設定とともに、共感に基づくコミュニケーション支援をすすめた結果、利用児童の言語発達や集団適応、不適応行動の軽減といった対人関係の向上や自律心の成長とともに就園や就学がすすみやすくなっています。その成果を保護者や関係諸機関から高く評価され、放課後等デイサービスでは大分支援学校の児童生徒を中心に地域の小学校支援学級の児童も含めて幅広く利用希望が寄せられているとともに、就学に伴って児童発達支援から放課後等デイサービスへの移行利用を希望している児童が15名もいる等、当園の利用希望者が増加の一途を辿っています。

# 令和元年度 こざいこども園事業報告

## 第1章 施設運営

### (1) 理念と方針

子どもたちの発達と職員の働きがいを最大限保障する施設を目指します

1. 子育て支援の核として、地域ニーズに応える施設を目指します
2. 行き届いた説明と情報開示により、信頼される施設を目指します
3. 常に業務内容の点検・検討を行い、安全と安心の向上を目指します
4. 多角経営と人事交流により、効率的で安定した運営を目指します
5. 人材育成と人事考課制度により、職員が働きがいと誇りの持てる施設を目指します

### (2) 実施事業内容

- |           |                  |
|-----------|------------------|
| 1. 通常教育保育 | 月～土（7：00～18：00）  |
| 2. 特別教育保育 | 月～土（7：00～18：00）  |
| 3. 延長保育   | 月～土（18：00～19：00） |
| 4. 一時保育   | 月～金（9：00～16：00）  |

### (3) 児童処遇

定員70名（1号10名、2号33名、3号27名）

本年度は、76名でスタートし、最大で83名の受け入れをしました。

特に大分市は3歳未満児の待機児童が多いため、定員以上の受け入れをしています。

特別教育保育に関しては、5名の児童を大分なごみ園と連携しながら支援しました。

延長保育は1時間延長を開所しましたが、利用する家庭は多くありませんでした。

一時保育においては、乳幼児の受け入れを広げたため、支障のない範囲で行いました。

#### 1. クラス（）内は1号

クラス名	年齢	30年4月	31年3月
つき	0歳	7	11
ほし	1歳	11	12
そら	2歳	14	13
ひかり	3歳	16（3）	12（6）
にじ	4歳	13（3）	10（3）
はな	5歳	15（1）	14（2）
合 計		76（7）	83（11）

#### 2. 事業編成（令和2年3月31日）

事業名	保育教諭（パート）	その他の職員
教育保育	16（2）	4（5）
一時・預かり保育	0（3）	0
特別教育保育	2	0
延長保育	交代制	0

3. 職種

職名	保育教諭（パート）	その他の職員
園長	0	1
副園長	1	0
主幹保育教諭	1	0
保育教諭	16（5）	0
看護師	0	1
調理員	0	2（2）
保育補助、環境整備	0	0（3）
合計	18（5）	4（5）

4. 月別利用児童数（月初め）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	平均 80人
76人	76人	78人	78人	78人	80人	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
80人	83人	83人	83人	83人	83人	

5. 月別開園日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 290日
24日	22日	25日	26日	26日	23日	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
25日	24日	24日	23日	23日	25日	

6. 月別一時保育利用数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 2人
0人	0人	0人	0人	0人	0人	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
0人	1人	1人	0人	0人	0人	

7. 月別特別保育利用数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	平均 5人
5人	5人	5人	5人	5人	5人	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
5人	5人	5人	5人	5人	5人	

8. 延長保育利用児童数（一日平均）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	平均 14人
14人	12人	14人	14人	8人	16人	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
15人	13人	14人	15人	15人	13人	

9. 健康管理・感染症対策

体調の変化について連絡帳や家族との口頭でのお知らせを通して家庭と密に連絡をとる

とともに、異変があった時には緊急連絡や病院の受診を行うなど、早めの対応を行いました。

厚生労働省による保育所等における感染症対策ガイドラインや大分市保健所による食中毒・感染症対策情報をもとに、保健だよりの発行やインフルエンザや他の感染症の園内感染者数を園に掲示して全体に周知しています。一年を通して室内温度と湿度の管理を行い、エアコンや床暖房などで環境の調整をしました。環境整備としては、毎日最低でも1回は次亜塩素酸ナトリウムでの消毒を各クラスに行っています。エアコンや加湿器のフィルターの掃除もこまめに行うようにしました。また換気も最低でも2時間毎に行いました。夏季は外気温に注意して園外活動を行い、水分摂取を細目に促しました。感染予防として、厚生労働省から出されている手洗いの動画を園児と視聴し、手洗いの動作が実際に行えているかその場で確認をしました。職員が感染の媒介者とならないために、マスクの装着やアルコール消毒・石鹸での手洗いを促しました。

#### 10. 年間保健行事

内科健診	全園児（前期5月21日）（後期10月10日）
薬剤師検査	水質検査（9月18日） 室内二酸化炭素検査（2月13日）
身体測定	全園児（毎月）
歯科健診	全園児（前期5月28日）（後期10月29日）

#### 11. 年間行事

（月例行事：誕生会・身体計測・避難訓練）

月	行事
4月	第1回入園式 クッキング そら豆（はな）
5月	いぬかいこども園交流会（はな） 内科・歯科検診 社会見学（はな） 保護者面談（はな・にじ・ひかり）
6月	保育参加（つき・ほし・そら） お出かけイングリッシュ（はな） 手洗いレンジャー（全園児） 食育活動 野菜スタンプ
7月	夏まつり（全園児） プール開き 東高等学校インターンシップ受け入れ クッキング カレー（にじ） トウモロコシ（にじ・はな）
8月	プール納め スイカわり 人形劇観劇（はな）
9月	小運動会、秋のお楽しみ会（はな）クッキング 夏野菜カレー ピザ（はな） 地域交流事業（卒園児 1年生）
10月	大運動会、ハロウィン、内科検診 クッキング 麻婆なす（はな） 澄まし汁・おにぎり（にじ）
11月	芋ほり、歯科検診 秋の親子遠足、秋の収穫祭、消防広場、社会見学ハーモニー ランド（はな）クッキング 芋のパイ（はな）脱穀 おにぎり（ひかり）
12月	保育参観（ひかり・にじ・はな）・地域交流事業（卒園児1年生親子） 餅つき・焼き芋会、クリスマス会
1月	鏡開き、生活発表会リハーサル 東高等学校実習生受け入れ ジャガイモ堀り クッキング 豚汁・おにぎり（そら）
2月	節分、東高等学校実習生受け入れ、別府短大実習生受け入れ 生活発表会、 新入園児一日体験入学 クッキング 恵方巻（はな・にじ・ひかり）
3月	ひな祭り、地域交流事業（はな）、思い出遠足、入園説明会、卒園式リハーサル、 お別れ会食会、第1回卒園式

#### (4) 教育保育理念と目標

認定こども園として教育要素を高めるための研修やミーティングに力を入れたことにより、職員間がチームワークをもってこどもの発達に応じた教育保育環境に配慮するとともに、運動会などの各行事場面で園児が自信を得る機会を演出することができ、理念や目標に向けてクラスや園全体がまとまっていきました。人権意識については、日常の教育保育場面で丁寧な代弁的な関わりをすることにより、聴く力や考える力のみならず、周りの人の気持ちを考える力も深まりました。

各行事場面で集団のルールだけでなく、自分や友だちの個性を認めながら自分の力をのびのびと発揮している姿を見ることができています。

また、地域の方々の協力のもと、芋の収穫や調理等の社会体験学習の機会をつくることができ、食育活動もすすめることができました。

##### 1. 教育保育理念

子ども一人一人をかけがいのない存在として尊重し、保護者や地域社会とともに人権意識を育む。

##### 2. 教育保育目標

- 明るく伸び伸びした子ども
- 思いやりのある優しい子ども
- よく見よく考える子ども
- 喜んで話し喜んで聴く子ども
- 心豊かで創工夫する子ども

##### 3. 7つの教育保育方針

- ① 家庭や関係機関と協働し、安心感を育てます。
- ② 伸び伸びと成長・発達する心を育てます。
- ③ 身辺自立の基盤となる生活習慣を育てます。
- ④ よく食べ、よく遊び、しなやかで丈夫な身体を育てます。
- ⑤ 友達の気持ちや集団生活のルールを考える力を育みます
- ⑥ 自分を大切にし、友だちの個性が理解できる知識を育てます
- ⑦ 聴く力、考える力、ゆたかに自己表現できる才能を育てます。

##### 4. 各組の教育保育目標

###### ① はな組（5歳児）の年間目標

目標に向けて力を合わせ、達成感や充実感を味わうことで仲間意識を育て、お互いに相手を許すことや異なる思いや考えを認められる知識を獲得する。

###### ② にじ組（4歳児）の年間目標

身近な環境に積極的に関わることで、想像的・目的的な行動ができるようになり、身近な人の気持ちを察して、手伝ったり、自分の気持ちを抑えたりできる。

###### ③ ひかり組（3歳児）の年間目標

身辺が自立し、知的興味や関心が高まるとともに、予想や意図、期待を持って自らすすんで行動できる。いろいろな行事や活動を体験しながら、集団への関心を高める。

###### ④ そら組（2歳児）の年間目標

基本的な運動・指先機能が高まり、身の回りのことを自分でしようとするとともに、動作やおしゃべりといった表現活動や模倣遊びを楽しむ。

⑤ ほし組（1歳児）の年間目標

大人との信頼関係のもとで意欲的に身近な人や身の回りの物に働きかけ、指さし、身振り、片言などを盛んに使いながら遊ぶ。

⑥ つき組（0歳児）の年間目標

保育教諭との親密な関わりを通して、情緒的な絆が形成され、安心感のもとで周囲の人や物に興味を持つ。表情や動作、発声などのサインを通して、コミュニケーションをとる。

⑦ 特別保育の年間目標

発達特性に向けた配慮のもと、諸機関と連携しながら個別の発達段階に応じた教育保育を提供する。

(5) 食事

検食担当の職員の感想をもとに給食会議にて、献立や食器についての感想や反省、改善案などを検討するとともに、保護者が試食する機会もつくりました。また行事食では目の前で調理をして温かい食事の提供、匂いや焼ける音などを感じ、食への関心を高める機会をつくるとともに、クッキング体験を通して料理をする楽しさや、自分で作った物を食べる喜びを感じられる機会も設けています。また、料理を作ってくれる人への感謝の心も育てています。

1. 目標『味わいながら、楽しく食べる子』に育てる。

配慮事項

- ① 薄味に心がける。
- ② 旬の素材を使った献立作りを心がける。
- ③ 見た目においしく、食べておいしい食事づくりを心がける。
- ④ 保護者との連携を密にし、個別的な配慮を心がける。

2. 栄養管理

毎日の献立の栄養計算を行い、月報を作成しました。

3. 食育

毎月ー予定献立表を配布（アレルギー幼児食は個別）し、食育だよりー毎月の献立表にこざいこども園の食事の紹介や食事の様子、食育活動の様子なども記載しています。

給食会議ー0歳児は月1回の離乳食会議にて子どもの食事の状況、離乳食の移行時期、献立については、園長・主任・クラス担当・栄養士・調理員で検討しました。

・アレルギー食数（1日平均）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	平均 4.3人
4食	4食	4食	4食	5食	5食	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
5食	5食	4食	4食	4食	3食	

4. 衛生管理

衛生チェック表を作成し、毎日衛生項目にそって確認するとともに、調理員の細菌検査（毎月1回）調理室の掃除、ワゴン清掃（毎日）、冷蔵庫消毒、食器洗浄後熱風庫にて保管、原材料・調理済み食品を保存（2週間）しました。

・細菌検査

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計 263人
29人	21人	20人	20人	28人	20人	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
20人	18人	27人	20人	20人	20人	

5. 特別食（離乳食・アレルギー）に関して

個人差を考え、無理なく離乳を進めまし。1歳児の食事に関しては、離乳食（完了食）後が間もないため、必要に応じて離乳食（完了食）も準備することや、アレルギーを持つ児童用に専用の食器を準備、「代替食」を子どもの症状に応じて除去解除をしました。

・離乳食数（0歳児）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計 86食
7食	8食	8食	8食	9食	9食	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
9食	10食	7食	5食	3食	3食	

6. 大分市献立会議

4月4日、5月8日、6月10日、7月5日、8月1日、9月10日、  
10月9日、11月7日、12月6日、1月10日、2月4日、3月6日（コロナの為中止）

（6）職員処遇

新制度への移行に向けて職員体制を手厚くし、専門性の向上に向けて研修等へも積極的に参加するようにしました。

1. 健康管理

- ・健康診断 1年 1回（9-12月）

2. 職員会議

・全体会議

4月25日、5月25日、6月14日、7月19日、8月20日、9月18日、10月18日、  
11月25日、12月13日、1月17日、2月28日、3月21日

・クラス担当者会議（全体会議の他に必要に応じて開催）

ミニ会議 4月12日、5月10日、6月6日、7月19日、8月19日、9月13日、  
10月24日、11月20日、1月7日、3月5日

未満児：4月23日、5月29日、6月7日、7月5日、7月23日、8月8日、9月17日、  
11月19日、1月6日、2月21日、3月24日

以上児：4月8日、4月26日、5月21日、6月26日、7月26日、8月28日、9月25日、  
10月24日、11月20日、12月24日、1月28日、2月21日、3月19日

給食担当者会議：4月25日、5月9日、6月8日、7月1日、7月30日、8月7日、  
8月31日、10月3日、10月26日、12月6日、1月9日、2月1日、3月25日

### 3. 研修報告

- ・園内・4園合同研修（いぬかいこども園・なかよしひろば・こざいこども園・大分なごみ園）

研修名	日時	場所
ホームスタートとは	6月5日	こざいこども園
4園合同研修	6月6日	なかよしホール
園内事例検討	10月30日	こざいこども園
4園合同研修	11月22日	なかよしホール
公開保育 つきぐみ	12月13日	こざいこども園
公開保育 ほしぐみ	12月26日	こざいこども園
公開保育 そらぐみ	12月17日	こざいこども園
公開保育 ひかりぐみ	令和2年1月21日	こざいこども園
公開保育 にじぐみ	3月10日	こざいこども園

- ・法人研修

日時	内容	場所
4月1日	萌葱の郷の理念・これまでの歩み・展開について	なかよしホール
4月26日	接遇マナー研修	なかよしホール
5月24日	自閉症・発達障がいの基礎知識・心の理論について	なかよしホール
6月5日	AED・救急法	なかよしホール
6月21日	事例検討会	なかよしホール
6月26日	AED 救急法	なかよしホール
7月5日	てんかんについて	なかよしホール
9月20日	萌葱の郷の事業内容	なかよしホール
10月23日	合理的配慮・障がい者差別法について	なかよしホール
11月15日	けが・体調不良時の処置について	なかよしホール
11月21日	合理的配慮について	なかよしホール
2月14日	事例検討会	なかよしホール
2月18日	防災研修	なかよしホール

- ・外部研修

研修名	日時	場所
東部地区献立会議	4月4日	大分市
平成31年度新任職員研修会	4月10、11日	大分市
東部地区献立会議	5月8日	大分市
専門職員研修会（0・1・2歳）	5月11日	大分市
新採研修認定こども園研修	5月14日6月28・29日	別府市
ジャクエツセミナー	5月16・17日	東京
平成31年度園長等運営管理協議会	5月17日	大分市
保育コーディネーター養成研修	5月23日	大分市
大分市幼保小連携研修会	5月24日	大分市
認定こども園研修	5月29日	大分市
東部地区献立会議	6月10日	大分市



全国私立保育園研究大会	6月11・12・13日	大分市
保育コーディネーターフォローアップ研修	6月18日	大分市
調理担当者会議	6月19日	大分市
令和元年度食育推進研修会	6月20. 21日 7月24日	大分市
人権同和教育研修会並びに就学前研修	6月25日	大分市
第2回保育コーディネーター養成研修	6月27日	大分市
認定こども園新人研修	6月27日	大分市
専門職員研修会(0・1・2)	6月28・29日	大分市
大分県保育士会自主研修	6月30日	大分市
大分市保育所等研修	7月2日	大分市
認定こども園中堅保育教諭	7月4日	大分市
東部地区献立会議	7月5日	大分市
子どもの成長を考える会	7月6日	大分市
食と健康を考えるシンポジウム	7月13. 14日	大分市
第3回保育コーディネーター養成研修	7月17日	大分市
日本保育協議会地区研修会	7月21日	大分市
全国知的障害関係施設長等会議	7月22. 23日	大分市
みんなができるダンス	7月28日	福岡市
認定こども園新人研修 造形活動	8月1日	大分市
大分市保育所等研修 食育・アレルギー	8月1. 2. 22日	大分市
中堅教諭保育向上研修	8月2日	大分市
大分市児童交通安全教育研修	8月8日	大分市
保育コーディネーター養成研修	8月16日	大分市
幼児教育講演会	8月21日	臼杵市
認定こども園新人研修 体験活動	8月22・23日	大分市
保育コーディネーターフォローアップ研修	8月29日	大分市
キャリアアップ研修 マネジメント	8月31日 9月2. 3. 4日	大分市
4地区合同研修会 まどか保育園の実践	8月31日	大分市
保育コーディネーター養成研修	9月3日	大分市
大分市キャリアアップ研修 マネジメント	9月7. 9. 14日	大分市
幼少接続地区別合同研修会 接続カリキュラムについて	9月10日	大分市
東部地区献立会議	9月10日	大分市
大分市キャリアアップ マネジメント	9月12・13・19日	大分市
社会福祉施設等看護担当職員研修会	9月17日	大分市
大分市キャリアアップ研修 障がい児保育	10月8・9日	大分市
東部献立会議	10月9日	大分市
保育コーディネーター養成研修	10月11日	大分市
認定こども園中堅園外研修	10月29日	大分市
認定こども園 保育実践研修	11月1日	大分市
東部献立会議	11月7日	大分市
全日本自閉症支援者協会研究大会	11月7・8日	東京

保健・安全対策	11月6・7・13日	大分市
認定こども園中堅研修 地域と関係機関との連携	11月8日	大分市
保育コーディネーター養成研修 視察。事例検討	11月14日	大分市
大分市4地区合同研修	11月16日	大分市
保育コーディネーターフォローアップ	11月18日	大分市
保護者支援・子育て支援	12月3日	大分市
認定こども園新任研修 家庭との連携と保護者対応	12月4日	大分市
保護者支援・子育て支援 虐待予防	12月5日	大分市
九州・山口・四国自閉症施設協議会	12月5・6日	山口県
保護者支援・子育て支援 地域における子育て支援	12月12日	大分市
保育コーディネーターフォローアップ	12月17日	大分市
幼・保・小連携特別講演会	1月6日	大分市
東部地区献立会議	1月10日	大分市
認定こども園新任職員研修 幼・保・小連携	1月16日	大分市
保育事業大会	1月23・24日	大分市
認定こども園中堅研修 豊かな感性と表現を育む	1月27日	大分市
保育コーディネーター養成研修 閉講式	1月30日	大分市
4地区合同研修会	2月1日	大分市
令和元年度第2回未来羽ばたきネット	2月2日	大分市
認定こども園中堅研修 人権学習	2月7日	大分市
キャリアパス研修 障がい児研修	2月14日	大分市
キャリアアップ研修 障がい児保育	2月27日	大分市

## 第2章 施設管理

### 避難訓練・設備管理の実施状況

毎月の避難訓練と遊具等の設備点検、年2回の安全衛生管理点検や砂場の掘り起しを行い、異常や破損を発見した時には迅速に対処しています。今年は、劣化している部分の修繕以外に、未満児用遊具の塗り直しも行いました。

#### (1) 避難訓練月日

4月23日	5月30日	6月20日	7月30日	8月7日	9月5日
地震	火災	風水害	不審者	火災・地震	地震
10月17日	11月30日	12月23日	1月29日	2月25日	3月10日
地震	消防広場	火災	不審者侵入	火災	地震

#### (2) 遊具点検月日

4月27日	5月30日	6月28日	7月27日	8月31日	9月27日
10月25日	11月30日	12月21日	1月27日	2月24日	3月25日

#### (3) 消防用設備等点検

平成31年4月22日、令和元年10月11日

### 第3章 諸機関との連携

#### (1) 保護者との連携

- ・連絡帳を通して、こどもたちの日々の様子を伝達するとともに、園だよりとクラスだよりを毎月1回発行しました。
- ・メーリングリストを作成し、緊急のお知らせや感染症などのお知らせを行いました。
- ・保護者アンケートを通して、ニーズの調査を行いました（給食試食会）。

#### (2) 小学校や幼稚園との連携

進学をふまえた訪問交流を行うとともに、年長組を対象にこども園の中で芽生えた力や個性、配慮点を記録した「教育保育要録」を作成して引き継ぎました。

#### 幼・保・小接続会議

期日	会議名	場所
5月24日	大分市幼・保・小連携会議	大分県教育会館多目的センター
7月4日	幼・保・小連絡協議会	坂ノ市小学校
7月18日	小佐井小学校幼・保・小会議	小佐井小学校
11月13日	小佐井小学校・こども園会議	こざいこども園
11月22日	小佐井小学校幼保交流会	小佐井小学校
R2年2月12日	丹生小学校・こども園会議	こざいこども園
年2月20日	小佐井小学校幼・保・小会議	小佐井小学校
3月10日	幼保小連絡協議会	坂ノ市小学校

#### (3) 相談機関や療育機関などとの連携

こどもの発達や保護者のニーズに応じて、保育コーディネーターが軸となって療育機関や福祉制度の利用についての案内をご家族に行い、合計5名の児童を特別に保育しました。

#### (4) 地域との連携

こざいこども園の利用児家庭のみならず、地域の子育て家庭に向けた支援として、一時保育事業の他にも地域交流や次世代育成を踏まえ、ボランティアや実習生を受け入れています。

期日	ボランティア・実習生	内容
7月9.10・11日	大分県立東高等学校インターンシップ	保育実習
7月30.31日	子育て支援員研修	保育実習
8月8.9日	子育て支援員研修	保育実習
9月6日	地域交流	卒園児との交流会
12月7日	地域交流	餅つき・焼き芋会
R2年1月27日	大分県立高等学校保育実習	保育実習
2月10日～21日	別府短期大学保育実習生	保育実習
3月2日	福岡保育専門学校生 自主実習	保育実習
3月7日	地域交流	卒園児との交流 製作
3月11・12日	別府短期大学自主実習	保育実習
3月18.19日	別府短期大学自主実習	保育実習

## 第4章 総括

認定こども園への移行年ではありますが、ベテランの職員がそろっていることから教育保育環境への適切な配慮が行き届き、大分市の待機児童解消に向けて乳幼児を定員以上の受け入れを行うことができました。10月の教育無償化に伴って1号認定の児童の利用希望が定員を超えたため、来年度は定員を増やす手続きを行っています。

職員体制につきましても、保育士不足が課題とされている中にも関わらず、加算分の配置を減らさずに途中入園にも対応できるほどに手厚く配置でき、産休や休暇代替や内外の専門研修や保育コーディネーター研修への参加を促せる等、働きやすさや質の向上を図ることができました。処遇面においても処遇改善費Ⅰ・Ⅱと市の助成を満額受けとり、職員へ均等に配分することができました。

国の方針として子育て支援の充実が目指されていく中、これからも制度や助成事業を上手く活用しながらこどもの発達を最大限保証することはもちろん、職員にとって働きやすい環境をつくと同時に、地域の子育て支援ニーズに応えた運営を続けていきたいと考えています。

